

訂 四  
學理地等中

部之國外  
卷中

士博學理機教學大國商都京

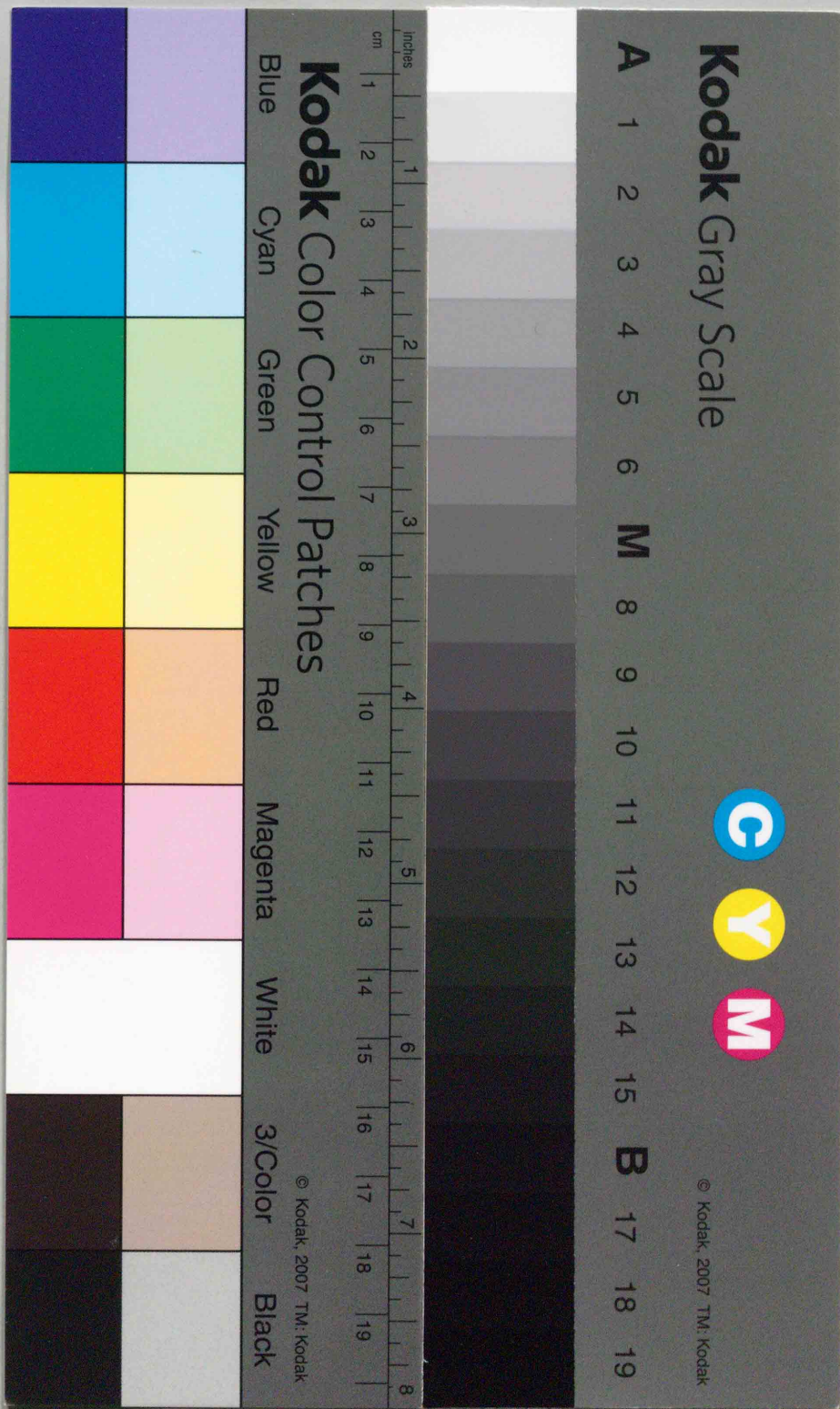
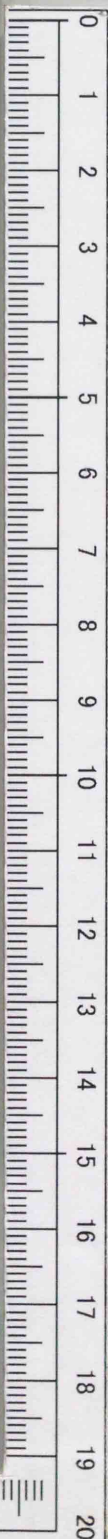
治琢川小  
著



田神 行發房山圖 京東

375.9  
Og1  
資料室

教科  
41  
200



42807

教科書文庫

4
290
41-1929
20000 26470



© Kodak, 2007 TM: Kodak

教科書文庫

4

290

41-1929

2000026470

文部省檢定

昭和四年三月十四日 中學地理科用

第四訂

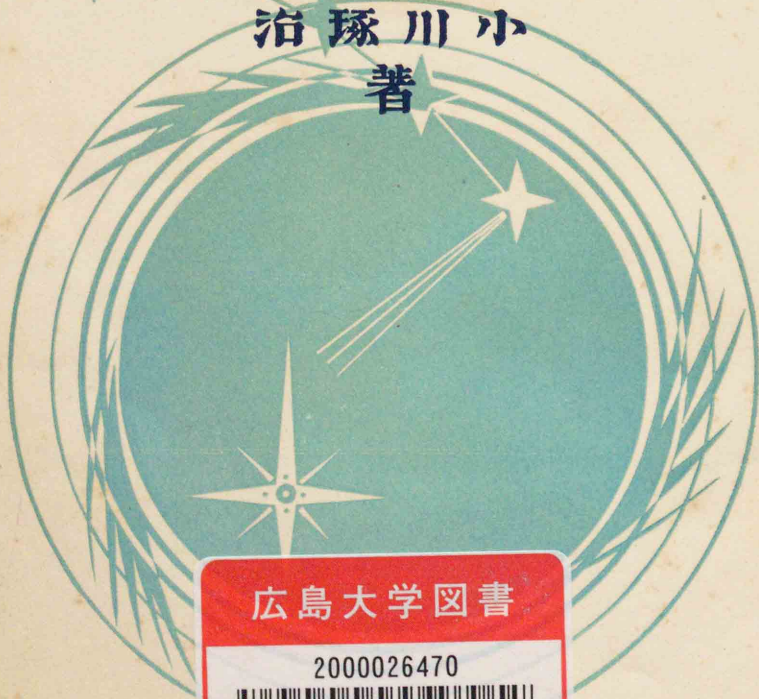
# 中學地理學

外國之部

中卷

東京帝國大學敎授 小塚琢治 博士

小塚琢治 著



広島大学図書

2000026470



東京 丸山房發行 神田

資料室

375.9  
Og1



景のスプルア部南



コ ナ モ

廣島  
大學  
圖書  
印



圖はアルプス東南部山間の宿驛の景である。この地方は白雲岩といふ石灰岩に似た硬い岩石から成り、山峯は頗る急傾斜をなしてゐるが、山腹の高い所まで聚落がある。圖の左の家は驛遞である。驛遞はアルプス山間に特有のもので、旅館と郵便局とをかね、人馬がここで憩ふ、我が北海道・樺太にもある。

モナコ國は地中海に突出する小半島と、この背面の小地域とを占め、面積二十方キロメートルに過ぎない。半島にあるのは首府モナコ町で、海岸に立つてゐるのはモナコ侯の宮殿である、世界で最も有名な海洋博物館はその一部にある。圖の左下の隅に一部見えてゐるのはモンテカルロ町で、ここは有名なカシノ(遊戯場)があつて、冬季世界各地の金持が集る。

訂四 中等地理學 外國之部 中卷

目次

第三篇 ヨーロッパ洲(歐羅巴洲).....一

第一章 緒論.....一

第二章 ロシヤ(ソヴェット聯邦).....二

    附バルチック諸國.....二

    地文.....二

    人文.....四

    處誌.....五

第三章 北歐諸國.....一九

    一 フィンランド(芬蘭).....一九

    二 スカンデナヴィヤ.....二二

第四章

三 デンマーク……………二七

ポーランド(波蘭)……………三〇

總論……………三〇

處誌……………三一

第五章

ドイツ(日耳曼)……………三四

地文……………三四

人文……………三七

處誌……………四〇

第六章

チエッコスロヴァキヤ……………四四

總論……………四七

處誌……………五〇

第七章

オーストリア(奥地利)……………五〇

總論……………五一

處誌……………五三

第八章

リーヒテンシュタイン……………五五

ハンガリー(匈牙利)……………五五

總論……………五五

處誌……………五七

第九章

スイス(瑞西)……………五七

地文……………五七

人文……………六二

處誌……………六四

第十章

オランダ(和蘭)……………六五

ルクセンブルグ……………六五

オランダ……………六五

地文……………六五

人文……………六八

處誌……………七〇

ベルギー……………七一

第十一章

地文	.....	七二
人文	.....	七二
處誌	.....	七四
ルクセンブルグ	.....	七五

第十二章

イギリス(英吉利)附アイルランド(愛蘭)	.....	七五
地文	.....	七六
人文	.....	七七
處誌	.....	七八
フランス(佛蘭西)及びモナコ	.....	九四
地文	.....	九四
人文	.....	九六
處誌	.....	一〇〇
モナコ	.....	一〇四

第十三章

イベリヤ半島(スペイン(西班牙))

ポルトガル(葡萄牙)	.....	一〇五
地文	.....	一〇五
人文	.....	一〇六
處誌	.....	一一二
ジブラルタル	.....	一一三
アンドラ	.....	一一四
イタリー(伊太利)サンマリノ及びマルタ	.....	一二五
地文	.....	一二五
人文	.....	一二六
處誌	.....	一二二
サンマリノ	.....	一二四
マルタ	.....	一二五
バルカン半島及びルーマニヤ	.....	一二五
地文	.....	一二五

第十五章



面積・地勢

大山脈・大高原・大沙漠等の産業交通の發達を妨げるものが少いから、洲内には強大なる國があつて、現代文化の中心となり、その餘力は更に他の大陸に及んで盛んに勢力を扶植し、その領土は世界陸地の半ばを超え、世界中どこでも本洲の移民を見るほどである。

第二章 ロシヤ(ソヴィエツト聯邦)

附バルチック諸國

地文

位置・境域

面積 四百萬方キロメートル  
人口 九千七百萬  
全面積(アジヤを含む) 二千一百萬方キロメートル  
人口 一億四千萬

【位置境域】歐洲の東部を占め、面積は全洲の半ばに近く(日本内地の約十倍餘)、

西はポーランド・ルーマニヤ・フィンランド、バルチック諸國及びフィンランド灣に接し、南はカスピ海・黒海に、北は北極洋に面する。

ウラル山脈・東境に連亘する外、大平原が茫漠として限りなく擴がり、たゞなだらかな丘陵が所々に起伏してゐるに過ぎない。低いヴァルダイ連丘は中央から稍北に偏り、東西に連つて諸河の分水界をなし、

地勢

カスピ海沿岸には地中海面より低い所がある。

南に流れる河のうち、ウラル・ヴォルガの二河はカスピ海に入り、ドン河はアゾフ海に、ドニエプル河は黒海に注いでゐる。その他バルチック

海には、*Dnieper*、*Dniina*、*Petchora*、*Dvina*、*Ladoga*の二河が注いでゐる。これらの諸水は概ね屈曲に富み、水勢が緩か、運河がこれを連絡してよ

く南北兩海を連ね、舟運の便が多い。北西地方には湖水が多く、ラドガ・オネガはその最大なものである。この國は三方海に臨んでゐるが、海

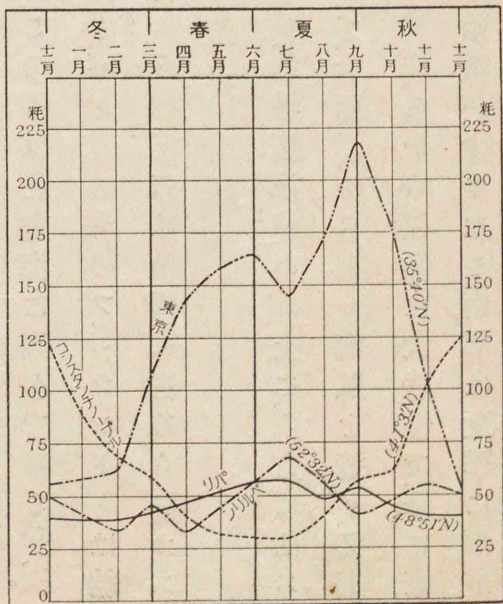
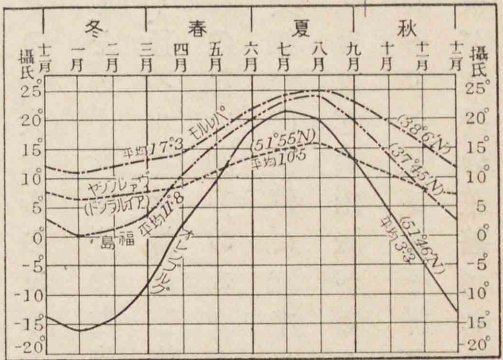
岸線は短く、その上、北極洋の白海と、バルチック海のフィンランドとは結氷期が長く、且バルチック海も黒海もその門口は他國に占められ、カスピ海は出口のない湖である。

氣候

【氣候】大部分は温帯に位するが、地域廣漠である上に、西方にはスカンヂナヴィヤなどの山脈があつて、大西洋から來る海風を遮り、又東と北とはシベリヤ及び北極洋に接するから、氣候は大陸性で、殊に東部に行くほど寒暑の差甚だしく、雨量が少くなる。南部は夏季に雨が



歐洲の氣温  
(上)と雨量  
(下)



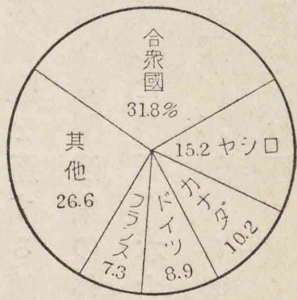
産業

少い爲に草原をなし、南東部は沙漠となつてゐる。概して東部地方は雨量が少いので旱魃が多く、飢饉の憂が少くない。北部は一年の大部分土地が凍結して凍土帯をなす所がある。

人文

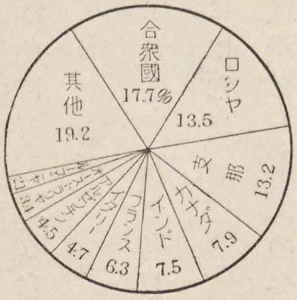
【産業】南東部と北部とは農業に適しないが、平原國の上に中部以南には豊饒な黒土層から成る所があるから、國民の八割は農業に従

燕麥産額比較  
(三年平均)



事し、世界大穀倉の一といはれる。大戰後領土の縮小と革命の戦亂とで、穀物の産額は大いに減少したが、なほ小麥燕麥の産はアメリカ合衆國に次ぎ、ライ麥大麥の産額は世界に冠絶してゐる。こ

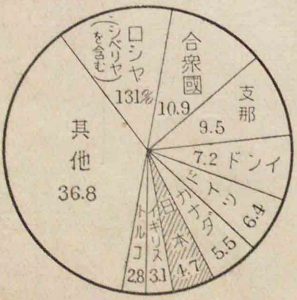
小麥産額比較  
(三年平均)



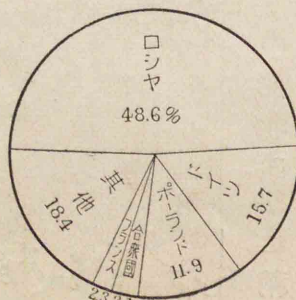
れらは常食又は家畜の飼料とされ、剩餘は盛んに西歐諸國に輸出される。亞麻大麻も世界需要の大部を供給し、甜菜糖煙草馬鈴薯

大麥産額比較  
(三年平均)

の産額も亦少くない。南部には草原が廣いので、馬・牛羊の牧養が甚だ盛んで、羊毛生皮の輸出が多い。中部以北には針葉樹の密林があつて、森林



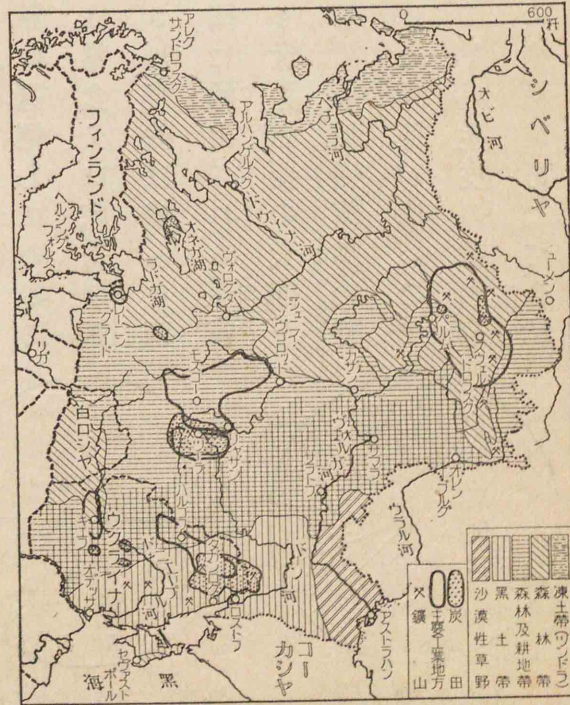
世界總産額産額九千三萬ノト



世界總産額産額四千萬ノト

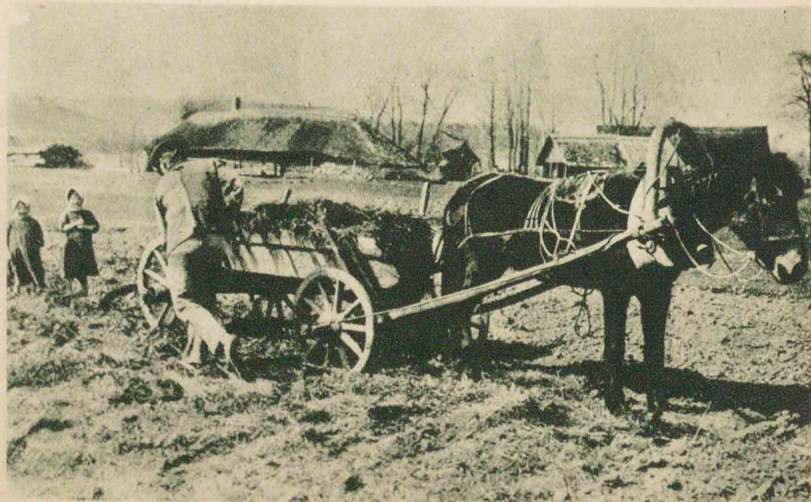
ロシアの産業圖

の面積は全國の三分之一を占め、木材の輸出は穀物に次ぐ。礦物の埋藏は多いが、採掘はまだ進まない。ウラル山中部南部(ドネツ炭田)には石炭鐵礦を出し、ウラルにはなほ金、白金、寶石等の礦産あり、南部の各地にも亦岩鹽を産する。礦産地に於ける製鐵業の外、紡績、染色、製粉、製革等の工業は中部北西部に稍發達したが、石炭、水力に乏しいので、工業製品は多く輸入を仰ぐ。國內の交通は不便であるから、内地商業は今も定期市で行はれる風がある。ロシアは國土廣く富源に富み、世界有數の穀物原料の産地であつた。



ロシアの中部以北はかゝる密林で蔽はれ、木材の産が多く、建築・燃料すべて木材による。

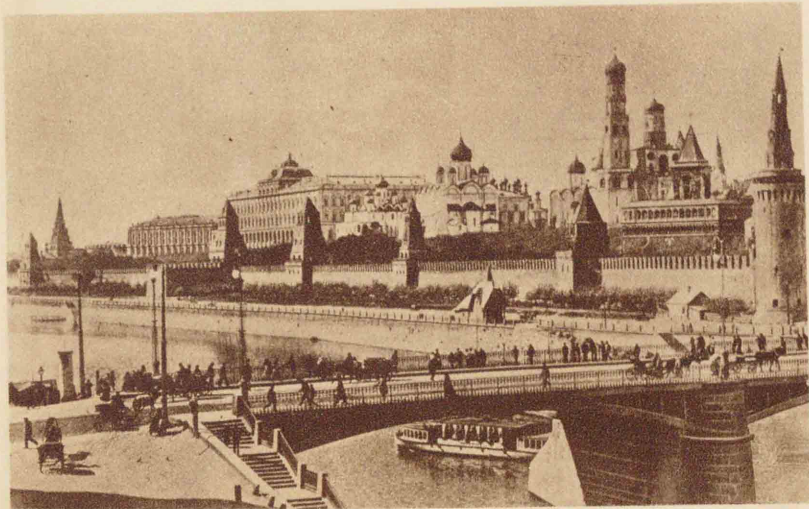
第一版 ウラルの森林



ウクライナは圖の如きステップ性の平野で、豊沃な穀倉である。農家の有様、收穫した牧草を積出す様など、上の圖と比較してその風景の對照に注意せよ。

第二版 ウクライナの農村

河はモスクワ河。クレムリン宮は周囲六千一百メートルの城壁を繞らす。正面最高塔はツァーデルの鐘樓で高さ九十メートル。その下にツァーデルの鐘塔がある。右の塔はウスペンスキ大寺で、歴代皇帝の戴冠式を擧げた所。左の平たい建物は今のソヴイェト政府官廳。



第三版 クレムリン宮

レーニングラードの中心部であつて、中央はエカテリンスカヤ運河、背景は復活寺といつて、ツァーデルの鐘樓である。二世の暗殺された場所に建てられた。

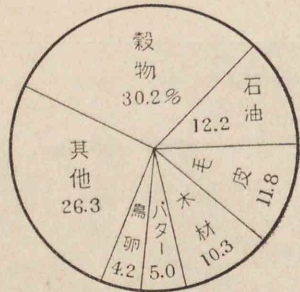


第四版 レーニングラード

ロシアの輸出品割合

ヨーロッパの輸出貿易を示すもの。石油、穀物、木材、毛皮、タールの大部分はシベリア産である。

気候と植物分布とから見た區劃



輸出総額 六億六千八百萬圓  
輸入総額 六億六千八百萬圓

が、大戦と革命とで各種の産業が大いに荒廢した。革命以來政府は土地森林鑛山工場交通機關等を國有とし、極力復興に努めてゐるが、各種の産業が政府の獨占である爲、却つて發達を妨げてゐる。外國貿易も政府の獨占事業で、その額は今なほ面積人口に比すれば極めて少

い。貿易港はレーニングラード、オデッサを中心とし、穀物、鳥卵、バター、木材、麻、マンガン鑛等の食品原料品を輸出し、綿羊毛、金屬機械、皮革、茶等を輸入する。貿易はドイツとの間に最も盛んで、この國はドイツ製品の好市場たるの觀がある。

ロシアは全くの平原國で地形上の區劃なく、氣候及び植物分布上から三帶に區別される。

一 凍土帶 北極洋沿岸地方の低地であつて、冬季は九個月に亙り、夏季僅に地表融解して沼澤狀をなしてゐる。樹木は生育しない。ラップ族の如き土人が

ヴォルガ河  
の鱒(テフ  
ザメ)漁業  
露人が鱒を  
りそれから卵  
をとる様、こ  
の卵の鹽漬  
は、カウイア  
シルといつて  
シルの名産。



いで一面に草原であり、所々に荆棘が生え、河畔には並木状をなして樹木が生えてゐる。南方に到るに随つて樹木は益、少く、南東部は殆ど沙漠である。草野帯と森林帯との中間に黒土地方がある。南西國境からヴォルガ河附近まで連続し、面積は殆ど我が帝國に等しい。地味は非常に肥沃で世界大穀倉の一をなす所である。多く小麦ライ麦を作つてゐる。南西部には甜菜麻が多く、更

馴鹿を遊牧し、又漁獵に従事するに過ぎない。  
二森林帯 北ロシヤの大部分を占めて、冬季は半年に互り寒さが酷烈で雪深く、夏は雨が少くない。概ね松、樅、白樺等の密林に蔽はれ、所々森林を拓いて大麥、ライ麦、燕麥、蕎麥を作り、牛馬を牧養する。家屋の建築は勿論、汽車工場の燃料にも木材を使用してゐる。

三草野帯 南ロシヤ及びカスピ海沿岸地方を占める。冬季は短くて雪少く、夏季は炎熱、焼くやうである。夏は雨量が少ない爲、樹木は生育しな

南・北の相違

交通

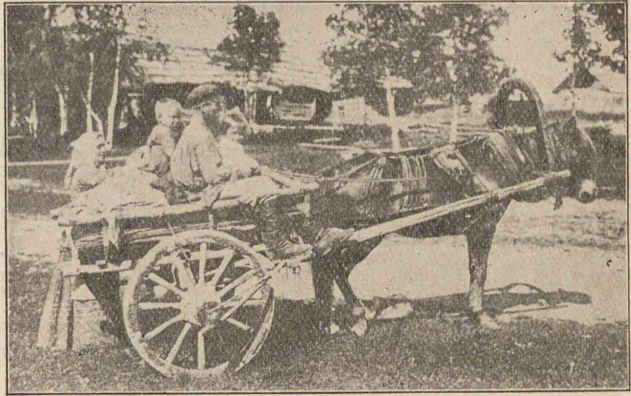
に南方では玉蜀黍を産する。羊馬及び豚の牧畜が盛んで、南東部にはトルコ族が遊牧してゐる。草野帯ではすべて建築には粘土又は煉瓦を用ひ、燃料には工場や汽船でさへ、動物の糞及び荆棘を使用する。

かく地形の單調なのに反し、植物分布からいへば南北では著しい差異がある。北方は南方の穀物に依頼し、南方は北方の木材を必要とするので、内陸水路、鐵道はロシヤ人の生活に缺くべからざるものである。しかし、南北互に遠く隔たり、川は結氷の憂がある。外鐵道は汽車機關車少く、速力も小さいから、年々二千萬キロリットル以上の穀物を輸出するロシヤに飢饉の叫を聞くのも偶然ではない。

【交通】國土が廣大で、海運が不便であるから、陸路交通機關は産業及び國土の統一上特に必要であるが、鐵道の密度は甚だ粗で、内陸水路は結氷期が長く利用の期間が短い。鐵道はモスコを中心とし、中欧、バルカン、バルチック、黒海、白海、カスピ海、コーカシヤ等に達し、又中央アジア、シベリヤの諸線は歐洲と、中央アジア及び太平洋岸とを著し

ロシアの農民

これはロシアの貧しい農民の生活を示す。道路が悪く、交通機関が乏しいから、彼等は馬車や牛車を出來てゐる。



ングラード・オデッサはその二大中心であるが、東方に僻在する爲、世界の重要航路に接することが出来ない。

内陸水路

ロシアには汽船の航行に適する内陸水路の延長が八萬三千キロメートル

ラップ族

ロシアの北部にシベリアの遊牧民族に住む。鹿を飼ふ。



ル(二萬餘里)ある。ヴォルガ河は運河でネヴァ河・ドヴィナ河及びチュナ河と連り、ドニエプル河はチュナ河・ニメン河と連る。これらの水路は内陸と海とを連ねるばかりでなく、森林地農業地牧畜地を通過し、又はロシアの中心と、ペ

ルシヤ中央アジア方面との貿易を助ける。しかし、屈曲が多い爲、速力緩慢で、ヴォルガ河の汽船終航點(モスコの北西トウエル)からアストラハンまで直線で一千四百キロメートルあるが、水路では二千六百キロメートルもあり、汽船で下航するのに五日かゝる。且結氷期間は南部で三個月、北部では六個月に達する。

【住民】人口は凡そ九千七百萬で密度は甚だ少い。しかし、人口の増殖は非常に速いである。大部分はスラヴ族で、ギリシヤ教を奉ずる。又各地にドイツ人・ユダヤ人及び蒙

政治

古種のラップ・トルコ族がある。

【政治】<sup>Laps</sup> ロシヤ人は二百餘年間蒙古人の支配下にあつたが、我が足利時代に蒙古人を驅逐して獨立國を建て、二百餘年前ピーター大帝 <sup>Peter the Great</sup> が出て、大いに西歐の文物を入れ、盛んに隣邦を侵略した。その後も引續いて國境を進め、遂にアルメニヤ・天山・アルタイ及び太平洋岸に達し、世界陸地の六分一を領有するやうになつた。しかし、國民の文化開けず、各種の民族を包擁してゐるので、國民の思想は統一せず、たゞ政府が極端な専制政治と強大な陸軍とで、内外を威壓してゐたに過ぎない。随つて度々革命の兆があり、日露戦争後は止むなく立憲政治を採用してその勢を緩和せんとしたが、世界大戰を機として革命が起り、帝政は廢止され、過激社會主義者が政權を握るやうになつたのである。今は國號をソヴィエト社會主義共和國聯邦と稱し、その政治機關をソヴィエト(委員會)制度としてゐる。

革命

ロシヤの農民

ロシヤ農民の少女は花の模様のあるスカートを着けて華美な服装を好む。

ロシヤの現狀



ロシヤ人は東歐に僻在し、且久しく蒙古人の統治下にあつた爲、歐洲の文明に接觸しなかつた。ロシヤが西歐に紹介されたのは、コロンブスのアメリカ發見より遅れ、西歐との交通・貿易が盛んになつたのは、今から二百年ほど前からである。随つて最近まで國內の交通は開けず、商工業は興らず、國民の九割は無智な農民であつた而してその土地の多くは僅に十四萬戸の貴族・大地主の所有であつて、農民は無智貧窮に陥り、商業は概ね各郡都市村落で開かれる定期市で行はれてゐた。近年交通の發達によつて大都會に工業が發達し、随つて貴族農民の外に労働者が起つた。労働者中には外國の思想に感化されて、ロシヤの制度に不平を懷くものも多く、これらのものが常に機會を窺つてゐた時に、世界大戰が長びいて農民は戦争を厭ひ、敗戦によつて政府の威信衰へたので、忽ち労働者が農民を味方として、革命を達成したのである。今のロシヤは労働者兵士農民

の代表者から成る委員會即ち勞農會ツヴェットの統治する共和國であつて、本名を「ソヴィエツト社會主義共和國聯邦」といつてゐる。そこでこれを勞農ロシアともいふのである。即ち各市町村郡縣皆それぞれソヴィエツトがこれを治め、縣市ソヴィエツトの代表者が集つて、全露ソヴィエツトを組織し、この國會から更に中央執行委員會を選定する。これが立法行政司法の最高權力を有する政治機關であつて、法令の裁可、その他他國の元首の有する權限は、中央執行委員會で選定した常任委員會がこれを行つてゐる。而して普通の立法行政事務は別に中央執行委員會で任命した人民委員會で決定する。人民委員會は他國の内閣に相當する機關である。故にすべての政治機關がソヴィエツト制度であつて、共和國といつても人民から直接選舉された議員から成る國會及び大統領のやうな機關はない。ロシア本國(シベリヤ及びキルギス地方を含む)の中には直轄地の外、多くの自治共和國自治區域があつて、それぞれソヴィエツト政治を行つてゐる。この本國と、白ロシア・ウクライナ・トランスコーカシア聯邦・ウズベク・トルコマンは各、ソヴィエツト政府を組織して、ロシア本國と共にソヴィエツト聯邦を組織する。聯邦中央執行委員會聯邦人民委員會はこの聯邦を統治す

我が國との關係

もヒター大帝の名に因んで、近頃ソヴィエツト國の創始者の名に因み、レーニンと改稱された。都會人口  
モスコイ 二〇三萬  
レーニン 一三三萬  
キエフ 一〇四萬  
オデッサ 四四萬  
ハルコフ 四二萬  
ロストフ 三三萬  
サラトフ 二二萬  
スヴェトフ 二二萬  
ロフスク 一四萬

る最高機關である。

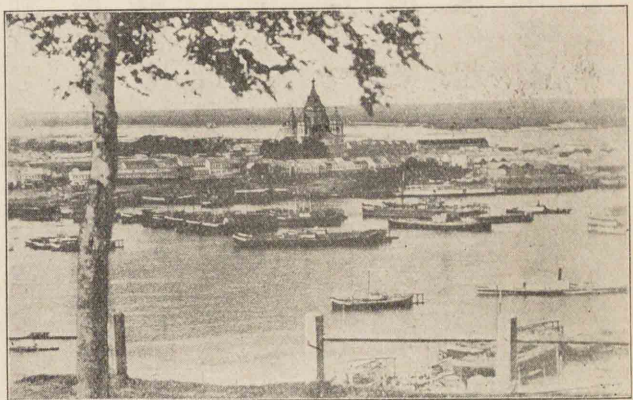
ロシアは極東に於て、我が國と領土を接するので彼我の關係深く、嘗ては利害衝突し、戰端を開いたこともある。その後は親善の關係を維持してゐたが、革命以來極東方面も騒亂が絶えないので、累を我が國に及すから、我が國は極東露領に出兵して秩序を維持したことがある。今は國交舊に復し、互に大使を駐在せしめてゐる。

處誌

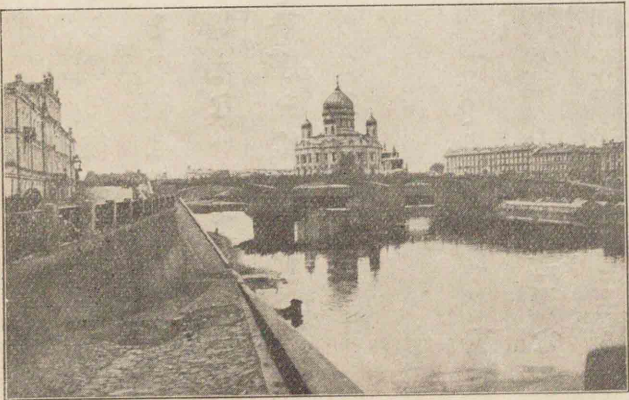
レーニン・グラードは帝政時代の首府であつた所、フィンランド灣頭にあつて、ネヴァ河に跨る。歐洲の大都會で、昔、ヒター大帝が低濕な沼地に築いた都である。フィンランド・バルチック諸國、北極洋岸等に至る鐵道の起點をなし、工業貿易が盛んである。壯麗な冬宮を始め、大學圖書館等があつて、帝政時代の榮華の名残を留めてゐる。市の西方の小島上にクロンスタットがある。運河を以てレーニングラードに通じ、堅固 Kronstadt

モスコ  
河はモスクワ正  
つて救世正  
紀初十と  
あられたそ  
築が西歐の  
注意異なる  
注しけるよ

ニ  
ゴ  
ロ  
ド  
新  
略  
下  
ノ  
ゴ  
ロ  
ド  
の  
意  
義  
は  
新  
略  
下  
ノ  
ゴ  
ロ  
ド  
の  
意  
義  
は  
新  
略  
下  
ノ  
ゴ  
ロ  
ド  
の  
意  
義  
は



ニ  
シ  
ユ  
ノ  
ヴ  
ゴ  
ロ  
ド  
は  
ヴ  
オ  
ル  
ガ  
河  
に  
沿  
ひ  
、  
毎  
年  
八  
月  
の  
大  
市  
に  
は  
歐  
亞  
の  
商  
賈  
來  
集  
し  
、  
そ  
の  
繁  
華  
な  
こ  
と  
は  
全  
國  
第  
一  
と  
い  
は  
れ



な砲臺がある。  
モスコはヴォルガ河の支流に沿ひ、聯邦の首府で、國內第一の大都會である。平原の中心で、商工業が最も盛んである。クレムリンは市の一部で、城郭に圍まれ、壯麗な堂塔伽藍が多い。

る。アルハンゲルスク(アルハンゲル)は白海の要港であり、ペルムスヴェルドロフスク(舊名エカテリンブルグ)は共に、ウラル地方鑛業の中心地である。サマラは中央アジアに入る要路に當り、オレンブルグはアジアとの貿易が盛んである。ヴォルガ河口のアストラハン(特に鱈)はアジヤロシヤ、ペルシヤ方面との貿易の要地で、又水産物(特に鱈)の集散地である。

白ロシヤの首府ミンスクは、ドニエプル河上流の河港で、鐵道四通し、穀物の集散が多い。キエフはウクライナの名都であつて、宗教學術の中心をなし、精糖皮革工業の盛大を以て名高く、首府ハルコフと共に定期市の開かれる所である。オデッサは黒土地方の豊富な穀物の輸出港であるが、革命以來大いに衰へた。タガンログ、rostov、ニコライエフ等も穀物の輸出を以て聞えてゐる。ニコライエフは又クリミヤ半島のセヴァストポールと共に軍港であつて、前者は廣大な造兵廠



一八五四年から一八五五年まで。

バルチック諸國

ロシアニヤ

面積 十五萬方キロ

人口 四百八十萬

ラトヴィヤ

面積 六萬五千方キ

人口 一百八十萬

エストニア

面積 四萬七千方キ

人口 一百十萬

リトヴァニア

面積 一萬七千方キ

人口 一十萬

ラトヴィヤ

面積の四分

一が森林で、

木材は主要輸

出品である。

があるので名高く、後者はクリミア戦役で世に知られてゐる。

附バルチック諸國

Baltic States

ヨロ種)・エスト

Esbs

(フィン族

の一種)

等の少数民族がゐて、長く露國に屬してゐたが、

Lithuanian

Lett

(以上はスラヴ族ではないが、

露國の革命に乗じて獨立政府を組織した。

ロシアニヤはニーメン河の流域を占め、コ

ヴノ(カウナス)を首府とする。レット族はその

北にをって國をラトヴィヤといふ。首府リガ

は同名の灣に臨み、チユーナ河口を占め貿易

が盛んで、穀物・木材・麻を輸出する。エスト族

はフィンランド灣の南を占め、國はエストニ

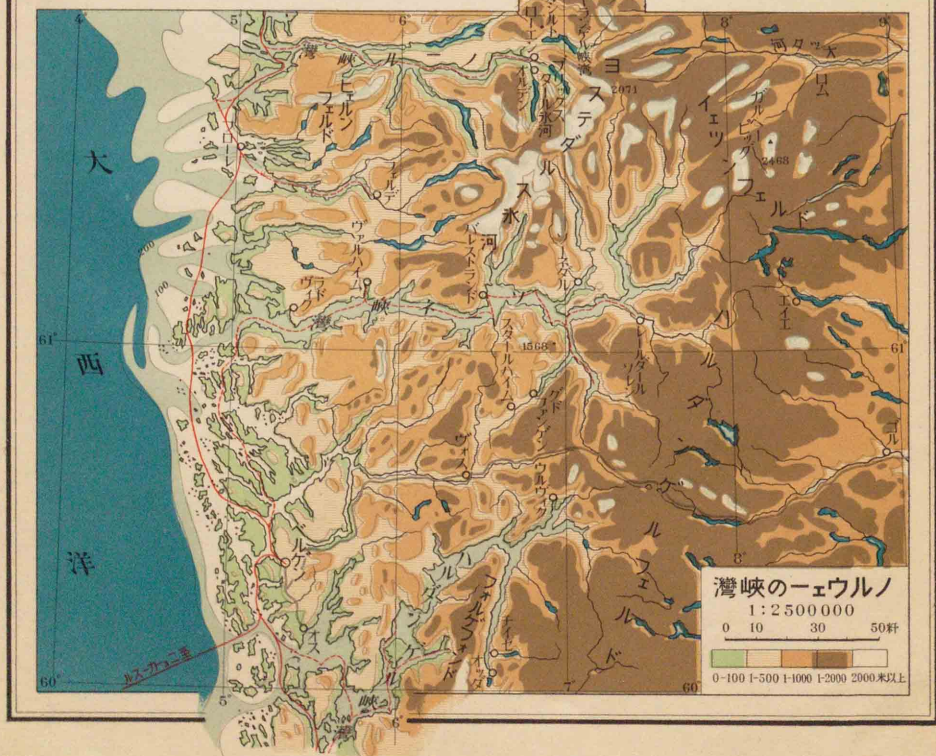
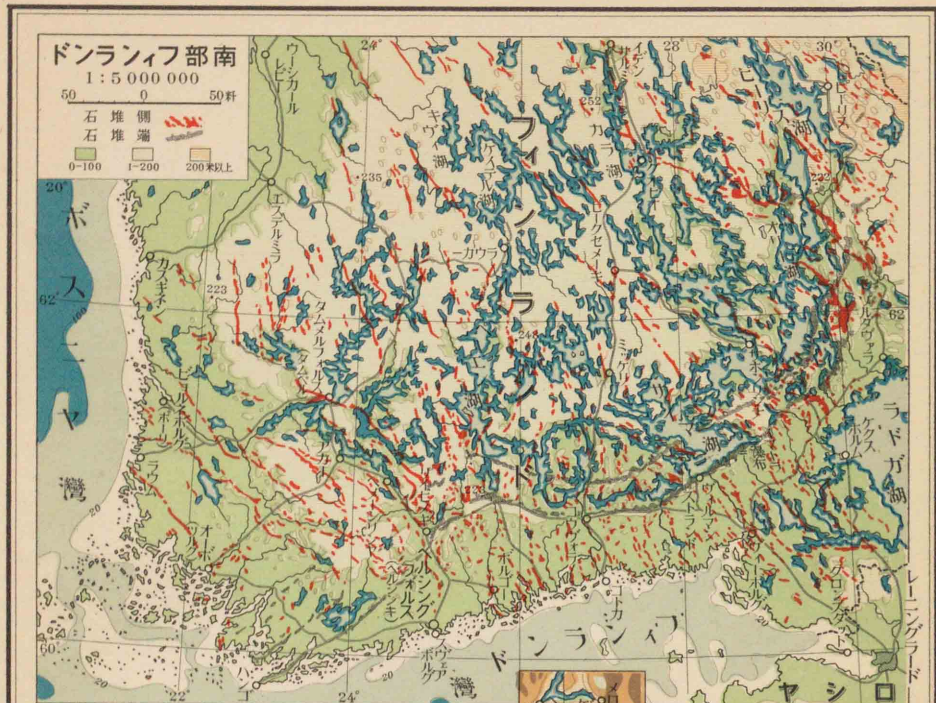
ヤである。その首府レヴァール(タリン)は又貿

易港である。

Reval Tallin



ラトヴィヤの森林



ラトヴィヤ  
の林業  
全面積の四分  
一が森林で、  
木材は主要輸  
出品である。



はフィンランド灣の南を占め、國はエストニア  
である。その首府レヴァール(タリン)は又貿易  
港である。  
Roval Tallin Estonia

面積  
三十四萬方キ  
ロメートル  
(日本本土に  
等しい)  
人口  
三百四十萬  
(東京府より  
少い)  
氣候産業

問 設

- 露國海岸の狀態を説明せよ。
- 草原凍土帯とは何ぞ。
- 露國の膨脹は地形と如何なる關係あるか。
- 露國革命の理由並びに現在の政治狀態を語れ。
- 露國産業上重要な都市を列舉せ

- よ。
- 露國貿易品の主なるものを示せ。
- 露國に於ける水陸交通の概況を述べよ。
- 露國と我が國との關係を問ふ。

第三章 北歐諸國

一 フィンランド (Finland) (芬蘭)

【總論】 ロシヤとスカンデナヴィヤとの間の橋梁狀の地域である。内陸は臺地をなし、昔氷河の齎した堆石は所々に波狀の起伏をつくり、多くの湖沼(全面積の八分一)がその間に散在する。

氣候寒く地味瘠せ、濕地荒原多く、森林の面積は全土の半ばを超え

木材・パルプの輸出は全輸出額の四分三に及ぶ。

フィンランドの氷河の堆石と森林

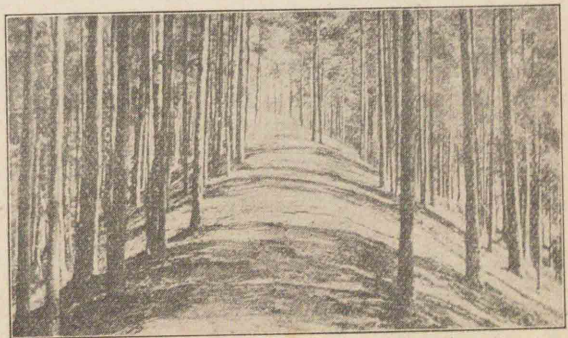
氷河の側堆石丘で、フィンランド語でハルジュといひ高さ十乃至八十メートル、長さ數キロメートルに達し丘陵状に連れる。かゝる堆石丘の間には湖沼の連るの特色である。

住民・政治

フィンランドの風俗

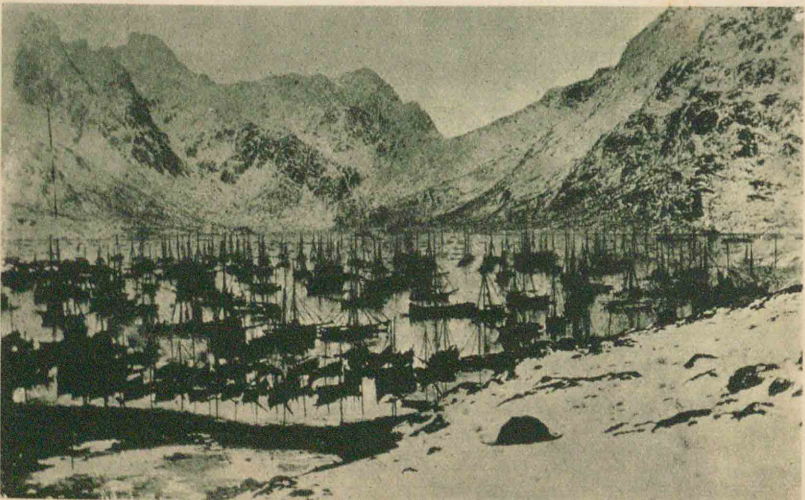
てゐるから農産は少く、木材・パルプ等の林産が主要輸出品である。酪業も亦行はれ、多くバター！皮革を産する。而して食料品は主に輸入によつてゐる。

國民の大部分はフィン族である。この種族は言語上アジア人種であるが、容貌習俗は西歐風を帯び、新教を奉じ、教育も普及してゐる。その他南方海岸にはスウェーデン人住み、北部にはラップ族が遊牧してゐる。この國はもとフィンランド大公國と稱し、露國皇帝をその君



スルオフグンシルへ 版五第

埠頭附近で、前景は魚類及び果實の市場である。



島諸ンテーフロ 版六第

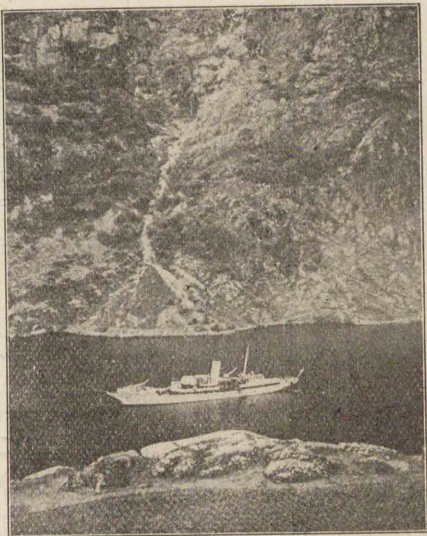
圖の如く荒れた岩山の島であるが、近海鱈の産が多く、漁船が集中する。



ノルウェー、ソグネ峽灣の先端  
峽灣の長さ一百五十キロメートル。

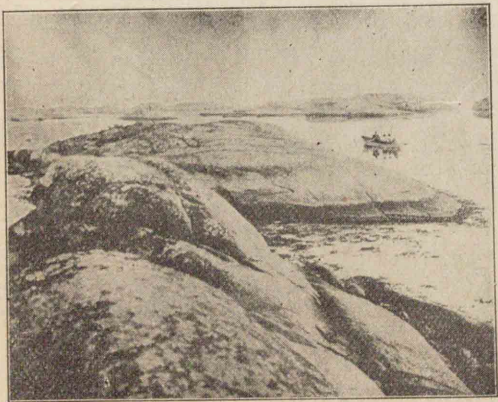
ノルウェー海岸の島

ノルウェーの海岸には、島の如く岩山がある。皆氷河作用を受けて表面が圓くならず、ひたひたの跡がたつたやうな跡がある。



深く彎入し、奔流は懸崖にかゝり、巖下に碧潭深く、風景壯絶である。  
地質時代の昔、大氷原がスカンヂナヴィヤを中心として、バルチック海北海及びその沿岸地方を蔽うたことがあ  
る。現

今これらの地方に多い湖沼は、當時の氷河が齎した堆石の間に水をたたへたものである。又氷河の穿つた深谷は或は湖となり、又は地盤降下の爲に海に續き峽灣となつた。峽灣はノルウェー海岸の特色で、幅狭く河の如く長く陸地に彎入し、或ものは長さ一百五十キロメートルに及んでゐる。四周には斷崖が峙つて、

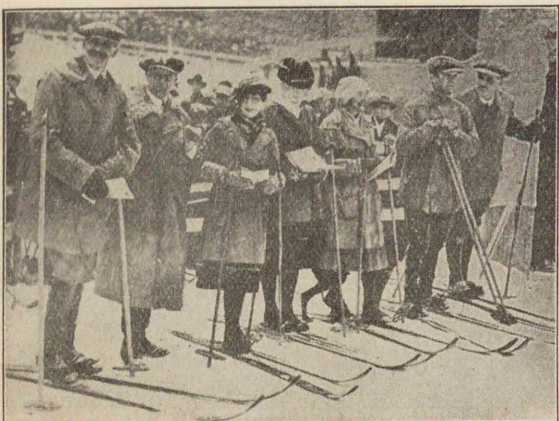


風光の美

氣候

北歐のスキ

雪の深い北歐で、スキーは國民的遊戯である。スキー(シ)は元來スカンヂナヴィヤ語である。圖はノルウェー王族のスキの様。左端は國王ハロルド三世陛下、右端は王后マツダ陛下。



時には一千五百メートルにも達することがある。高原を仰ぐと盛夏なほ白雪の皓々たるものが見られ、崖下には紺碧の深海が脚下に迫る。融雪は懸崖に瀑布をなし、漁船は峽灣中を去來する。その風光の雄麗なことは筆舌に盡し難い。夏季涼を逐うてこの沿岸を周航し、併せて夜半の太陽、極光等の奇觀を尋ねるものも多いのも決して偶然ではない。觀光客の接待は國民所得の源泉である。  
氣候はスウェーデンは稍大陸性で、北半は殊に寒さが強くボスニア灣は氷結するが、ノルウェーは暖流の影響を受けて、北端の峽灣でも凍結することがない。夏冬には晝夜の長短の差が甚だしく、北部では屢、極光が見える。  
Aurora

【人文】地勢氣候の關係上荒地、雪原多く、

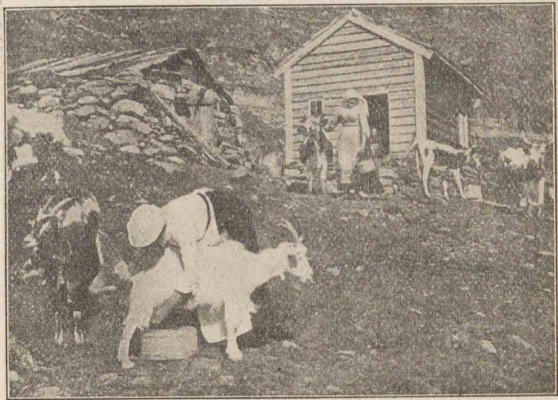
産業

スカンデナヴィアの酪業

北歐では酪業が重要である。山地の牧場は夏のみに使われる。板石の小屋は左の者の住居。チビス造及貯蔵所。

ノルウェーの海岸の鱈の漁獲

ロフオーテン諸島で鱈の豊漁なところである。



農業・牧畜の盛んなのはスウェーデンの南部地方に限られる。森林は廣大な面積を占め、木材・パルプ・マッチ等の林産が甚だ多い。スウェーデンの北部には多量の鐵鑛を産し、従来は多く鑛石のまゝ、獨英に輸出されてゐた。石炭

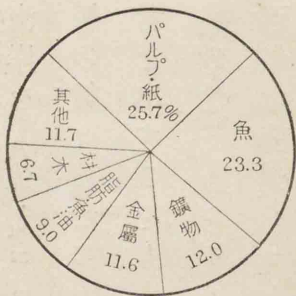


の産はないが、水力は頗る豊富で、近年冶金製紙・製材・化學工業等に盛んに利用される。ノルウェーの海上は世界三大漁場の一で、ベルゲン附近の鯨、ロフオーテン諸島

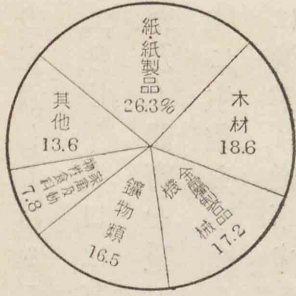
スウェーデン(左)ノルウェー(右)の輸出品割合

(二年平均) 交通

スカンデナヴィアの交通及び物産圖



輸出入總額六億九千九百萬元

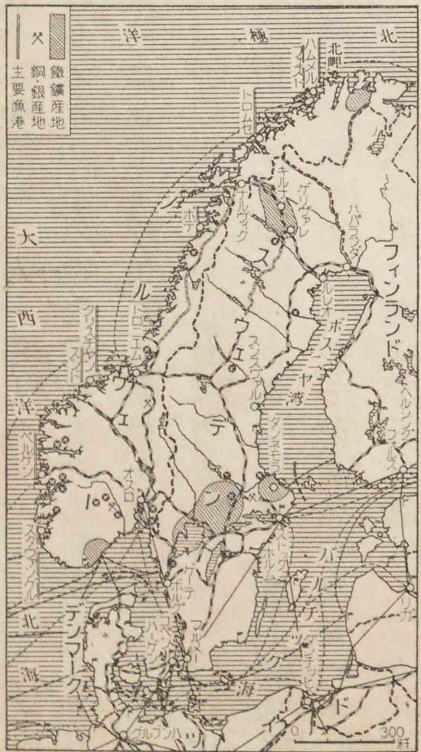


輸出入總額八億八千五百萬元

の鱈及び各地の鯨を主とする。貿易は英獨との間に盛んで、スウェーデンは林産鐵鑛及び木材を、ノルウェーは水産と林産とを賣つて、共に穀物・織物・石炭を購つてゐる。

【交通】地勢の關係上、ノルウェーは海上交通を主としてゐるけれども、スウェーデンは人口の

稀薄な割合に鐵道發達し、その鐵道の密度は凡そ我が國に等し



電信・電話が早く、最も早くと、普及し、地形の關係は、陸上の運輸機關を發達せしめ、補給の必要なきを得、産業に發達させるに、痛切に感ずる。たからであ

住民

耕地牧場はスウェーデンで全土の八分一、ノルウェーで二十五分一。

政治

く、ドイツから海峽の渡船(汽車を乗せて航する汽船)を利用してスウェーデンに行く幹線の外、幾多の支線がある。ノルウェーの沿海鐵道も近く竣成するであらう。スウェーデン南部の諸湖は運河と相俟つて汽船を通ずる。通信機關の完備してゐることは世界の模範といはれてゐる。

【住民】 人口は甚だ少く、概ねチUTTON族で新教を奉ずる。教育はよく普及し體育を重んじ、勤儉の美風がある。國內一般に氷原荒地が多く、陸に生業を求めることが出来ないで、國人は古來海上に活動し、或は漁業に従事する。その祖先は北人といつて、大西洋上に雄飛し、地中海岸をも荒し、コロンブス以前に北米を發見したことがある。今も商船の數は甚だ多く、世界各國の傭船となつて商業に従事し、船員探検者を出すことも少くない。

【政治】もとデンマークと共に、三國合一して一王國を形成したが、百年以前デンマークまづ離れ、その後兩國一君主の下に統一された

處誌

都會人口  
ストックホルム 四萬  
ゲーテボル 三三

ベルゲン

この公使館はノルウェー、デンマーク、アイスランドを兼轄する。

都會人口  
オスロ 二六萬  
ベルゲン 九萬  
トロンヘイム 六萬  
ハンメル 五萬  
スタヴANGER 四萬  
月頭から五月末まで太陽が夜半の極光を見

この公使館はノルウェー、デンマーク、アイスランドを兼轄する。



が、近年になつて再び分れ、各立憲王國となつた(三國の合同は一八一五年)。

【處誌】

スウェーデンの首府ストックホルムはバルチック海とメーラル湖との間の數多の小島

上にある。風光の明媚で名高く、日本公使館もある。ウプサラには有名な大學がある。ゲーテボルグは木綿工業が盛んで、木材・マッチ・バルプ等の輸出が多い。ノルウェーの首府オスロは木材を盛んに輸出し、市況繁盛である。ベルゲンはこの國水産物集散の大中心地で、トロンヘイムは世界最北の都會で、夏季夜半の太陽を見る

エムは舊都、ハンメル、フエストは世界最北の都會で、夏季夜半の太陽を見る

エムは舊都、ハンメル、フエストは世界最北の都會で、夏季夜半の太陽を見る

エムは舊都、ハンメル、フエストは世界最北の都會で、夏季夜半の太陽を見る

エムは舊都、ハンメル、フエストは世界最北の都會で、夏季夜半の太陽を見る

エムは舊都、ハンメル、フエストは世界最北の都會で、夏季夜半の太陽を見る

エムは舊都、ハンメル、フエストは世界最北の都會で、夏季夜半の太陽を見る

エムは舊都、ハンメル、フエストは世界最北の都會で、夏季夜半の太陽を見る

三 デンマーク



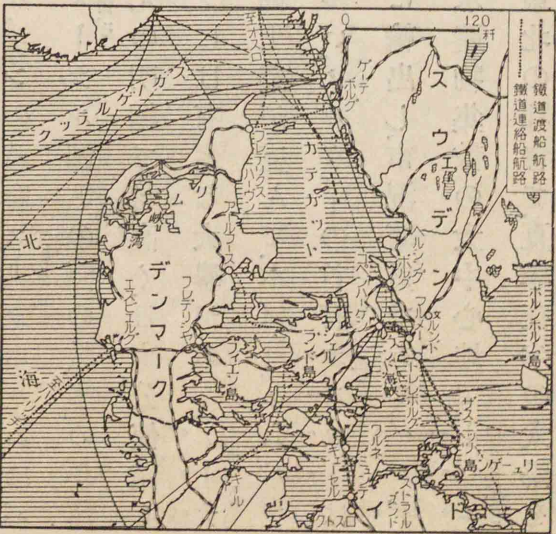
面積  
四萬三千方キ  
ロメートル  
人口  
約三百四十萬

デンマーク  
の交通圖

産業

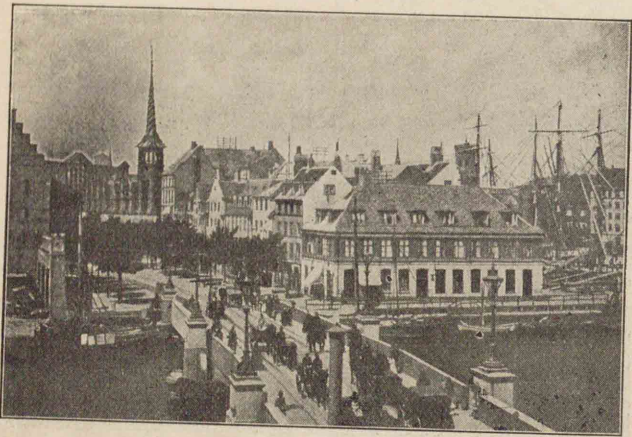
【總論】バルチック海と北海との間に位し、ジュツランド半島の大部と、その東のシエルランド・フイエ・ラーランド等の諸島とから成り、スカゲルラック・カテガット兩海峡を隔てて、スカンディナヴィヤ半島に對する。面積は九州島に等しい。地勢は頗る平坦で、海岸線の延長は著しいが、半島の西岸は沼澤・砂丘が連つて、碇泊に不便である。北にリーム峽灣があつて、半島を横斷してゐる。氣候は温和であるが、夏季は霧が深い。

國人は多く農牧を營み、酪業が頗る盛んで、バターButterの産が夥しく、家畜卵皮革と共に、英國に輸出する。種族言語宗教風俗等はスカンディナヴィヤと大差なく、教育はよく普及し、



政治

都會人口  
コペンハー  
ゲン 五十萬  
コペンハー  
ゲン 一部は自由港  
である。



勤儉貯蓄の良風がある。政治は立憲王政で、昔は北歐に雄飛したことがある。今なほフェル諸島及びグリーンランドの海岸を領有し、我が國近海Greenlandの海底電線も主としてこの國人の沈設したものである。

【處誌】首府をコペンハーゲンといひ、シエルランド島の東岸に位し、ズント海峽を扼し、貿易が盛んで陶器の名産がある。

アイスランド 北大西洋上の火山島で、面積デンマークの二倍に當り、火山及び間歇泉が多い。氣候寒冷で、山中には氷河多く、穀物野菜の栽培は困難で、住民は主に牧羊漁業に従事する。住民はノルウェー人の子孫で十萬人に過ぎない。近頃までデンマークに屬してゐたが、今は同國王を君主に戴い

アイスランドの鯨漁獲  
アイスランドの住民は漁業と牧羊とを生業とする。殊に鯨と鯨とが多くとれる。



て、自治政府を建てた。首府をライキヤヴィクといふ。  
Reykjavik

問 設

- バルチック沿海地方の地勢の特色を語れ。
- スウェデン・ノルウェー兩國の地勢氣候を比較せよ。
- スカンデナヴィヤ半島とロシアとに就いて、その海洋に對する位置及び地勢を比較して、住民の生業並びに交通が如何に地文上の影響を受くるかを考察せよ。
- スカンデナヴィヤ三國(スウェデン・ノルウェー・デンマーク)國民の特質を述べよ。
- ノルウェー國人の輸出する産物は何か、又その輸出以外にある所得は何か。

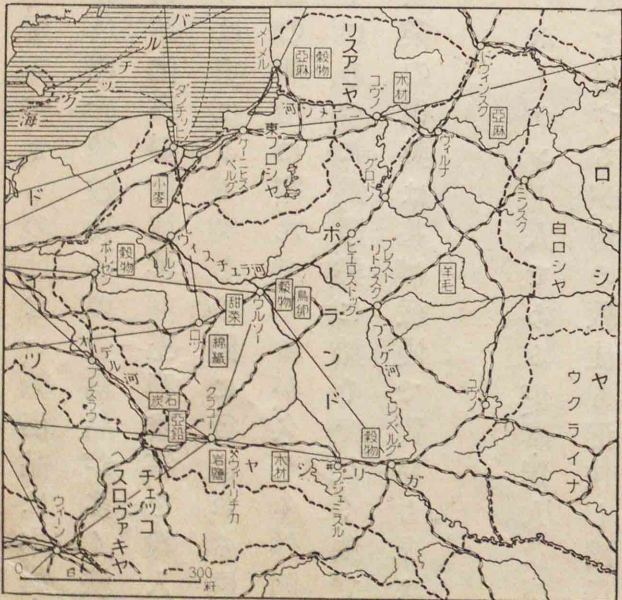
第四章 ポーランド (波蘭)

【總論】 露獨及びチエッコスロヴァキヤ等の諸國の間に挟まれ、北西の

面積 約三十八萬八千方キロメートル  
人口 二千七百萬  
地文産業

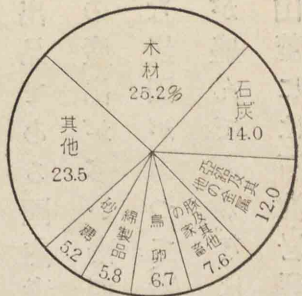
ポーランド及びロシアの交通及び物産圖

一部はバルチック海に臨む。南境にはカーパシヤ山脈が連亘してゐるが、その他國の大部は露獨に連る平原で、ヴィスチユラ河が國の中央を貫流して舟楫の利を與へる。氣候は大陸性である。平野廣く、地味極めて肥沃であるから、麥類、馬鈴薯、甜菜等の産多く、牧畜もこれに伴ふ。豚、バター、鳥卵等は重要輸出品である。國內森林廣く、木材の産出が多い。南西部には豊富な炭田があつて、鐵、亞鉛の製鍊が盛んである。なほカーパシヤ山麓には石油、岩鹽を産する。この國は大部分東歐の農業地帯にあるので、工業は炭田地方の



住民政治

ポーランド輸出品割合 (二年平均)



輸出總額五億五千萬元 輸入總額一億一千萬元

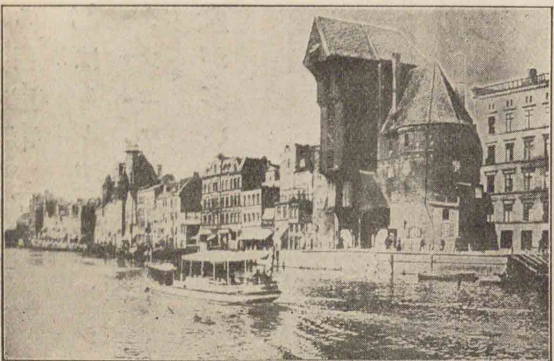
製鍊業と、ロヅの木綿工業との外、見るべきものはない。輸出品は木材、石炭、亞鉛、石油等の原料品及び豚鳥卵、砂糖、穀物等の食料品が多く、機械、金屬製品、化學製品、綿羊毛、玉蜀黍等を輸入する。貿易は主にドイツとの間に行はれる。國民は愛國の熱情に富んでゐるが、久しく外國人の治下にあつた爲、産業に熱心でなく、獨立恢復後産業の復興は甚だ緩慢で、貿易も振は

ない。  
住民の凡そ七割はスラヴ族のポーランド人であるが、露獨人及びユダヤ人も少くない。多くは舊教を信ずるが、他の教徒も混住し、國民の思想感情は融和しない。國人は早く西歐の文化に浴し、九百年前から獨立國を建て、我が足利時代の頃東歐の強國と稱せられたが、國民が一致しない爲、百三十餘年前露獨、普(シ)三國に分割され、その後長

ポーランドの農家の多數は圖の如き貧しい農民である。

都會人口  
ワルソー 六萬  
ロヅ 四萬  
レンベルグ 三萬  
ポーゼン 二萬  
クラコウ 一萬  
日本公使館所在地

ダンチツヒ  
自由市  
中世に繁盛を極めた港、今はポーランドの門戸である。市中に古建築が多い。



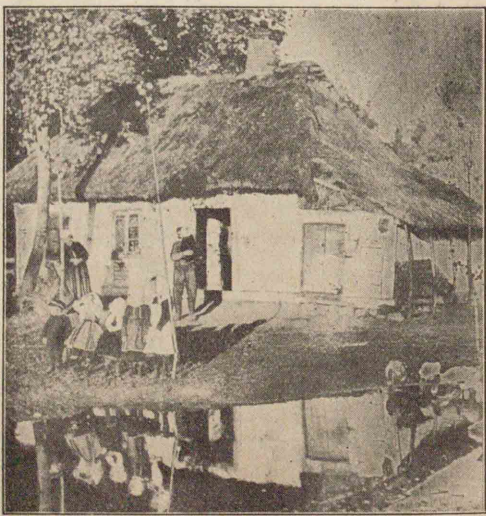
く強國の壓制に苦しんだが、世界大戰に際して三國が敗北した爲、舊領土の大部分を恢復して獨立共和國となつた。

【處誌】首

府ワルソー  
はヴィスチュラ

河畔に位し、

交通の要地を占め、商工業が盛んである。ロヅはその西南に位し、紡績業が盛んなので名高く、ポーゼンは農産物の集散で著はれてゐる。ヴィスチュラ河口のダンチツヒは舊王國時代に繁盛を極めた港である。今は國際聯盟の管理す





多い。中でもライン河はアルプスの氷河に發し、獨佛の境をなす所は豊沃なライン盆地を流れ、再び山地に入つて兩崖の林木葡萄園の間所々に古城が隠見して絶景をなしてゐる。中流以下は船舶の往來が繁く、都市が河畔に並び、貿易の要路となる。國人が「父ライン」といつて讚嘆して止まないのも當然である。

ライン河は源をスイス、アルプス山中のサンゴタールトンネル附近の氷河に發し、一度コンスタンス湖に入り、再び出でて瀑布をつくり、バーゼルから北に向ひ、獨佛の國境をなしてライン盆地を流れ、ついでドイツ國內に入り、マイン河合流點の下からケルンの上まで山間に峽流をつくる。この間が風光最も秀麗である。下流は平野を流れ、その三角洲はオランダ領である。水運の便は甚だよく、河口からバーゼルまでは舟航に適し、又支流運河によつて、ダニューブセイヌ、ロースと連絡し、且大汽船もマンハイムまで溯ることが出来る。現今ではバーゼル以下は國際河川である。その下流地方にルールの大工業地があつて、この河の水運によつて鑛石穀物を輸入し、石炭を輸出す

ライン河

氣候

北ドイツの馬鈴薯栽培

北ドイツ平原は昔、水河作の地味があつたので肥沃な馬鈴薯は主要農作物で、住民常食の主なものである。又國民は一般に勤勉で、農耕に従事する。

甜菜

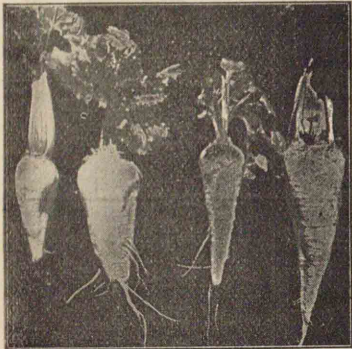
る。

【氣候】地勢は南方が高く、北方が低いから、南北の氣温に大差はないが、西から東に至るに隨つて、漸次低温となる。ライン地方及び北海の沿岸は、大西洋の影響を受けて温和であるが、東部は大陸性の氣候で、バルチック海面は冬季氷結する。

人文

【産業】耕地は全

土の半ばに當る。地味氣候の良くない所が多いが、國民がよく耕作に努めて、ライ麥、燕麥、馬鈴薯等は到る所に作られる。甜菜は中部に多く、甜菜糖は世界産



甜菜糖産額比較 (三年平均)  
 ライン流域の葡萄栽培  
 ライン流域はドイツ國中氣候最も溫和候、圖の如く葡萄を作る。支流モザールの川流域で、有名な葡萄酒の産地である。

鉄は鋼の原料であるのに、鋼の産額に古銅を鑄つておくるから鋼である。

(鋼) 産額比較 (右) 鉄 (左)

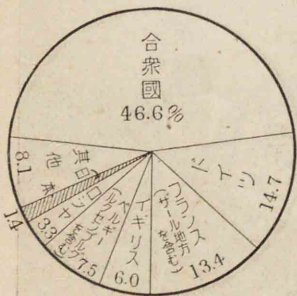
	噸万十二	噸万十六	噸万百	噸万十四百
ドイツ				
フランス				
イギリス				
アメリカ				
日本				
その他				

世界總産額三十六萬噸

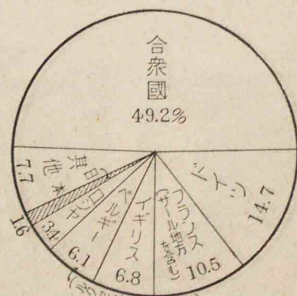


國の四分之一を占め、その管理經營がよく行届いてゐる。随つて木材紙等の産出が多く、又書籍の出版が盛んである。鑛産は最も豊富で、鐵鑛はラ

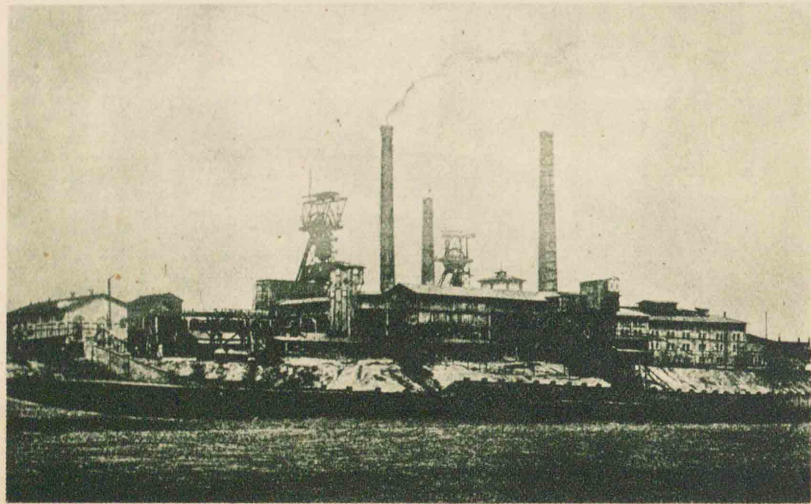
の牧畜も盛んである。森林は全  
 人の特  
 に嗜む  
 ところ  
 である。  
 牛・羊・豚  
 額の三分一に當る。氣候溫和なライン地方にはホップ(Hop)の味を添へるもの(苦)葡萄を作り、ビール(Beer)は國



世界總産額一億八千萬噸



世界總産額九千五百万噸



第九版 スタスツルカのウリム鑛山

カリウムは化學工業に缺くべからざる原料である。スタスツルは世界最大の鑛山である。鑛石は地下數百メートルの深所にあつて、圖に見える捲揚機で運び上げる。



第十版 ライン河

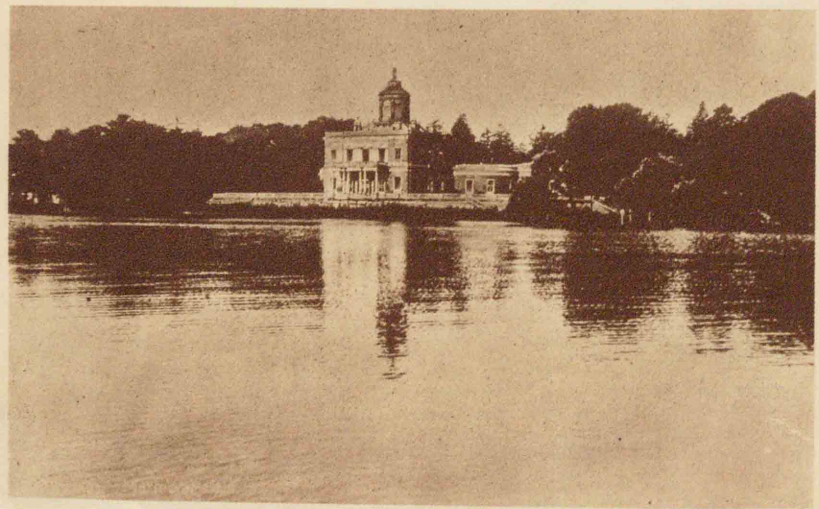
コブレンツ附近のライン河峡谷の景であつて、對岸に見えるのはエーレンブライトシュタイン城である。

舊王宮はベルリンの中央、スプレ川の川中島にあり、十五世紀の頃に建てられ、十九世紀まで増築せられて今に至つたものである。その一部は今、博覧館となつてゐる。



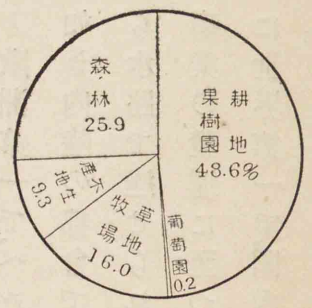
版一十第 宮王舊のソルベ

ボツダムはベルリンの西南二十五キロメートル、ハフニル川の川中島にある美しい小市である。離宮及び林泉の大部分はフレデリック大王がゲルサイユ宮殿に模して造つたもので、園は大石宮といつて、フレデリックウイリヤム二世の建立である。

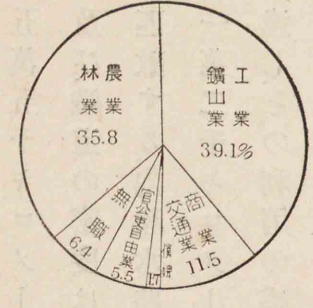


版二十第 宮離舊のムダツボ

ドイツ土地  
利用割合



ドイツ世帯  
主職業別



サクソニー  
の陶器製造  
サクソニーは  
世界第一の陶  
器産地、その  
畫は多く婦人  
の手になる。

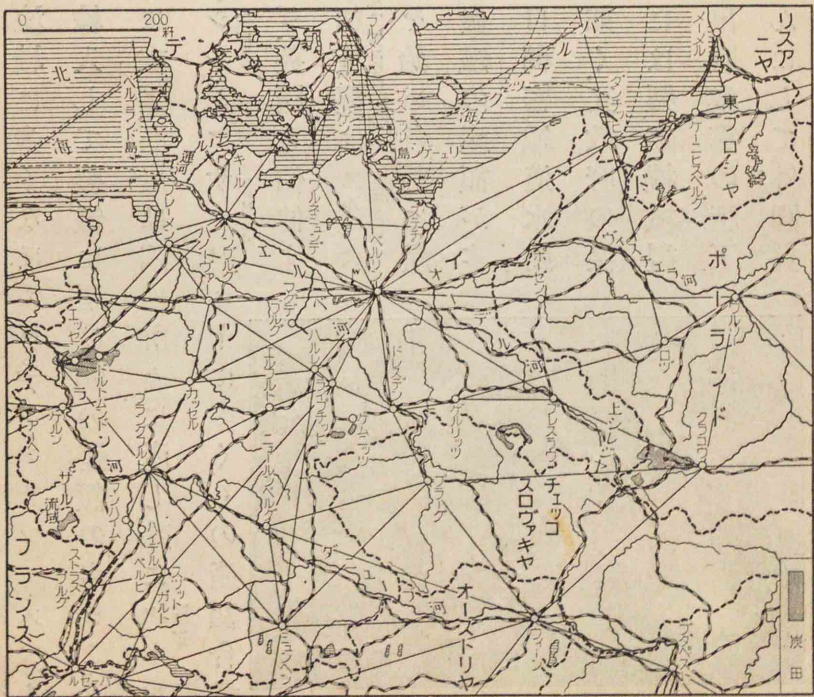
イン河流域に多く、なほスウェデン・フランス・スペインから輸入して製鐵に用ひ、鋼の産額の多きこと合衆國に次ぎ、石炭は國內所々に産し、殊にルール河流域・シレジア・サクソニーに多く、その産額合衆國に次ぎ、英國と伯仲する。岩鹽加里鹽はスタツス Rook salt, Potash salt, Stassfurt フルトを始め各所に産する、石炭鐵の産額が多い上、人口稠密、鐵道水路は網の如く、又政府の保護も十分なので、鑛産地方には製鐵機械製作・紡績・染織・製藥・化學工業・出版業等の諸工業が大いに興り、商業又盛んにして、外國貿易



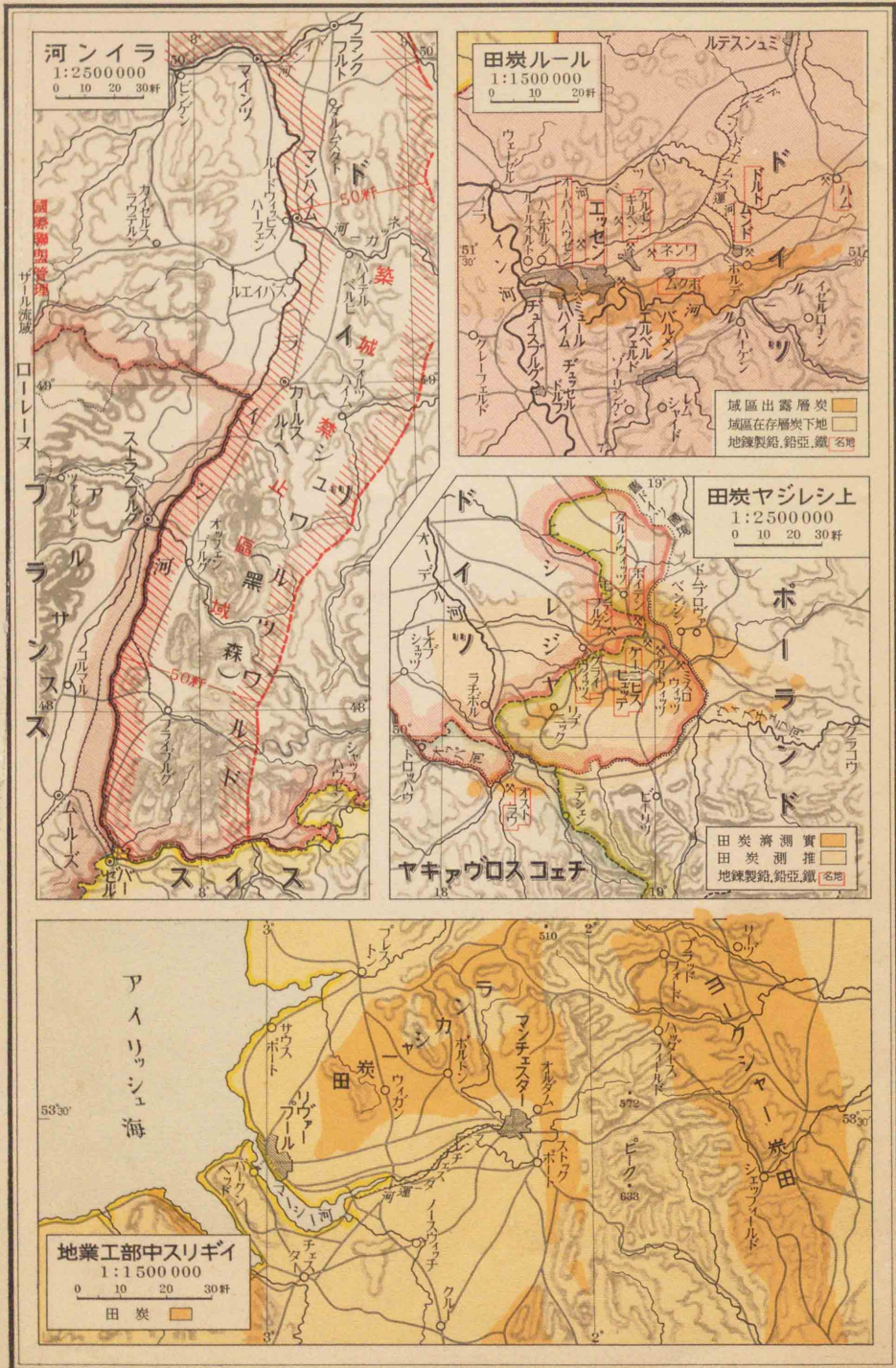
ドイツの交通及び炭田分布圖

易の進歩は極めて顯著である。

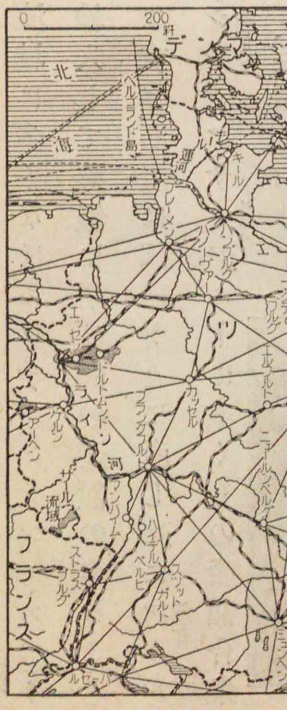
【交通】 鐵道は延長凡そ五萬五千キロメートルに及び、鐵道の密度は英國に匹敵する。内陸水路(河運)は一萬二千キロメートルに達し、その利用の盛んなこと歐洲第一で、ベルリンの如き内陸の都會でも海から水路で達せられる。航空事業の發達に至つては、實に世界第一で、國內の航空







と歐洲第一で、ベルリンの如き内陸の都會でも海から水路で達せられる。航空事業の發達に至つては、實に世界第一で、國內の航空



内陸水路

國際河  
國際河川とは  
二國以上に關  
係あるものを  
指す。その水路  
は各國艦船の  
交通に開放さ  
れ、且國際委  
員會の管理す  
るものである。

住民

路網が頗る密であるばかりでなく、近隣諸國は勿論、ロシヤ・スカンデ  
ナヴィヤ・イギリス等とも定期航空の便がある。大戰前世界第二位を占  
めたその優秀な商船隊は、講和條約によつて殆ど失はれたが、近年急  
速に復興し、已に世界各地の重要航路に活動してゐる。

内陸水路としてはライン河が最も重要で、エルベ・オーデルがこれに次ぎ、  
その他運河が多くある。中でもキール運河は三十年ほど前に開通したもの  
で、長さ凡そ一百キロメートルある。これによつてデンマークを廻航するよ  
り四百キロメートルを短縮し、且海峽の風雪・流氷の危険を免れることが出  
来る。ドルトムント・エムス運河はウエストファリヤ工業地と、エムデン及びブレ  
ーメンを連絡し、オーデル河はシレジャ工業地に行く水路である。ヴェルサイ  
ユ條約は、ライン・エルベ・オーデル・ニーメン・ダニューブの諸河を國際河川とし、  
内陸諸國に海港への出口を與へ、キール運河及びヴィスチュラ河をも各國の艦  
船の交通に開放した。

【住民】 住民の大部はチットン族で、南獨には舊教を奉ずるものもあ

るが、大部は新教徒である。密度は我が内地よりも稍小さいが、年々の増殖八十萬人に達し、南北アメリカに移住するものが甚だ多い。國人は勤儉尙武の氣象に富み、學術の研究は殊に盛んで、教育制度完備し、大學の數は二十三に及び、世界各國から留學するものが頗る多く、我が軍事學術の進歩もこの國に負ふところが甚だ多い。

政治

【政治】この地方は古くから多くの小王侯國に分れ、オーストリアをその盟主としてゐたが、プロシヤが盛んになつて、オーストリアを驅逐し、強固な聯邦帝國を組織し、プロシヤ王をその皇帝に戴き、産業を興し、軍備を擴張し、アフリカ大洋洲に植民地を拓き、富強隣邦を壓する勢があつた。大戰に敗れてから、帝政を廢して共和政體とし、聯邦各國も皆共和國に改めた(今は十八國から成る)。敗戰の結果、本國に於て面積八萬方キロメートル、人口七百五十萬の地を削られ、ザール炭田及び上シレヂヤ炭田の大部分を失ひ、植民地の全部を奪はれ、ライン河西の地

條約の結果

を占領され(一九二〇年から十五年間)、軍備を制限され、商船隊の殆ど全部を失ひ、莫大な金品を賠償することとなつた。しかし、國民は粗衣粗食に甘んじ、勤儉努力復興に努めてゐるので、産業貿易など急速に恢復しつゝある。

ドイツはヴェルサイユ條約により、本國の領土を削られた外、熱帯アフリカ、太平洋に有してゐた凡そ三百萬方キロメートル(日本帝國の四倍に近い)の植民地を失ひ、ライン河西の地は十五年間聯合國の占領に歸し、重要河川は國際河川となり、軍備は陸軍六萬以内、海軍は舊式戰艦六隻以内に制限され、賠償として商船の大部、ザール炭田、右炭家畜、海底電線を沒收され、又その輸出品は重税を課して賠償金の一部に充てられることとなつた。ドイツ産業の恢復、國力の發展は非常に困難なことと思はれる。

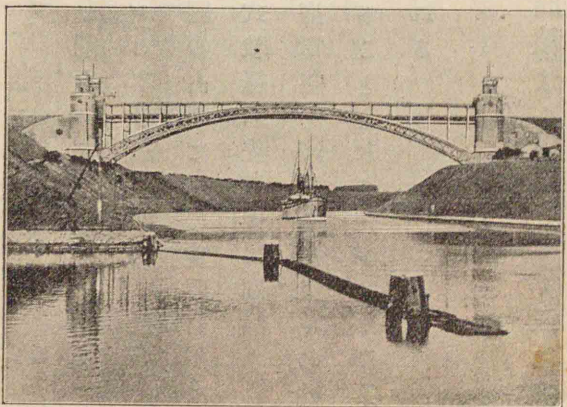
處誌

プロシヤは北ドイツ平原の大部を占め、面積は全國の三分二に當る。國都ベルリン(柏林)は又ドイツの首府で、エルベ河の支流スプレー河(Spree)に跨り、市街頗る壯麗、政治教育商工業の大中心である。その大學は世

都邑人口  
 ベルリン 三〇〇  
 ハンブル 一〇五  
 ケルン 七〇  
 ミュンヘン 六〇  
 ドレスデン 五〇  
 エッセン 四〇  
 フランク 三〇  
 ヌルンバ 二〇  
 ヌルンバ 一〇

キール運河  
 長さ凡そ一  
 キロメートル  
 ル、今は各國  
 商船の通行が  
 自由である。

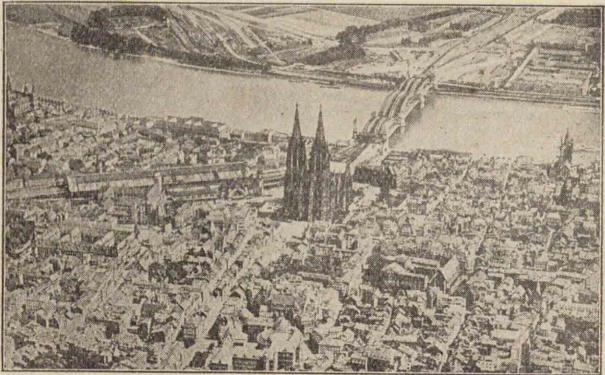
界學術の淵源といはれ、我が大使館もある。西南郊外のポツダムは舊  
 離宮の所在地で、林泉の美を以て名高い。東北に離れてゐる東プロシ  
 ヤの地方はバルチック海とポーランドとの  
 間に挾つた所、そのケルニヒスベルグ港か  
 らは、穀物・木材を輸出する。シレジヤは沃野  
 遠く連り、主邑のブレスラウはオーデル河  
 畔に位し、農産物の市場で工業も盛んであ  
 る。その東南の上シレジヤは人民投票によ  
 り、獨波兩國間に分割された所で、大炭田が  
 あり、鐵・亞鉛・鉛の精鍊が盛んである。マクデ  
 ブルグはエルベ河畔に位し、甜菜製糖業の  
 中心地、ステッチンはバルチック海の要港で商業振ひ、又附近には造船業  
 が盛んである。キール運河はバルチック海と北海とを連結し、各國船舶



東プロシヤ Eisen, Prussia

都會人口  
 ニュルン 一〇〇  
 ベルグ 八〇  
 ガルト 七〇  
 ケムニツク 六〇  
 マグデブ 五〇  
 プレーメン 四〇  
 ケーニヒ 三〇  
 スペルグ 二〇  
 ステッチン 一〇  
 キール 五

ケルン  
 ケルンの河は、  
 業の極めて盛  
 んな町であ  
 る。正面のゴ  
 シック塔の名  
 あるのが有名  
 な寺院の中景  
 はライオン河

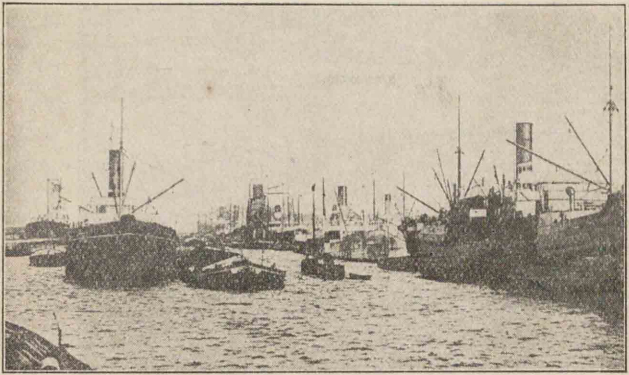


ニルンベルグ  
 Nürnberg

の交通が多い。キールも貿易が盛んで、又造船業で聞えてゐる。  
 ライン下流のルール地方はドイツ第一の炭田地、工業地で紡績  
 織物・冶金・精鍊等が特に盛んで、數多の商工業  
 市相連り、中でもクレイフェルトは絹織物、エッセ  
 ンはクルップ鐵工所の所在地で名高い。デュッセル  
 ドルフは各種製造工業盛んに、ケルン・フランク  
 ク・フルトはライン河及びその支流の岸にあ  
 つて、いづれも商業・交通の要市で、ケルンの大  
 寺は殊に有名である。ウルトンベルグの首府  
 スツットガルトは製造工業が盛んでその樂器  
 印刷は殊に名高く、バヴァリヤの首府ミュンヘン  
 は麥酒の醸造で聞え、その大學も有名である。

ハンブルグ港

港には廣い自由港區があつて、造船業が盛んである。大戦中一時衰へたが、今や再び盛んになつた。



ル・ハーフェンを外港とし、兩港相俟つてこの國第二の貿易港をなして

サクソニーは機業その他の工業が頗る發達し、人口も稠密である。首府ドレスデンは美術と工業とが發達し、その附近には陶器の産多く、ライプチヒは大學と出版業とを以て聞えてゐる。ケムニツは紡績及び機械製造が盛んである。

ハンブルグブレレーメン・リュベック三自由市

Hamburg

Bremen

Lübeck

は、中世以來繁盛な貿易港である。ハンブルグ

(漢)はエルベ河に臨み大陸第一の貿易港で、出入船舶の多いことロンドンをも凌ぐほどで

ある。ここにハンブルグアメリカ汽船會社がある。ブレレーメンはウーゼル河畔に位し、北ド

Hamburg-American Line

イツロイド會社のある所で、河口のブレレーメン

German Lloyd Bremenharfen

問 設

ある。ウィルヘルムス・ハーフェン及びエムデンは北海の軍港である。

Wilhelmshafen

Emden

○ドイツの地勢と氣候との關係を問ふ。

條約によつて失つた損失如何。

○ライン・ウーゼル・エルベ・オーダー・グイ

○木曾川を日本ラインといふものがある。類似點があるか。

○スチュラ諸河の交通上の價值及びその下流にある港に就いて語れ。

○ドイツ工業の發達した理由如何。

○ドイツが世界大戦及びヴェルサイユ

○ドイツの交通の狀態を記せ。

○ドイツが世界大戦及びヴェルサイユ

○獨露兩國國民の性質を比較せよ。

第六章 チェッコスロヴァキヤ

Czecho-Slovakia

境域

人口

面積

位置・地勢

十四萬方キロメートル (九千方里) 人口一千三百六十萬

【總論】東西に細長い國で、内陸國であるが、バルチック海とアドリヤ海、又北海と黒海との交通の要路を占めてゐる。北西部はボヘミア高地で、その中央は盆地をなし、エルベ河がこれを流れてゐるので地味豊沃である。南東部にはカーパシヤ山脈があつて、ダニューブ河の流域に屬する。

南東部地帯 中心部 トラシカ

ボヘミア

國の主要部

地帯

右丁史あり  
高工業交通上振興

四訂中等地理學 外國之部 中卷

四八

モロツヤ  
水路  
氣候産業

三國際河川

ポレスカ  
加港

西陸

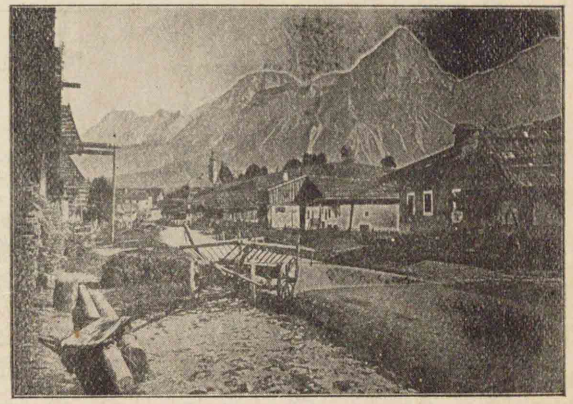
西部カーバ  
シヤ山地

交通上  
の位置  
田舎。

4エ  
ホヘ  
モロツヤ

カールン  
南針

カールン  
南針



氣候は稍大陸性であるが、山地には森林が繁茂して木材紙を産し、中部以西には穀物馬鈴薯甜菜果實の産が多い。山地には水力の利用多く、又石炭鐵の鑛産が豊富なので工業が盛んに、機業製鐵製紙製糖醸造及び硝子陶器の製造が特に著しい。農工業が振興してゐるので、人口も亦甚だ稠密である。

海港に出ることが出来る。即ちエルベ河は支流モルダウ河と連絡してプラークから下流、オーデル河はこの國の國境を越える所から、共に國際河川であつて、この國はハンブルグ・ステッテン兩港の一部を租借して自國の貿易に使用する。又同じく國際河川であるダニューブ河に沿つて、プレスブルグ市

多新異民族 民族句決

オースト  
リヤハ  
リヤ

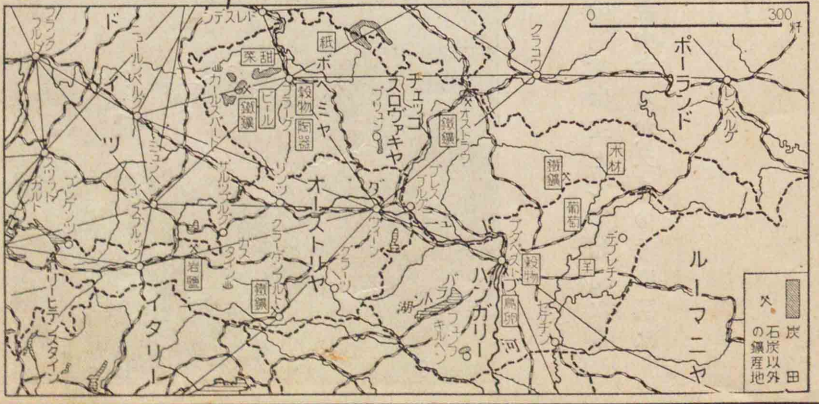
工業  
硝子

ダニューブ  
諸國の交通  
及び物産圖

がある。

ボヘミヤの中央に住むチェック人と、カーパシヤ山地を占めるスロヴァック人と共にスラヴ族で、ボヘミヤの邊境にはドイツ人が住んでゐる。この國は長らくオーストリアに屬してゐたが、その瓦解に乗じて獨立共和國を組織した。なほ國の東部にはルテニヤ族(スラ)がある。國民の多數は舊教を信じ、教育はよく普及してゐる。

チェック人は我が鎌倉時代まで凡そ二百年間ボヘミヤ王國を建てたが、その後オーストリア皇帝を國王に推戴してゐた。スロヴァック人はチェック人の一派とも見るべきもので、長くハンガリーに屬



第三篇 ヨーロッパ洲 第六章 チェッコスロヴァキヤ

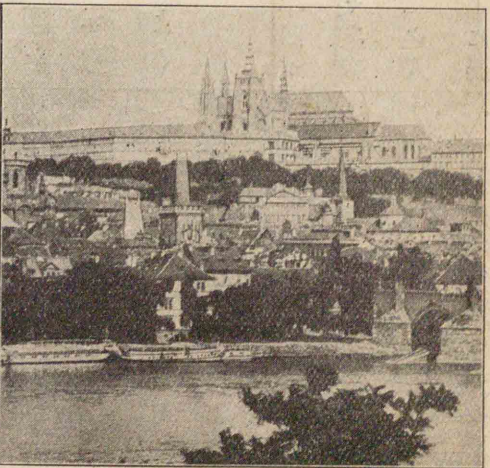
四九

都會人口  
ブラーグ  
ヒルゼン  
九

ブラーグ  
圖はブラーグ  
のフラジヤ  
1といふ一區  
劃で城壁に  
宮・寺・院等  
多し。川はモ  
ルダウ川。

してゐたが、今回提携して獨立したのである。ルテニヤ人は小ロシア人の一派で、その住地は自治區域をなしてゐる。

【處誌】首府ブラーグは盆地の中央にある。工業盛んであつて、我が公使館がある。ピルゼンはビールを出し、カールスバードは有名な温泉場である。モラヴィヤの中心に位するブリュン(ブルノ)はこの國第一の羊毛工業地である。



問 設

○チェッコスロヴァキヤ國の交通路鐵道及び水路を語れ。  
○この國の民族分布圖を描け。

第七章 オーストリア(奧地利)

○この國の商業は主として如何なる商路を経由するか、又その輸出品は如何。

過去は上  
奥地利

面積  
八萬方キロメ  
ートル  
ハカスガル  
(五千二百方  
里)

位置・地勢  
約六百五十萬  
人口

アルプス山  
の温泉  
中

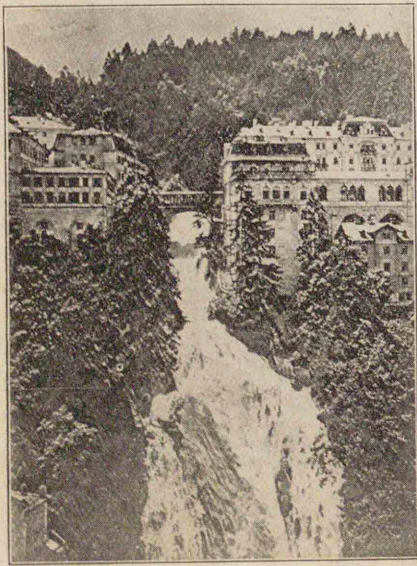
アルプス山  
の温泉  
中  
アルプス山  
の温泉  
中  
アルプス山  
の温泉  
中



【總論】オーストリアはアルプスの東部及びその山麓地方を占めて、面積は北海道本島よりは稍大きい。アルプスはほぼ東西に高峻な連嶺を走らせ、頂上附近には氷河雪原が多い。温泉も亦所々に湧出して、夏季の保養地となる。

地勢  
の關係  
上農産

少く、穀物は不足する。東部の山麓には葡萄を植ゑて葡萄酒を醸造する。アルプス斜面の草原には牛を放ち、チーズを製し、森林亦多く、



Handwritten notes in Japanese, including 'アルプス山' (Alps mountains), '温泉' (hot springs), and '中' (middle/interior).

事柄は後

地勢

尾端

アルプス山脈

住民政治

イニスハルツク

カレとホルン

山国

カニカ河谷

沿革

僅少地

林牧業

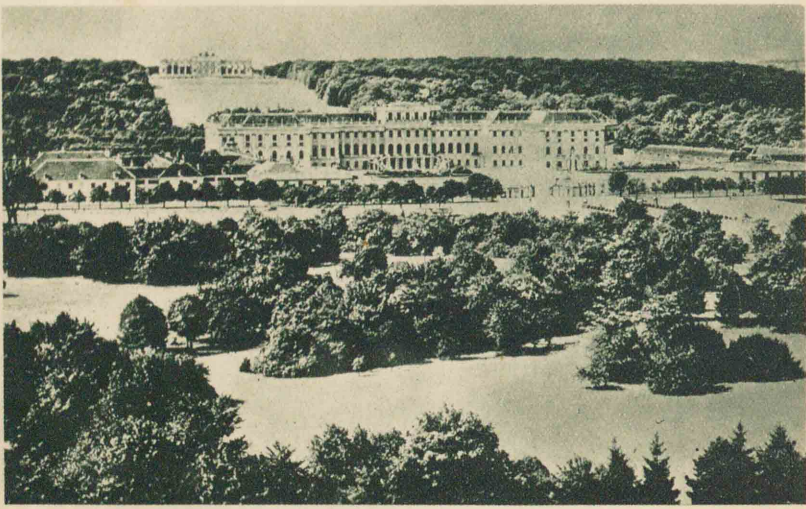
天然の資源

山

木材の産がある。その他鐵鑛、岩鹽等の鑛産もある。内陸國であるから、海港に出るにはダニューブ河を下るか、或はアルプスを越えて伊領トリエスト港に出なければならぬ(講和條約により、ガーストリヤは舊奧匈國領土を經過してアドリヤ海に出る通過の自由を有する)。

この國人はハプスブルグ朝の統率の下にチェク・ポーランド・ルテニヤ・南スラヴの諸族を糾合し、ハンガリーと聯合してオーストリア・ハンガリー帝國を組織し、ドイツと同盟して最近まで中歐の強國といはれたが、世界大戰に敗れて國土分裂し、現今の如くアルプス地方のドイツ人のみの一小聯邦共和國となつた。

オーストリア人(ドイツ人の一派)は六百餘年前からウィーンに據り、近世までドイツ諸侯の盟主として北イタリアをも領し、その強大文化に於て佛國と競争した。近年國力稍衰へたが、なほ世界大戰までは面積我が帝國の全面積に等しく、人口五千萬を有し、世界強國の一に數へられたが、各種の民族を抱擁した爲、民族自決主義の影響を受け、敗戦に際し全く瓦解し、その舊領は



版三十第 宮離舊の外郊ンウィウ

シエンブルン宮といつて、有名なマリヤ・テレシヤ女帝が完成したもので、舊奥帝の常に居られた所、フランツ・ヨーゼフ帝もここで崩せられた。林泉の美しいので名高い。

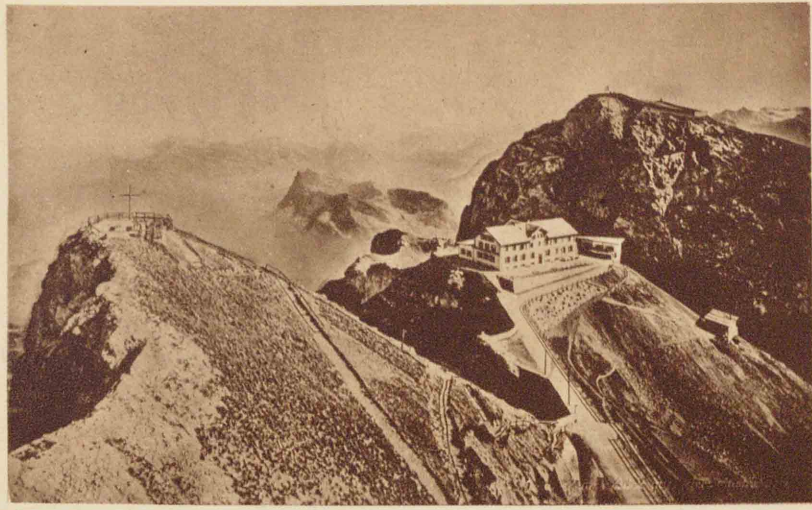


版四十第 山ウラフグンユ

ユングフラウ山(四千六百六十六メートル)はベルンの東南のバルンアルプスの峻峯であつて、圖の如く幾多の雄大な氷河を以て登山客を惹きつけてゐる。山腹までは登山電車がある。

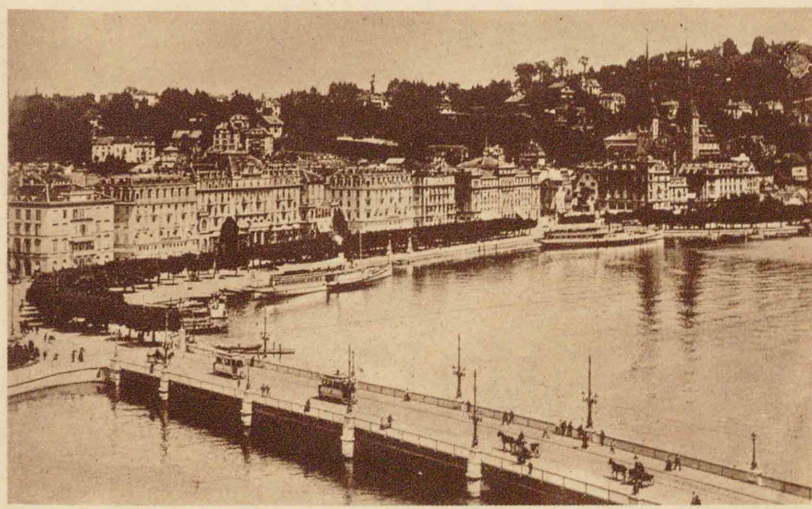


ルセルン湖畔に聳え、海拔一千八百メートルに達するが、頂上まで電車があり、頂上にホテルがある。麓下に鏡の様なルセルン湖を瞰下し、遠くアルプスを望み眺望雄大である。



山ギリ版五十第

ルセルン湖から流れ出すロイス川の吐口にある。美しい町で、スイスの遊山客の集中点である。町に有名な氷河公園(氷河の遺蹟)がある。



ンルセル版六十第

六國塊(匈・伊・チ・エ・コ・ユー・ゴ)スラヴ・ポーランド)に分れ、新オーストリアは面積人口に於て舊塊匈國の八分一にも足りない。加ふるにその領土は内陸にあつてアルプスの山地を占め、資源に乏しく、將來獨立保持すら危まれるやうになつた。

都會人口  
 ウィーン 一八〇萬  
 インズブルック 六〇萬  
 ウィーン  
 グラーペンといつて、市の中心で最も賑かな所。

ハンガリーを兼轄する。



る。壯麗な舊皇居大學博物館があり、又我が公使館もある。國の西部はチロールといひ、インズブルックは古來アルプス山間交通の要路に當り、これからブレンネル峠を越えればイタリヤに出ることが出来る。

【處誌】首府ウィーン(維也納)はアルプスの東端に位し、ダニューブ河に臨み交通の要路を占め、商工業盛んである。美術工藝品の製作殊に盛んで、市街の美しく、風俗の贅澤なことはパリに次ぐと稱せらる。

面積 一百七十方キ  
ロメートル  
人口 一萬

リヒテンシュタイン オーストリアとスイスとの間にある小侯國で軍備はなく政治上スイスと關係が深い。

設問

○舊オーストリアの瓦解した理由如何。  
○ウィーンは交通上如何なる要點を占めるか地圖によつて考へよ。

○新オーストリアの海港に出る通路如何。  
○舊奥匈帝國領土は如何に分割されたか、略圖を描いて説明すべし。

面積 九萬三千方キ  
ロメートル  
(六千方里)  
人口 八百萬  
位置・地勢

第八章

ハンガリー (匈牙利) Hungary

【總論】アルプス・カーパシヤ兩山脈に圍まれた平原を占めてゐる。カーパシヤ山脈はアルプスから分れて一大弓状を描き、東歐平原とハンガリー平原とを境してゐる。山脈の内側には火山温泉多く、地震の起ることも度々ある。ダニューブ河は南境を流れるドレーヴ河、中部を貫流するタイス河を入れて東流し、舟楫灌漑の便を興へる。氣候大陸性で寒暑共に酷しく雨量少く、中部にはプスタといふ草原がある。

産業

プスタの牧畜

圖は牧者が番犬を伴ひ、群羊を草のよなく茂つてゐる方に導いてゐるのを示す。

住民・政治



この國は平原國で、地味頗る豊沃であるから、農・牧は國民の主な産業である。農産には小麦、玉蜀黍が最も多く、東歐穀倉の一部をなし、葡萄の産も少くない。牛・羊・豚・鶏等の飼養も頗る盛んである。随つて穀物家畜肉類卵皮革等は主要な輸出品である。工業はまだ盛んでない。

住民は主にアジヤ人種であるマジャール族であるが、ドイツ人の移住者も多く、多數は舊教を信ずる。この國は長くハン

ガリー王國と稱し、オーストリアと聯合して同一の君主を戴いてゐたが、今は全く分離して一王國となつた。

マジャール族は我が平安時代から鎌倉時代まで三百年間、獨立王國であつ

東部  
イストリア  
パル  
イストリア

埃・匈國の  
今昔

都會人口  
ブダペスト  
三萬

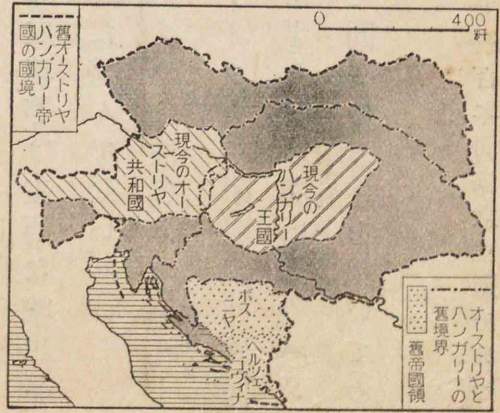
だが、後、トルコ人に征服され、ついで二百餘年前からオーストリアに屬し、近年は自治政府を組織し、オーストリア皇帝をその國王に戴いてゐたが、世界大戰に聯合國に抗した爲、異民族の地を悉く奪はれ、面積・人口共に舊王國の三分一に減じた。もとは周圍に山を繞らし、一方アドリヤ海に臨み、天然の要害を以て國境としたが、新國境は全く平原の中にあつて、舊國境と重なる所がない(王國といふが、大戰後國王はない)。

【處誌】首府ブダペストはダニューブ河の兩岸に跨り、大鐵橋がこれを連れ、この國商業交通の大中心をなし、製粉・屠畜業が盛んである。

**問設**

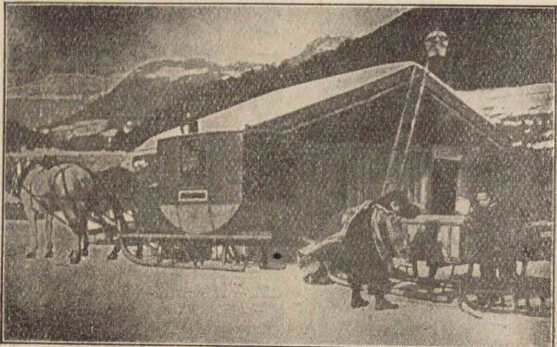
○ハンガリーより最も近い海港及び海に出る便利な商路如何。

○ハンガリーとオーストリアとを比較してその地形産業の差異を語れ。



アルプス山  
中の驛遞

驛遞は郵便、人馬の中繼所、郵便馬車、物馬車、はここで郵便、物馬車、を引渡すの、に海道、北海道、がある、の、制度、がある。



**地 文**

第九章

スイス(瑞西)  
Switzerland(Suisse)

【位置・地勢】

獨・佛・埃・伊諸國の間に介在する永世局外中立國で、面積は我が九州にほゞ等しい。

Jura

アルプス山系の本支脈及びジュラ山脈南北に蟠り、その間は高原をなしてゐる。アルプス山系にはユングフラウ・ローザ・マッテルホルン等の諸名山高く聳えて四時白雪を戴き、又大小無數の氷河がある。高原上にあるジュネヴ・ヌーンシャルル

ル・セルン・チューリッヒ・コンスタンス等の諸湖はこ

Lucerne

Zurich

Constance

Rhona

ス諸河の水源となつてゐる。到る所急流を走ら

氣候

アルプス

マツテルホルンといふ山、高さは富士山に等しい。

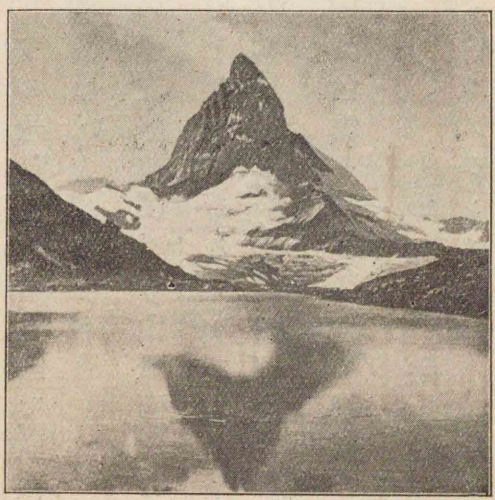
アルプス山系

アルプス山中は避暑・遊覽地たるのみならず、近頃には療養所として利用されてゐる。

永河時代  
氷河時代  
氷河時代

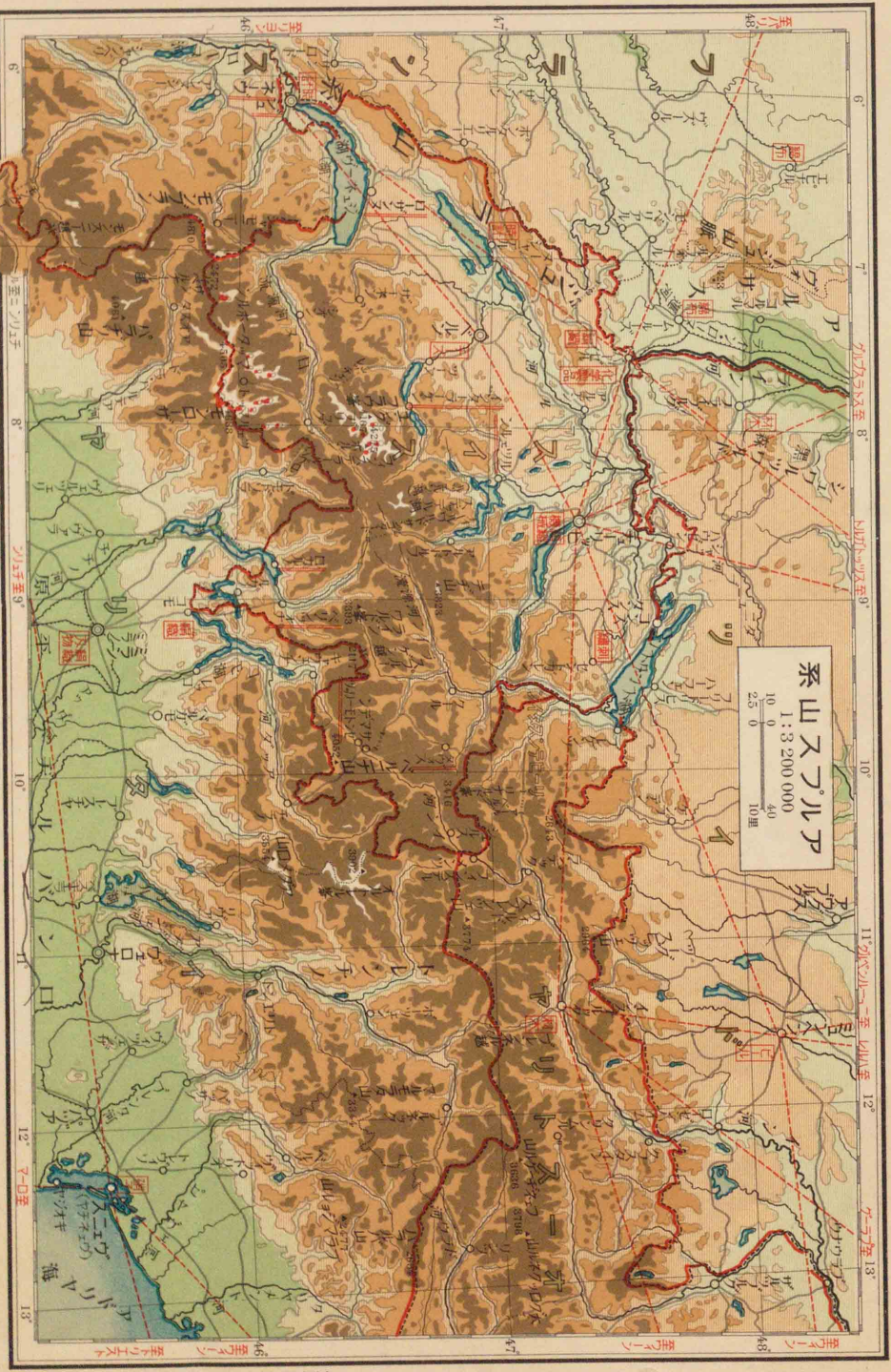
せ瀑布をかけ、山は秀翠で水は清澄に、その上牧場と果園とがその間を點綴して、眞に世界の絶景たるに愧ぢない。氣候亦冷涼であるから、全國が避暑登山保養スポーツの名所となつてゐて、世界各地から旅行者が常Touristsに絶えない。観光客を待遇する設備もよく整つてゐる（スイス人はアルプスの風物を買ふといはれる。）

アルプス山系は伊佛瑞、埃及びドイツの境に連る大山系で、南西はジュノアの西から一大弓形となり、北東方のウイーンに達し、なほ南西ではアペニン山脈、南東でチナリックアルプス、北東でカーパシヤ山脈と連續する。長さは七百五十キロメートル、幅は中央で二百四十キロメートル、面積は凡そ我が本州島ぐらゐである。山は高峻雄大、モンブラン（白山の意）を最高とし、四千メートル以上の



利用されてゐる。

達し、なほ南西ではアペニン山脈、南東でチナリックアルプス、北東でカーパシヤ山脈と連続する。長さは七百五十キロメートル、幅は中央で二百四十キロメートル、面積は凡そ我が本州島ぐらゐである。山は高峻雄大、モンブラン(白山の意)を最高とし、四千メートル以上の



例 凡 距 高  
0-200 200-500 500-1000 1-2000 2-3000 3-6000 6000 米以上

--- 定期航路 地名の進出は本州の中心地

中欧人文上の大境

アルプーヒムヤの脈

南地中境に特有  
温暖差少、雨少

特有の産物

ナリヤ油

植物性油

高峯が多い。山系の南はロンバルデーの平原に急斜し、北は緩斜してスイス高原及び中欧の山地に連る。地質時代の昔は全山殆ど氷河に蔽はれたもので、今、山間の深谷及び湖水はその当時氷河の浸蝕したものである。現今の氷河雪原はその一小部分で、山頂附近に所々班點狀をなしてゐる。面積は三千万方キロメートル、琉球列島より稍大である。氷河の端は舌狀をなし、融けて濁流となるが、山中の湖はこれを清流となして深潭瀑布をつくつてゐる。天に聳える高峯と、盛夏もなほ膚に粟を生せしめる氷雪とは、紺碧珠玉のやうな湖水及び滾々たる溪流と相對し、風光の秀麗壯大なのは、實に世界の公園といふべきである。特にその四周は世界文明の中樞で、幾多の鐵道がこれを横斷してゐるばかりでなく、電車、ケーブルカー等で中腹まで登ることが出来る。湖上には汽船があつて旅舎案内所等の設備も亦よく行届いてゐる。夏は登山避暑、冬はスポーツの名所となり、又山腹には多くの療養所がある。この山系は氣候及び人文上著しい境界をなし、南は地中海沿岸性の氣候帯に屬し、温暖で、葡萄、柑橘、米、玉蜀黍を作り、養蠶も出来る。北は冷涼な中欧氣候帯である。南は昔のローマ帝國の地で、今なほその文化を繼承してゐるラ

冷帯中政野蠻地帯

ケルマニヤ人、ケユウトナ族

アルプスの生物(一種イベク)

高山は絶滅に近しい動物の隠れ場となり、民族の獨立を保障する所となる。

アルプス山中の發電所

水力はアルプスの重要工業動力である。東部のアルプスには發電所がある。

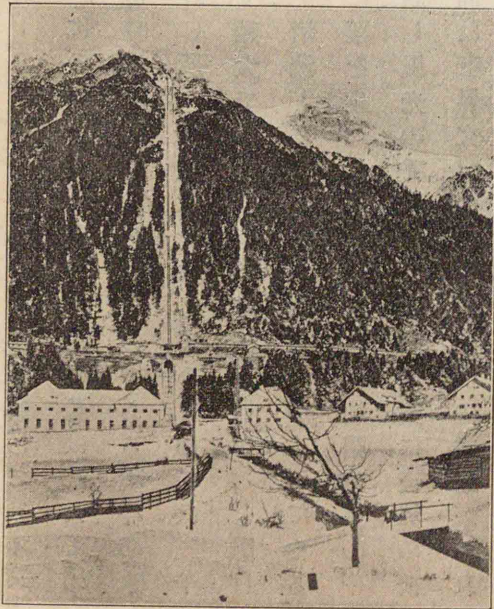


原で、北側は牛、南側は山羊・羊を養ひ、共に煉乳・バター・チーズを産す

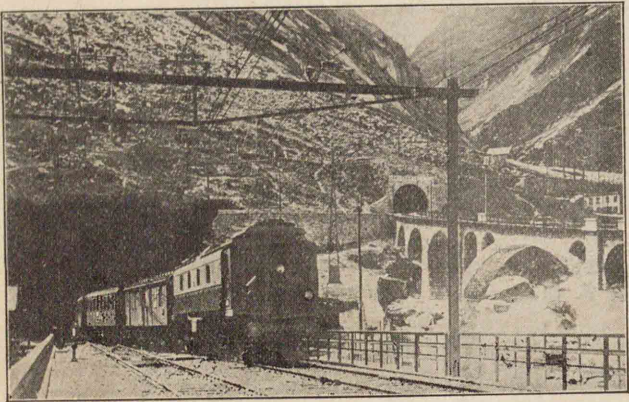
テン民族の本土で、北方はドイツ民族の根據地である。人口の密度は小(一方キロメートル二十人)さいが、山間の民族は精強恬淡を以て聞え、スイス人の如き、小地域に據つてよく獨立を完うし、オーストリア人もこの山地を根據として、中歐に雄視すること六百餘年に及んだのである。

山麓に

は森林が多く、林業に従事するものがある。中腹は概ね草



サンゴタール峠  
峠からライオン河海河  
谷から出た中河  
沿路がアルプス  
交通の要路に  
當る。今、延長  
十キロメートル  
ルトのトンネル  
が附近のトン  
道がこれの電  
氣化の關係を  
かす。



る。これはアルプスの重要産業である。牧者は夏は家畜を率ゐて山に登り、冬は山麓の小屋に憩ふ。氷河雪原、湖水は自然の貯水池で、到る所急流瀑布に富むから水力の利用に適し、工業(特に機業)が盛んである。國人往々水力を白炭(黒炭)に對していふといふ(佛、伊、瑞は水力が豊富で、その安いことはスカンデナヴィヤに劣らない)。

中歐とイタリーとの商業は古來頗る盛んであるから、アルプス横斷の通路も古くから發達し、近年登山避暑の流行と相俟つて、横斷鐵道は已に七線に及んでゐる(佛、伊の海岸を通ずるものを加へ)、ウインからトリエスタに通ずるゼメリング峠、ミュンヘンから伊國に出るブレンネル峠、ライン流域からミランに越えるサンゴタール峠(トンネルの長さ十五キロメートル)、ローヌ河谷から北伊に至るシンブロン峠、リヨンからチューリンに出るモンスニー峠はその主なもの、

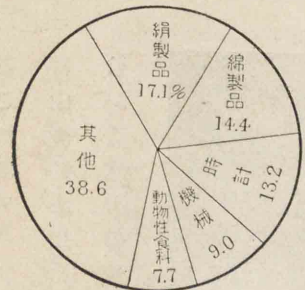
産業

後の三者は長大なトンネルを穿つてゐる。外にベルンからシンプロン(トンネル)の長さ二十キロメートル)に出るレチベルグ(長さ十六キロメートル)スイスから奥國に通ずるアールベルグの如きも有名なトンネルである。山系の南北山腹と、東部山間とは山系に縦走する鐵道がある。山中の湖水は概ね汽船モーターボートを浮べ、交通を助ける。

人文

【産業】 地勢峻しく耕地に乏しいので、農業に適しないが、牧畜は頗る盛んで山腹谷地は乳牛の放牧場で、多量の煉乳チーズをつくる。鐵石炭の産なく、且原料も産しない。又海港及びこれに通ずる水路はないが、水力豊富で勞銀安く、工業教育も進歩してゐるので、工業は主要な産業であつて、精巧な絹織物、綿製品、時計機械、食品、化學製品を産する。我が國へも時計機械、モス

品比較 (二年平均) 我が國の生絲は外國の生絲に比べて多量に輸入される。



輸出總額 輸入總額 七億七千七百圓

産業  
森林  
牧畜  
工業  
水力

スイスの交通及び物産

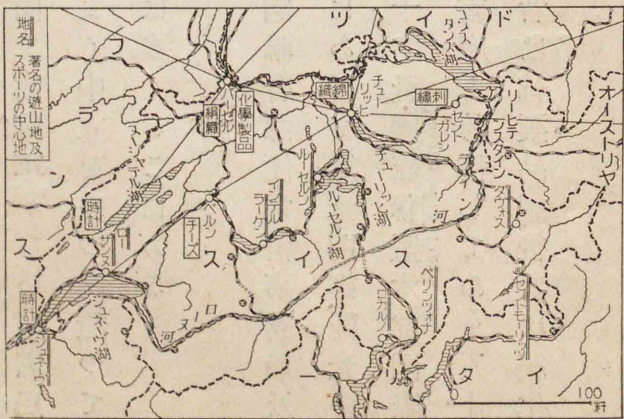
交通

モリスニエ  
アールベルグ

リン・煉乳染料を輸出する。商業も盛んで海外との取引は鐵道によつてロツテルダム・ジエノア・マルセイユ等を経由する不便があるが、盛んに工業製品を輸出し、穀物原料品、石炭を輸入する。

【交通】 山國ではあるが、縦横に走る鐵道があるから交通は便利で、鐵道は數個所でアルプス山系を横斷してゐる。航空路も佛獨境を通じてゐる。

【住民】 人口は三百九十萬で、山國の割合に稠密である。種族は複雑で、ドイツ人はその三分二を占め、東部北部に多い。次はフランス人で西部に多く、イタリ人は南東に住む。右三種の語は公用文にも併用される。宗教も新舊兩教共に信仰される。ス

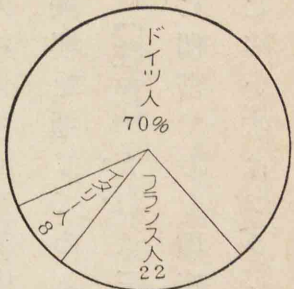


著名の山岳地及スイスの中心地

1 海峽  
2 センニエ  
3 ブレネン  
4 サントカ  
ケシンプロン  
住民  
瑞人  
英人



スイスの民族分布



イスは昔、オーストリアに屬してゐたが、二百八十年前前に獨立國となつた。今は二十二州から成る聯邦共和國である。強國の間に挾つてゐるので、列國の認める永世局外中立國で常備軍がないが、國民は愛國心強く、大戦中もよく中立を守つた。隨つて各種の國際協會の本部は多くここにゐる。

處誌

首府をベルン Bern といひ國の中央に位し、萬國聯合郵便電信事務局及び我が公使館がある。ジュネヴ Geneve は同名の湖畔にあつて風光明媚、觀光の客が甚だ多く、時計の集散地である。萬國赤十字社、國際聯盟本部、國際労働事務局の所在地なので、國人は世界の首府と誇稱してゐる。チューリッ Turich、バーゼル Basel は北方の工業市であつて、前者は綿製品絹、後者は絹化學製品の産がある。

都會人口  
チューリッ 二〇萬  
バーゼル 一四萬  
ジュネヴ 一三萬  
ベルン 一〇萬  
シエネツア 一〇萬  
北岸の最後世界ザルツ  
大戦の最後世界ザルツ  
聯合條約の最後世界ザルツ  
が結ばれた條約

設問

- スイスの風景絶佳なる理由如何。
- スイス人の收益の主なものは何か。
- 地形の利用は如何に行はれつゝあるか。
- 主要鐵道のアルプス通過點に當る峠又はトンネルを列舉せよ。
- 各種の國際協會の本部が多くスイ

- スにあるのは何故か。
- ロシアとスイスとを比較して地形の差異が國土の大小に關係ある所を考へよ。
- スイスの如く海港のない國は産業上如何なる不便あるかを考へよ。
- 住民と政治との概況を語れ。

第十章

オランダ Holland  
ルクセンブルグ Luxemburg  
ベルギー Belgium  
(白耳義)及び

オランダ

地文

【位置地勢】 ドイツの北西に隣つて北海に瀕し、面積は我が臺灣より稍小さい。國の大部はライン河の三角洲で、ジッデル海 Zuider Zee が深く灣入

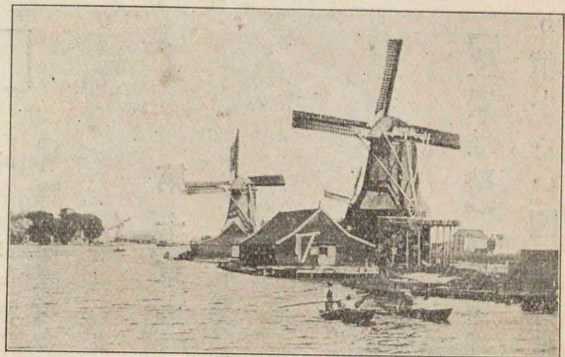
面積 三萬一千方キ  
人口 七百萬五千萬  
位置地勢

第三篇 ヨーロッパ洲 第十章 オランダ・ベルギー及びルクセンブルグ

農林地  
牧場  
山  
アルプ  
ベルン  
ジュネヴ  
シエネツア  
北岸の最後世界ザルツ  
大戦の最後世界ザルツ  
聯合條約の最後世界ザルツ  
が結ばれた條約

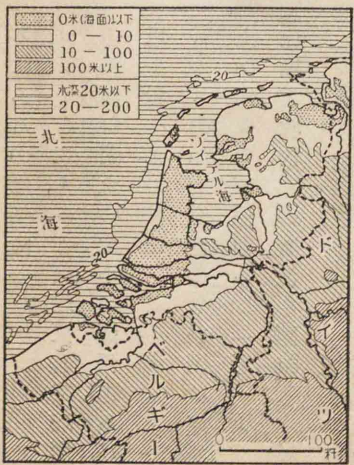
存  
工業の遺蹟  
輕貴重  
伊人の新電  
之工場の新  
鉄道  
ライム  
アルプ  
北の氷  
機械  
獨入の都

オランダの低地  
 北海の中心  
 風車は排水の外、圖の如く製粉の動力に利用される。  
 オランダ海  
 岸の風車  
 風車は排水の外、圖の如く製粉の動力に利用される。  
 オランダの低地  
 北海の中心  
 風車は排水の外、圖の如く製粉の動力に利用される。



海風は絶えず吹き氣候温和であるが、濕氣多く霧が深い。

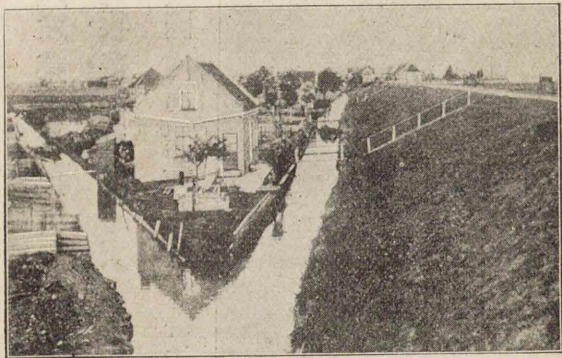
オランダは國語で、ネーデルラント (Nederlanden) といふ、低地の意味である。この國ほど低



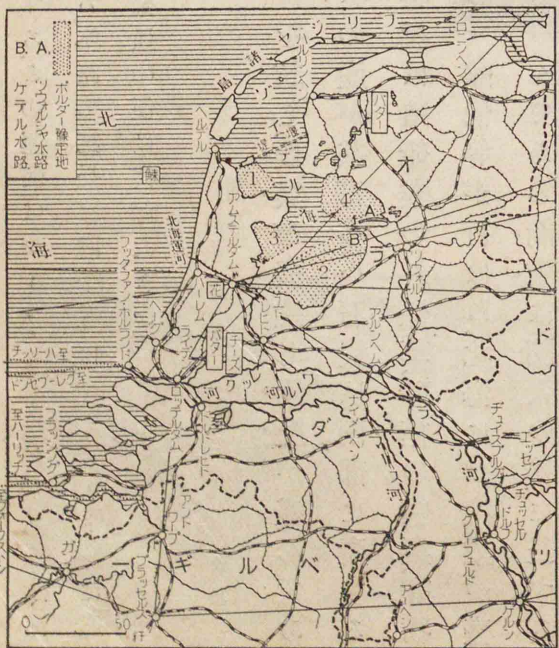
ポルダー Polder

オランダの低地  
 北海の中心  
 風車は排水の外、圖の如く製粉の動力に利用される。  
 オランダ海  
 岸の風車  
 風車は排水の外、圖の如く製粉の動力に利用される。  
 オランダの低地  
 北海の中心  
 風車は排水の外、圖の如く製粉の動力に利用される。

オランダの堤防と運河  
 堤防は、低地に浸水を防ぐために、砂丘に人工的に築かれたものである。運河は、低地の排水を海へ運ぶために、砂丘を破られて、海水が浸入したのである。低地の特色である。



ヤ諸島は、その砂丘脈の一部である。海水の浸入を防ぐには、砂丘と堤防とによる外はない。低地内に浸出する水は溝渠をつ



濕な國は世界に珍しい。殊に全土の四分之一が海面下にあるのは、元來三角洲の低平地である上に、地盤が漸次降下した爲である。ゾイデル海(南海)ももとは陸地であつたが、地盤が海面下に降り、激浪の爲に海岸の砂丘を破られて、海水が浸入したのである。

水と鉄  
内河航路  
運河の発達  
水車事業

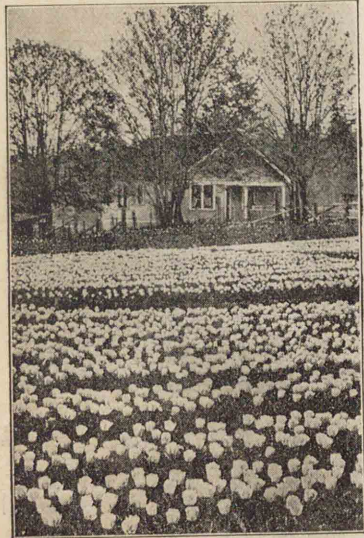
ヘクター。 二七〇〇  
二七〇〇  
三三〇〇  
五〇〇〇

産業・貿易

人文

つくてこれに集め、風車で排水する。この運河はライン・マース・シエルトの諸河と共に重要な水路となつてゐる。水路の延長は四千五百キロメートルに達し、蜘蛛網の如く鐵道と相俟つて交通の便は甚だ大きい。

【産業】耕地は全國の四分之一を超え、農業が發達し園藝が盛んである。牧畜も盛んで、バター・チーズの産が甚だ多い。石炭は南部に産するが、國內の需要に足りない。工業では造船業の外、煙草、砂糖の精製、織物、釀酒等が行はれ、北海には漁業が盛んである。商業は國人の特に長ずるところで、その位置がライン流域の門戸を扼して良好なものと、廣大な植民地があるのと、自由貿易である爲に通過貿易が頗る盛んである。



オランダの花丹栽培

オランダの花卉栽培  
ハーレム附近でチューリップを作つてゐる。この國の重要産業である。その外水仙の美しいものが多く栽培され、輸出される。

花丹栽培  
花卉栽培  
園内物産  
運河の発達  
水車事業

住民

一方キロメートル二百六十人

人口の密度はベルギーに次いで世界第二位である。人種はチャットン族で新教を奉じ、勤儉清潔堅忍不拔特に海事思想に富み、立憲王國で教育も普及してゐる。

海は古から國民の敵であるが、國民は却つて奮激し、これを征服することに努力してゐる。随つて商業航海は夙に進歩し、三百餘年前スペインから獨立して以來盛んに東洋に發展してポルトガル人、スペイン人を驅逐し、マレー群島を占領し、一時

臺灣にも占據し、更に進んで支那日本と通商を開き、南北アメリカ及びアフリカにも植民し、歐洲でも他國人を壓倒して海上權を掌握し、富強世界に双ぶものがなかつた。後國勢が漸次衰微して英國の爲に全盛を奪はれたが、



オランダのチーズ市場

オランダのチーズ市場  
バター・チーズはオランダの重要な産物である。十七世紀の頃には商船の三萬四千隻あつて、四世紀の間に從事する歐洲に有した。

オランダ  
チーズ市場  
重要な産物  
十七世紀  
商船の三萬四千隻

オランダのチーズ市場  
重要な産物  
十七世紀  
商船の三萬四千隻

去勢勢竹橋

今世紀

大買名

四訂中等地理學 外國之部 中卷

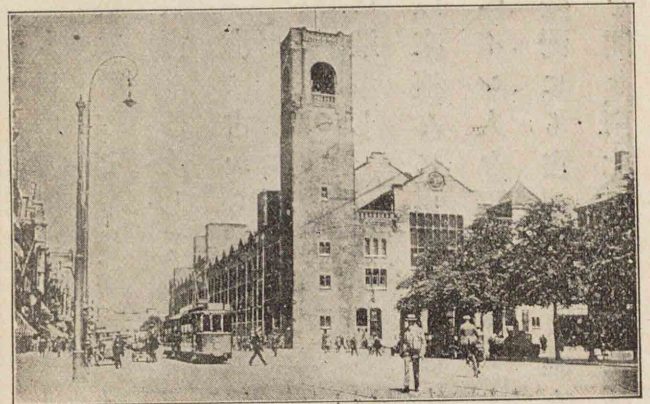
七〇

我が國との關係

都會人口  
 アムステルダム 七三  
 ロッテルダム 三  
 ムヘーグ 四二  
 ユトレヒト 二五

アムステルダム  
 ダムの取引所

十七世紀に世界第一の名港であつた。今も商業が盛んである。圖の時は、豪の建築物、引的、有名である。



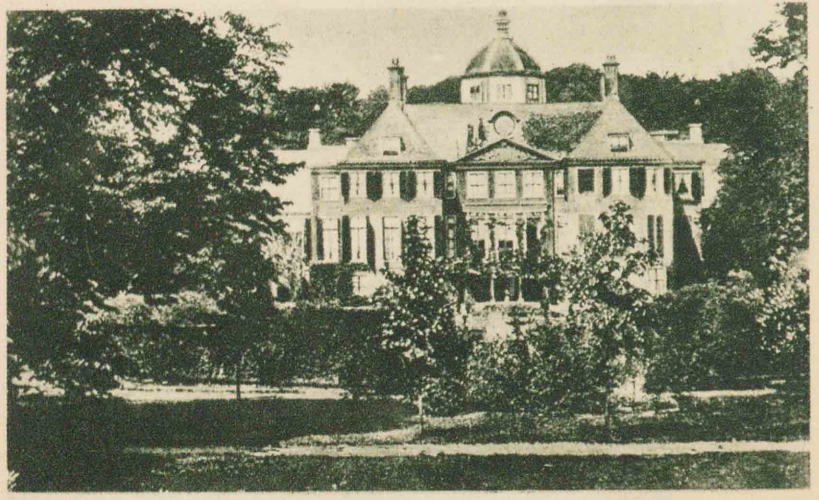
今なほ商船の數は非常に多く、主として外國貨物の輸送に従事し、海外の領地はマレー群島の大部を主とし、本國に六十倍してゐる。

國人は我が鎖國時代に、支那人と共に我が通商を獨占し、醫學地理學、博物學等の知識を始め、歐洲の文物を我が國に輸入して、現代文化の一大原因をな

處誌

首府ヘーグ (The Hague) は西海岸にあり、附近に森林多く閑靜な町である。ここに國際司法裁判所及び我が公使館がある。アムステルダムはゾイデル海岸に沿ひ、國內第一の都會で、嘗て世界の商業交通の中心となつたことがあり、今も貿易の殷盛と、金剛石の琢磨

ヘーグ郊外の美しい森林中にある離宮で、中には日本から贈られた調度品などもある。



版七十第 殿宮の森のグーへ

ラインの派流レク川に跨り、大陸有数の大貿易港である。圖の如くレク川には常に船が輻湊する。その河口のフックファンホルランドは英國への渡場である。



版八十第 ムダルテッロ

昔、スペイン領時代に太守のゐた所で、今の建物は十八世紀にオーストリア領の時に建てられたものである。



宮王のスルセッラブ 版九十第

歐洲大陸でハンブルグに次ぐ繁盛な港で、シエルト川に沿うてゐる。町は城壁と要塞とに囲まれ、多くのドックがあつて船を入れられる。



頭埠のプーワトンア 版十二第

地勢

海面以下

南東部

新地

ミース

エルト

面積 三萬方キロメ  
トトル  
人口 七百七十萬

ベルギー

地文

とを以て聞え、又造船所がある。これから北海に通ずる運河がある。ユ  
ト・レ・ヒトはその南東にあつて、軍事上の要地である。ロッテルダムはラ  
Utrecht  
イン河口に近く、内外水運の要衝に當り、この國第一の貿易港である。  
ライデンはライン河の派流に跨り、三百餘年前スペイン軍の包圍を  
Leiden  
退けた名譽の古戦場で、その記念大學がある。フラスシング(フリッシンゲ  
Flushing  
Vlissingen  
ン)は南西隅にあつて、大陸から英國へ渡る要津である。

【地勢】オランダの南に接し、面積はこれより稍小さい。地勢は南東  
に高く、北西に向つて低くなり、臺地から丘陵となり、遂にマース(Meuse)  
Scheldt  
(アルデと文海)砂丘の發達した平滑な海岸で港に乏しい。氣候は温和であるが、オ  
ランダに比べると気温の差が稍大きい。

第三篇 ヨーロッパ洲 第十章 オランダ・ベルギー及びルクセンブルグ

農耕業  
牧畜業

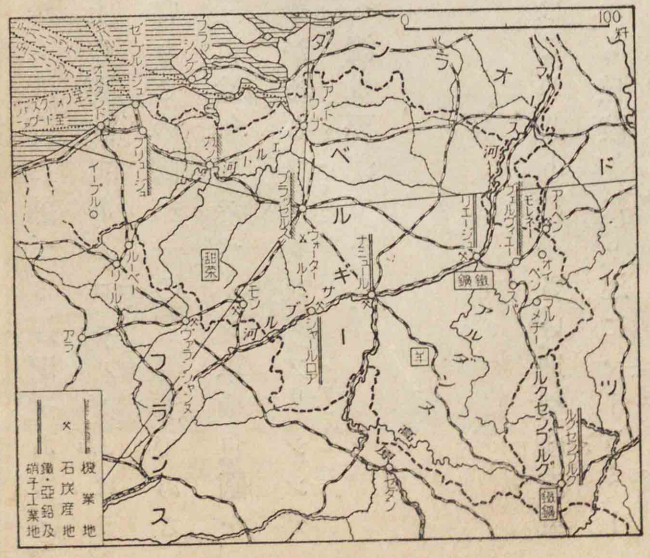
鑛産業  
鉄石炭

工業

製鉄業  
織物  
硝子  
西政大工場  
小英因交通  
伸達貿易  
工業の發達

人文

【産業交通】北西の低地には農業大いに開け、小麥・亞麻・甜菜等を産出し、中部には炭田が多い。工業は實にこの國の生命で、製鐵・紡織・レーズ・硝子等の工業が最も盛んに行はれ、歐洲の大工場といはれ、鐵機械毛織物を輸出し、羊毛・綿・小麥・木材を輸入する。産業が發達してゐるから、貿易も盛んである。鐵道・網の發達は世界無比といはれ、河川・運河の交通も自在で、陸上他國との連絡が甚だ便利である。しかし、海運は多く外國船による。昔から商工業の中樞に當つてゐるから、國民は富裕で、世界の各



アンベルス

カン  
大鉄産地  
住民政治  
一方キロメー  
トル二百六十  
人  
リエー  
河谷の景  
賣り  
フレミング  
人のミルク

犬に車をひかせるの風俗である。我が國の和歌山・岐阜・兩縣地方にもこの風がある。



地に投資して鐵道・鑛山・各種の工業等を經營し、又アフリカに廣大な植民地をもつてゐる。加ふるに世界文化の中心に位するから、國土は小さいが列國間に重要な位置を占めてゐる。

【住民政治】人口は凡そ七百七十萬、密度は世界無比で、我が内地の二倍に當る。國の北部にはオランダ人の一派(フレミング人)が住み、フレミッシュ語を用ひ、南部にはフランス語を使ふワロン人(ワラ族)がある。随つて公文書にはこの兩語を併記し、大學もフレミッシュ・ワロン語のものを併置するほどで、

小國ながら國家の統一上、種々の困難がある。宗教は舊教を主とし、高等教育はよく進歩してゐる。

この國は一時オランダと合一してゐたが、民族宗教習俗等の相異なる爲、凡そ百年前分離して王國となつた。諸強國の間に挾つてゐるから、古から屢々大戦役の巷となつたので、永世局外中立國であつたが、世界大戦の際、國土の大部がドイツ軍に占領された。しかし、國民は勇敢によくドイツ軍に抵抗したので、列強の同情を得て、講和條約で局外中立を廢棄し、舊領土の外に獨領の小部分を獲得し、又アフリカで舊獨領の一部を委任統治することとなつた。

處誌

首都 **ブラッセル** (Bruxelles) は國の中央にあつて市街麗はしく、建築風俗等は多く佛國風を摸ね、小パリーの稱があり、精巧なレースを産する。我が大使館の所在地である。ウオータールーはその南で、大記念碑はナポレオン一世の敗戦を物語る。リエージュは製鐵業の中心で機械兵器を製造し、アントワープは港内水深く、ガンと共に麻布綿織物の産多く、  
Antwerp (Antvers) Ghent

都會人口  
ブラッセル 八二萬  
アントワープ 三〇萬  
リエージュ 一七萬  
オスタン ド 四

面積  
二千六百万方キ  
ロメートル  
人口 二十六萬

の國第一の貿易港で、又實に西歐の大門戸で、我が郵船會社の歐洲航路の終點である。北海岸のオスタン ドは英國への渡場である。

**ルクセンブルグ** 獨白佛の間にある大公國で、面積は香川縣より小さい。民族はドイツと同じである。國內に多く鐵鑛を産し、又製鐵業が盛んである。同名の首府がある。もとドイツの經濟同盟に加入してゐたが、世界大戦後、ベルギーの關稅區域に入ることとなつた。

○オランダ・スイスの地勢を比較し、こ

列舉せよ。

れが兩國の産業交通状態に及す影

○オランダとベルギーとの産業を比

響を語れ。

較し、説明せよ。

○オランダと我が國との關係を述べ

○オランダ・ベルギー兩國が小國なが

よ。

ら強國間に介在して重きをなす理

○オランダとベルギーとの異同點を

由を問ふ。

設問

第十一章

イギリス (英吉利)

Great Britain

附 アイルランド (愛蘭)

Ireland

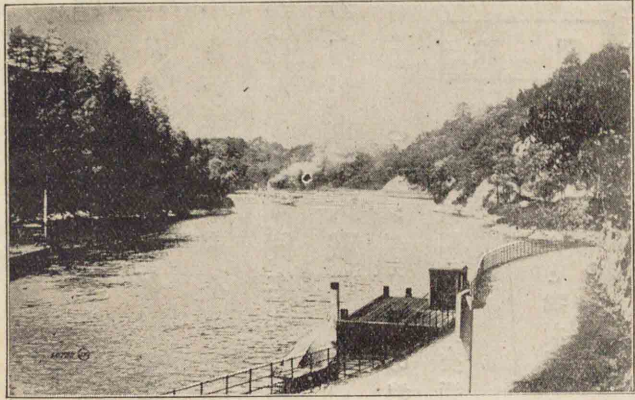
地文

【位置・區劃】 イギリス諸島は大ブリテンとアイルランドとの二大島を主とする、大ブリテンはイングランド・ウェールズ・スコットランドの

Great Britain  
England  
Wales  
Scotland

三部に分たれる。南方はイギリス海峽を隔ててフランスに對する。その面積は我が内地より北海道を除いたくらゐであるが、領土は全世界に跨つてゐる。

【地勢】 北海とイギリス海峽とは一般に淺く、イギリス諸島は大陸地方と地體上の連絡がある。即ちイングランドの平原は北歐大平原の續で、テムズス・セヴァーン・ハンバ



大ブリテン 面積 二十三萬方キロメートル (一萬五千方里) 人口 四千三百萬  
位置・區劃  
地勢  
スコットランドの高原  
地方  
スコットランド

細長い湖沼が美しい風景を添へ、海岸は出入多く、峽灣をつくる所が少なく、稍ノルウェーの海岸に似てゐる。ウェールズも山勝ちであるが、高度はいづれも著しくない。この國の最高峯スコットランドのベンネヴィスでさへ、僅に一千三百餘メートルに過ぎない。アイルランドはアイルランド海<sup>Irish Sea</sup>の西方にある。周圍には低い山脈があつて、中央には沼澤性の平地がある。河流は短いが水量多く、流が緩かです。上流まで汽船を通ずる。運河も亦多く、殊にスコットランドの峽灣を連ねるカレドニヤ運河が最も名高い。面積に比較して海岸線の發達は世界に稀で、西岸は特に著しく、所々ラップ状に彎入して内に良港をつくつてゐる。  
【氣候】 島國で暖流が近海を流れてゐるから、緯度は高いが概ね温和で、濕氣に富み、雨量は西岸に最も多い。一般に霧深く快晴の日は少い。

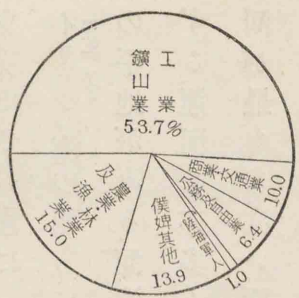
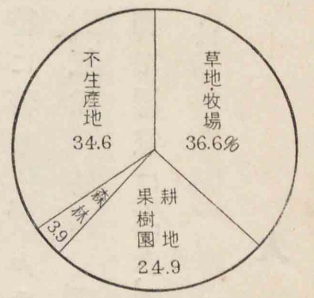
人文

氣候  
暖流  
南西風  
地文  
望暖必雨  
スコットランド

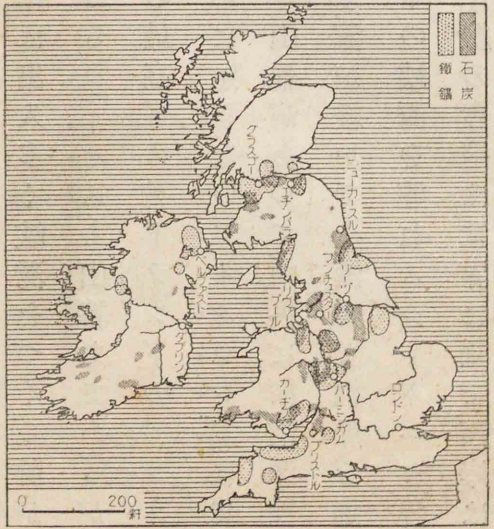


産業  
農業、牧業  
西工業の回生  
政策  
高工本位  
食料品  
原料品  
人口都市集中  
有事の備  
工業發達の厚肉  
伊豆島  
石炭、鉄産  
牛馬の飼育  
海産物

産業	イギリス土地利用割合	イギリス世帯主職業別割合	イギリスの石炭及び鐵の分布
----	------------	--------------	---------------



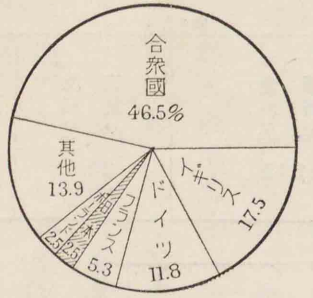
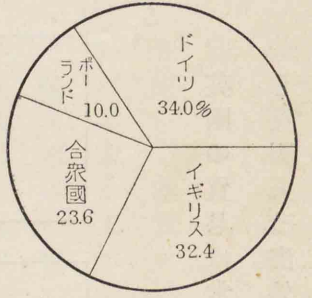
爲羊毛肉類・バター・チーズ等は穀物と共に多く輸入される。漁業は甚だ盛んで、北海の鯨は殊に名高い。商工業は人口が多い



【産業】地勢氣候が良好であつて、昔は國産の穀物でよく國民を養ひ得たが、現今は住民の七割は都市に住んで商工業に従事するので、耕地は全土の六分一に減じ、穀物は僅に國民の三個月の食糧を支へるに過ぎない。各所の沃野は多く草原牧場と變つた。随つて牧畜は甚だ盛んで殊に羊が多く、牛馬も良種を出す

商工業  
マニファクチャ  
バーミンガム  
エドワード  
リンドン  
フランス  
のラスの造船  
（ルネサンス）  
名産品  
原料品  
位置  
交通

商工業	世界の石炭産額(左)及び輸出額(右)比較 (三年平均)	ロンドンの商業
-----	-----------------------------	---------



製品は良質で聞えてゐる。商業も無比の進歩をなし、輸出入額二百億圓に達する。世界商業の中心となつてゐるので、中繼貿易も盛んで

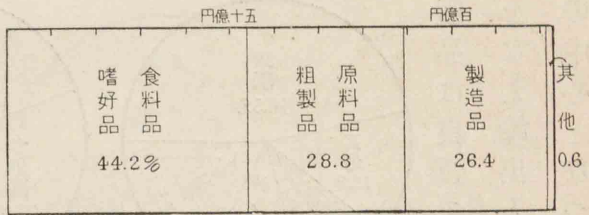
業は主要の産業で、國運の發展は實にここにあり。蓋し石炭の産額は世界第二位、鐵も有数の産地であり、廣大な植民地は原料と製品市場とを提供し、良好な位置と多くの港灣とは交通運輸を容易ならしめ、更に國民の努力を以てするからである。中でも綿羊毛麻の紡績機業、機械造船等は世界第一に位し、製鐵業も盛んである。その



國民の勢力能  
第三篇 ヨーロッパ洲 第十一章 イギリス附アイルランド

輸入超過の理由

イギリス貿易品割合  
輸入(上)  
輸出(下)  
(二年平均)



ある。主要輸出品は綿織物・鐵製品・機械・石炭・毛織物・船舶等で、輸入品は穀物・綿肉類・羊毛・麻・鑽石等である。その取引は合衆國を首とし、インド・佛獨等の間に行はれる。又我が國へは盛んに毛織物・機械・鐵・カナキン・硫酸・アンモニヤ・ソーダ・紙等を輸出し、少量の絹織物その他を輸入する。近年英國には、勞働爭議が屢起つて産業が停止され、大戦中に失つた海外市場を恢復するところが容易でないので、その商工業は戦前の如き優勢を維持することは困難である。

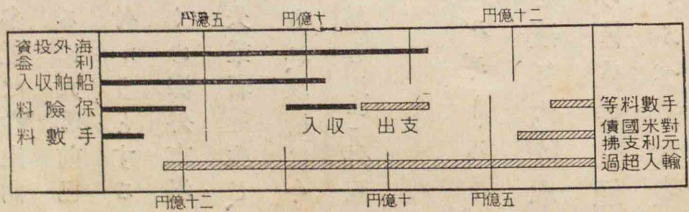
英國の貿易は常に輸入超過で、輸出額は輸入額の凡そ七割に過ぎない。しかし、英國人は海外各國並びに植民地で、各種の産業・鐵道・公益事業等を經營

英國の産業・商業の優越する理由  
英國の工業  
日本  
日輸出  
大部輸出

イギリス貿易品割合  
輸入超過割合

し、又外國の公債に應募する。これら海外投資額が殆ど四百億圓に上り、それから數十億圓の利益が得られ、英國商船は世界各國から運賃を得、ロンドンには世界商業の中心で、多額の手数料が英國に入る故、これら投資の利益、商船収入、商業手数料等で輸入超過を償つて餘がある。輸入の多いのは、一はこれら海外収入の一部が商品となつて入るのによる。かくして海外から集つた富は又海外に投資され、英國は年々富強を重ねる。世界大戦で凡そ一千億圓を消費してもなほ疲弊しないのは、かくの如くして蓄積した富があるからである。

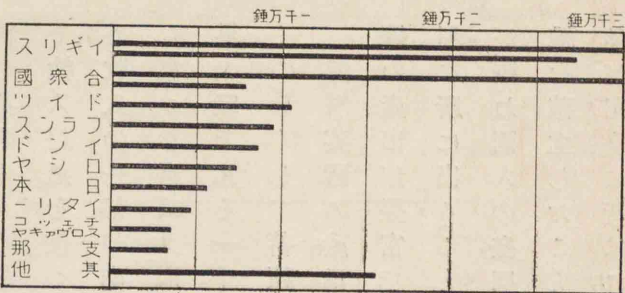
元來英國の産業が壓倒的優勢を示したのは、(一)石炭及び鐵鑛の産出が豊富で、その産地が互に相接近し、且採掘運搬に便利な所に出ること、(二)近代工業の基礎である機械動力の利用が概ね國人の發明にかゝるので、他國に先んじて近代工業組織を確立したこと、(三)國人は勞働能率が大きく、且人口が都市に集中して分業が完全に行はれること、(四)國內及び世界各地との交通が便利なことなど



世界紡績  
數比較

英國  
世界紡績  
數 35%

交通



世界總計一億四千六百萬里

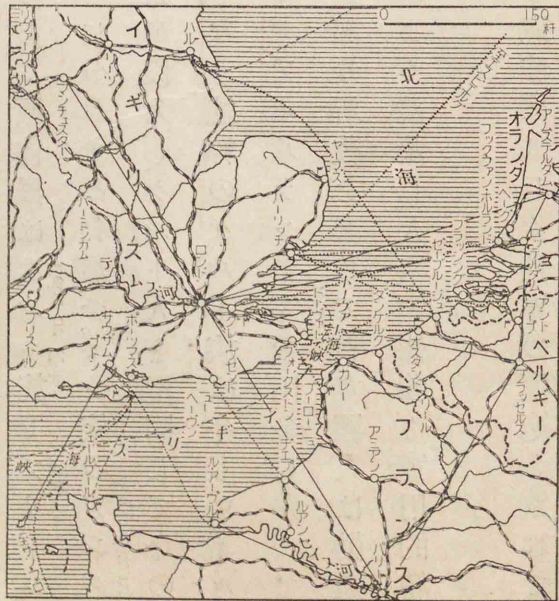
【交通】鐵道網の密なことはベルギー・スイスに次ぎ、特に鐵道の輸送力の大なることは遠く列國を凌ぎ、内陸水路も延長七千五百キロメートルに達し、沿岸良港に富み、國內の交通至便である。その上ロンドンには歐洲の交通の起點ともいふべく、大陸

によるのである。イギリスの從來の經濟組織は輸出貿易を基礎とするものであつて、尨大な産業機關は大部分輸出を目的とし、國民の多數は輸出向の工業に従事してゐるのである。然るに大戰前已に米獨兩國の産業が漸く英國に追付かうとする勢を示し、殊に戰爭中から、外には多くの海外市場を失ひ、産業機關は縮小され、多數の失業者を生じ、内には勞働爭議の爲屢、産業が停止され、政府は今までの自由貿易主義を廢し、保護貿易を以て外國の競争に對抗しようとしてゐる。

イギリスと大陸との連絡

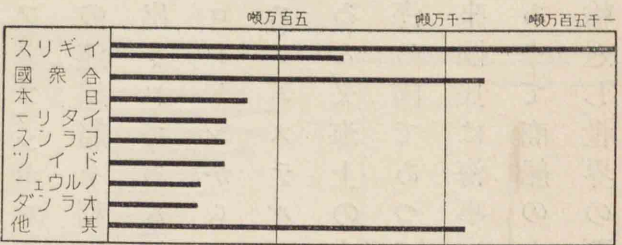
點線で示したのは鐵道連絡線の航路。

各地に至る鐵道幹線は、サウザンプトン・ドーヴァー・ハリッチ等とルアーヴル・カレー・オスタンド・フックファンホルランド等との間の連絡船を利用して、扇狀に派出されてゐる。航空路も同様にロンドンからパリ・ブラスェル・ス・アムステルダム等に通じてゐる。又海上の交通では四面環海の國であつて、その位置は歐洲と西半球との交通の要路を占め、古來國民は海事に堪能であるから、世界の交通貿易の中心たるの觀があつて、商船のトン數は世界第一に位し、その船は世界各國の貨客を輸送し、世界の要港で英國商船旗の翻らない所はないほどである。我



住民

世界商船ト  
ン數比較



世界總計 六千三百萬ト

が外國貿易の凡そ七分一も、この國の船によつて取扱はれる。

【住民】 人口は四千三百餘萬で、密度は白蘭日に次ぎ、世界第四位である。人口の増加も速で、海外の移住が盛んである。原住民はケルト族で、ブリトン人、スコット人等に分れてゐたが、チャットン族のAnglo-Saxons、ロサクソン人が侵入し、ケルト人と混同して今のイギリス人となり、純粹のケルト族は今もウェールス、スコットランド、アイルランド等の田舎に残つてゐる。宗教は大部分新教を奉じてゐる。國人は勤勉、堅忍で道義秩序を重んじ、教育はよく普及し、人格の修養と實用的智能の錬磨とを主眼としてゐる。

【政治】 政體は立憲王政で、その憲法は久しく世界の模範とされて

政治

かりタラシイ  
かり子  
當の  
カリタラシイ

立憲政體

英國三起  
本家

三三五

英國大憲章  
王の憲政

王と人民との關係

カリタラシイ

天權

國民の意見

佛蘭西大革命

王權

民權完全

ある。國王は同時に、インド皇帝及び全領土の元首を兼ねる。本國と全領土とを合したものを普通「大英帝國」といふ。この國は久しく大陸戦亂の慘禍を受けず、平和の間に國力を養ひ、三百年來海上に發展して、今やその領土は六大洲に跨り、人口は四億に達する。陸軍の常備兵は少いが、通商の保護及び植民地防禦の必要上、海軍は最も精銳を以て聞え、空軍も海軍と相俟つて本國と植民地との連絡を保つに遺憾なきを期してゐる。本國以外の領土はインド自治領、直轄植民地に分けられる。インドはインド帝國と稱し、大總督を派遣してこれを治め、その下に官選議員を交へた議會を置いてゐる。自治領は發達した植民地であつて、住民が廣汎な自治權を有し、内政は勿論、独自の軍備を有し、外交權の一部すら自らこれを行ひ、本國からは君主を代表する總督がこれに臨んでゐるだけである。その他の領土は未開人のある所か、又は掌大の地であるが、交通軍事の要點に當る所なので、本國の直

正室政治中心

議院、国民の代表

政黨、政黨

國民の意見

第一黨

責任内閣

政治三大原則 ○は自治領

領土

夫英帝國會派

印度帝國

自治植民地

直轄植民地

南米

新大陸動亂

勢力

海外

世界経済

海上権

強甲の強大

商船

二國標準

英米對峙標準

三大流甲用

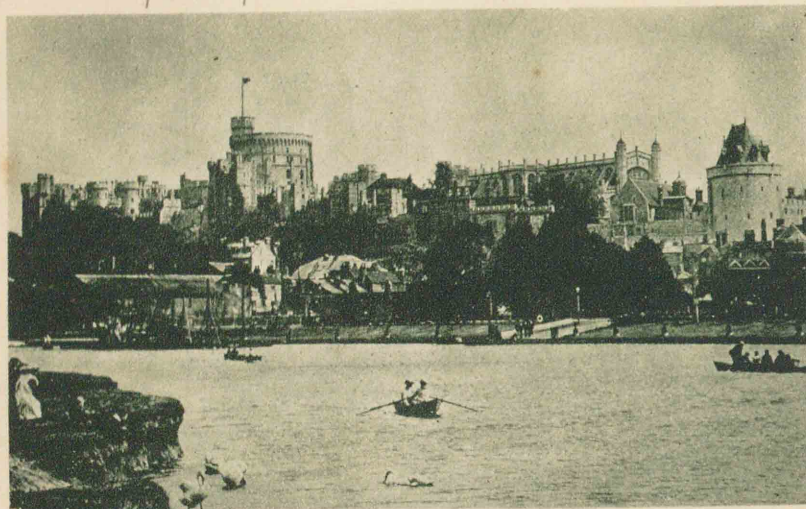
轄地となつてゐる。

世界大戰の際、インド及び自治領は各本國の爲に奮戦したが、戦後これら各地は益々廣大な自治權を要求し、政府は屢々ロンドンに大英帝國會議を開いて全帝國の融和結束を圖つてゐるが、全世界に互る廣大な領土の統一には、種々の困難があるやうである。

領土の主要なものは次の如くである。

- 一 アジヤ洲 インド・セイロン・海峡植民地・北ボルネオ・香港・アデン・威海衛(租借地)・メソポタミヤ(委任統治)・トランス・シヨルダニヤ(同)・パレスタイン(同)・サイプロス
- 二 ヨーロッパ洲 ○アイルランド自由國・ジブラルタル・マルタ。  
Gibraltar Malta
- 三 アフリカ洲 ○南アフリカ聯邦 ○ローデシヤ・ソマリランド・ケニヤ・西部アフリカの各地・南西アフリカ(委任統治)・タンガニイカ(委任統治)。  
Union of South Africa Rhodesia Somaliland
- 四 北アメリカ洲 ○カナダ・ニューファンドランド・西インド各地。  
Canada Newfoundland

河はラムス河。その畔に立てる中世の城を見よ。これに傍して國王の離宮がある。城はウィリヤム一世の創建。



城一ザンイウ 版一十二第

ロンドン港には多くのドック(船溜り)がある。その一つのアルバートドックであつて、圖の如く世界各國の商品を積んだ船がここに集るのである。



クッドのンドンロ 版二十二第

左はイングラント銀行、右に見えるのが取引所で、市中最も賑かな所である。



版三十二第 (標中の融金界世)行銀ドンラゲンイ

エデンバラ城は七世紀の頃に始まり、十五世紀以後スコットランドの王城となり、十八世紀までつづいた。三面絶壁に臨んだ要害の地を占めてゐる。近景の建物は美術館である。



城ラバンヂエ 版四十二第

我が國との  
關係

イン ド	イ ン グ ラ ン ド	都 會 人 口	大 ロ ン ド ン	ロ ン ド ン	(總 計)	ガ ム バ イ ミ ン	リ ヴ ア ー	プ ル チ エ	マ ン チ エ	シ エ ッ フ イ	リ ル ド	プ リ ス ト ル ス	フ ラ ッ ド	フ オ ー ド	ニ ユ ー カ ッ	ス ル	ポ ー ツ マ ス
		七 六 〇	七 六 〇	四 五 七	四 五 七	九 五	八 五	七 五	七 五	七 五	七 五	七 五	七 五	七 五	七 五	七 五	七 五

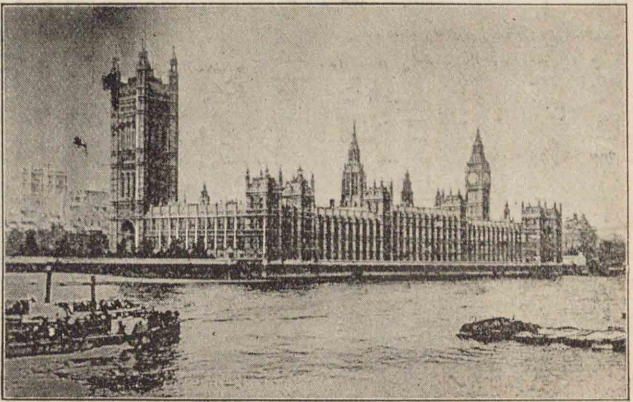
五 南アメリカ洲 ギヤナの一部・フォークランド諸島  
Guyana  
六 大洋洲 オーストラリア聯邦・ニュージーランド・フィジー諸島など。  
The Commonwealth of Australia New Zealand Fiji  
我が國近時の海事工業及び學藝の發達は、この國に負ふところ最も多い。さきに攻守同盟を結び東洋の平和に盡し、最近時勢の進運に伴なひ同盟條約を廢したが、今もなほ國交極めて親密である。

處 誌

イン・グランドは面積人口文化富力など皆他の地方に勝れ、あらゆる意味で、英國の中心である。首府ロンドン(倫敦)は實にその特色を發揮すると同時に、世界無類の大帝國を代表してゐる。市はテムズ河に跨り、人口四百五十七萬(接續市街を併せると人口七百六十六萬で、三百年)一個年の出入船舶は一千餘萬トンに達する。世界第二の大都會で、貿易額も亦世界第二位である。地上地下の電車汽車線路は蜘蛛網の如く、大小の汽船は河岸の大ドックに輻輳する。市は又世界交通の大中心で、世界

國會議事堂

左の二塔はウエストミンスター寺、前はテムス川。



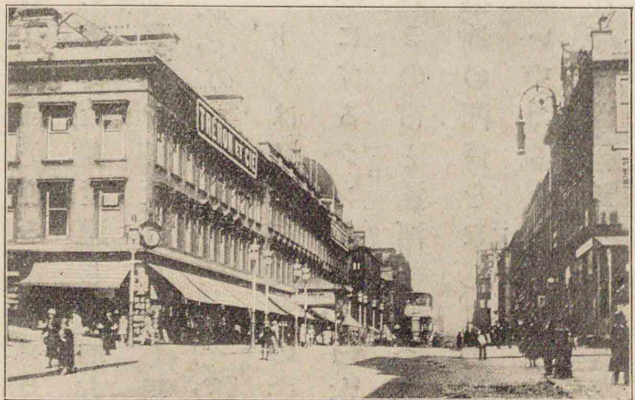
も狭い所で、佛國のカレーまで僅に三十五キロメートル、軍事交通の要所である。ポーツマスは軍港、サウザンプトンは大西洋郵船航路の起點である。オックスフォードはロンドンの西に、ケンブリッジは北にあつ

の集散市場である。國會議事堂、博物館、イングラント銀行、植物園、ウエストミンスター寺、セントポール寺を始め、宏大壯麗な建築物が甚だ多い。しかし、煤煙と濃霧とは有名なもので、一年中に快晴の日は十餘日に過ぎず、時々白晝にも點燈し、車馬の往來が杜絶することがある。我が大使館、總領事館がある。市の南東のグリニッチには有名な天文臺があつて、萬國本初子午線の起點である。南方海岸のドーヴァーはイギリス海峡の最

て、共に著名な大學がある。ウィンザーには有名な離宮がある。イングランドの中部以北は石炭鐵の産多く、隨つて工業の最も發達した地方で、人口十萬以上の都市三十に餘り、煤煙は空を蔽つて天日を隠し、黒郷といはれる。バートミンガムの鐵器、シェフィールドの刃物、リーズブラッドフォードの毛織物はいづれも世界に名高く、リーズは又麻布皮革の中心として知られる。特にマンチェスターを中心にするランカシャーの木綿工業の盛んなことは、天下にその比がない。この市と運河で連絡してゐる西岸のリヴァプールはこれら大工業地の門戸をなし、この國第二の商港で、對米貿易は遙にロンドンを凌いでゐる。セヴァーン河下流のブリストルはアメリカとの貿易が盛んで、煙草砂糖を輸入する。東岸のハルは水産業と北歐通商との要港で、ミッドルズブローは鐵材の輸出港で、その中に我が國へ輸出されるものが少くない。ニューカッスルは石炭の輸出甚だ多く、その附近は製鐵及び造船業が頗る盛んで

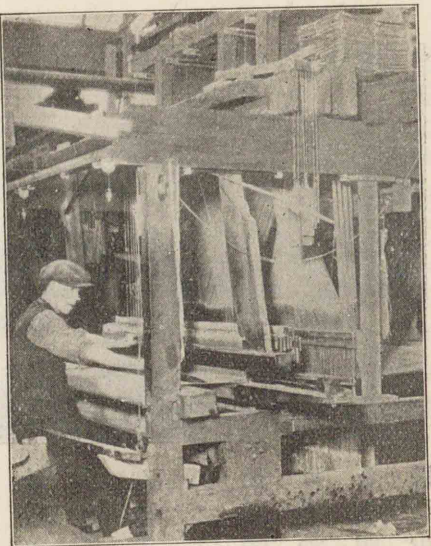
ウェールズ 都會人口 三萬  
 カーザフ 三萬  
 スコットランド 都會人口 一〇五萬  
 グラスゴ 一〇五萬  
 エジンバラ 四三萬

ある。  
 ウェールズも良質の石炭を夥しく産し、カーヂフは世界第一の石炭輸出港である。  
 スコットランドは北半は山地で、南半は丘陵と低地とである。エジンバラは文雅の地、出版業が盛んで景色の良い所である。グラスゴはイギリス第二の大都會で、クライド河に跨り、附近に廣い炭田があつて、造船製鐵業が隆盛を極めてゐる。  
 アイルランドの北東部は北部アイルランドといつて、自治政府を有するが、本國に屬してゐる。その住民宗教習俗等は對岸のスコットランドに似てゐる。首府ベルファスト



アイフルランド自由國

ベルファストの麻織  
 北部アイフルランドは亞麻を多く産し、ベルファストは麻織業の中心である。  
 面積 六萬九千方キ  
 ロメートル (約四千五百方里)  
 都會人口 三百萬  
 ベルファスト 四三萬  
 グアリン 四三萬



は亞麻造船の工業で名高い。  
 アイルランド自由國 アイルランド島の大部分を占め、住民の多くはケルト人の血統を交へ、舊教を信じてゐる。その風俗習慣がイングランドと著しく異なり、政治上經濟上にも利害が一致しないので、獨立を希望し、久しく争を續けたが、近年自治領となつた。石炭の産がなく、工業振はず、住民の多數は農牧に従事し、馬鈴薯を常食とし、肉類バター等を輸出する。その文化富力が著しく本國に劣り、新世界への移住が盛んで、人口は過去百年間に半分に減じ、なほ減少しつつある。首府ダブリンは交通の中心に當り、ビールの醸造が盛んである。コークは北大西洋郵船の航路に當つてゐる。

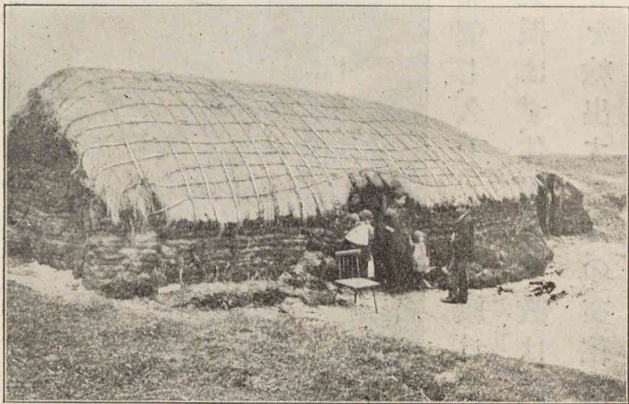


イングランドとアイルランドとの關係

アイルランドの交通及び物産圖

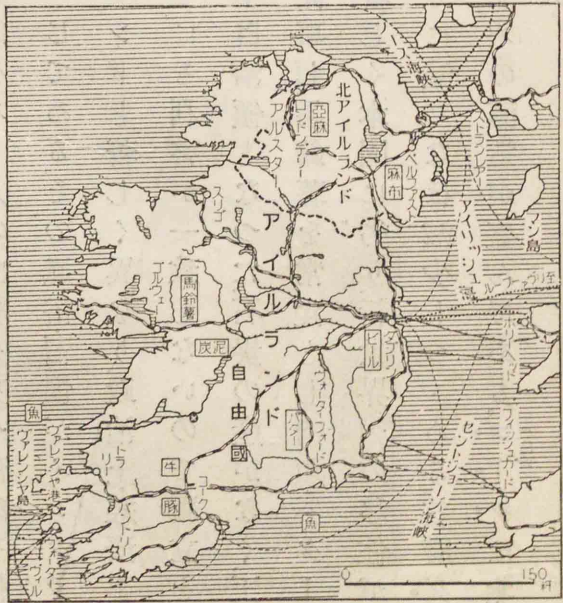
アイルランドの農家  
泥造の家と附近の地形とを見よ。

アイルランドは一般に平坦で、氣候極めて温和、雨が多い。島の中央には沼澤泥炭地が少くないが、



牧草よく茂り、牛の牧畜が盛んである。

又馬鈴薯を産し、豚も飼はれる。然るにその人口は今から八十年前八百二十萬ほどあつたのが、その四割七分を減じ、今は四百三十萬となり、なほ減少しつつある。その上住民は一般に貧しく、



アイルランドの泥炭積出  
アイルランドの中部は沼澤性の泥炭が多量にあり、他に燃料として乾かして燃焼する。

泥造の陋屋に住み、馬鈴薯を常食とし泥炭を燃料とする状態である。これはその生産力に對し、人口が多過ぎたのにもよるが、工業の發達しないこと、アイルランド人が労働者たるに適しても、工業企業者たるに適しないこと、及び多年英人から蒙つた政治上、社會上の壓迫等によるもので、その土地の如きも大部分は英人大地主の所有で、アイルランド人は貧しい小作人に過ぎない。教會には資産なく、僧侶は無智で教育は一般に進まず、政治上、經濟上の境遇は非常に同情すべきものがある。これが爲英國の統治を脱しようとして、各種の結社をつくつて反抗しつつあつた。世界大戦以來は殆ど無政府の状態となつて各地に争鬭が絶えなかつた。それで英國もアイルランド自由國の成立を認めた。自由國は大統領、内閣國會を置き、完全な内政の自由を有するが、まだこれに満足せず、全然英國



から獨立せんとするものがある。しかし、北部アイルランドは種族宗教産業等の關係上、自由國と歩調を一にしない。かくの如く國論が歸一しない爲、更に不幸を増して、今では北部は全く自由國と分離するに至つた。

設問

- イギリスの地方區劃を問ふ
- ロンドンが人口以外に世界の諸都市に卓絶してゐる點は何か。
- 英國の工業市とその産物とを挙げよ。
- 英國の大貿易港を順々に示せ。
- 英國に商工業の發達した所以。
- 主要輸出入品と取引國とを列舉せよ。
- 我が國との貿易並びに政治關係は何か。
- 英國の諸港より諸外國に行く大航路を挙げよ。
- イギリスが世界第一の海軍を維持する必要は何か。
- 英國の主要な領地を數へよ。
- マンチエスター綿織物の原料より販路までの徑路を記せ。
- アイルランド人がイギリス人と融和しない理由は何か。

面積 五十五萬方キ  
ロメートル  
(三萬五千餘方里)  
人口 四千萬

第十二章 フランス(佛蘭西)及びモナコ  
France Monaco

地文

位置 西歐の中央  
南北兩海に開口  
有る地勢

位置境域

【位置境域】西ヨーロッパの中央に位し、獨白瑞伊西五國に境し、地中海と大西洋との間に於ける要衝の地を占めてゐる。

地勢 北に並んでゐる。これとロース河谷を隔てて、西方にオーヴェルニユ高臺

地勢

【地勢】南東隅にはアルプスの連山高く聳えて、イタリーとの國境を限り、歐洲第一の高峯モンブランがこの中にある。ジュラ山脈はその北に並んでゐる。これとロース河谷を隔てて、西方にオーヴェルニユ高臺

西側 西側には大西洋に面し、南側には地中海に面する。

西側

等々の諸大河は皆この高臺から發して、北或は西に流れ、地勢もこれに従つて西に傾斜する。セーヌ河の流域はパリ盆地で、ガロンヌ河畔にはアキテーヌ盆地がある。北部の平野は更に海岸に沿つて、ベルギ

イオランダからドイツに及んでゐる。河川は概ね流が緩か

イオランダ

く、河口が開いて良港を有するものが少くない。その上運河によつて互に連結されてゐるから、地中海と北海とは連絡され、舟楫の便は甚

大平原 大平原は地味の悪い丘陵地で、

大平原

互に連結されてゐるから、地中海と北海とは連絡され、舟楫の便は甚

高厚地 第三篇 ヨーロッパ洲 第十二章 フランス及びモナコ

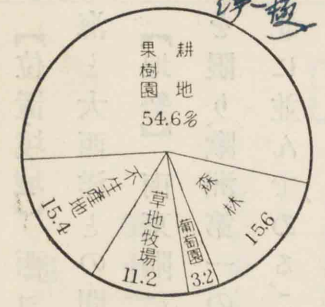
十位 晴火の力

葡萄酒の運搬  
 圖はビスケー湾と地中海とを連れるミナ運河を、葡萄酒を運搬して行くところ。

地中海岸特有氣候

北アルプス山脈

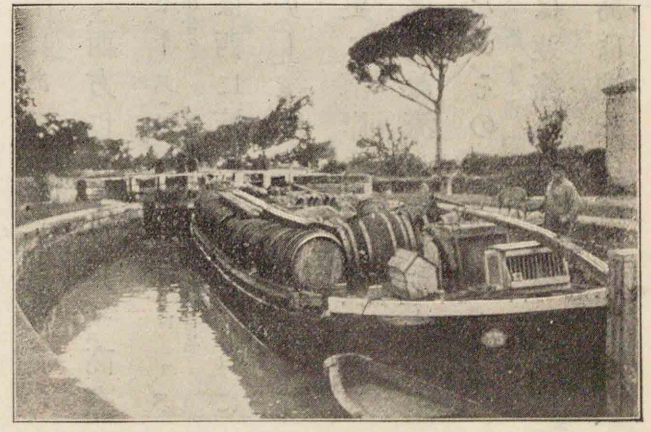
南海に面し、  
 フランス土  
 地利用割合



人文

南方のスペインとの境には峻しいピレニ  
 ース山脈が峙つてゐる。イギリス海峡沿岸  
 は屈曲多く良港があるが、ビスケー湾岸は  
 砂丘が多い。地中海にはコルシカ島がある。  
 【氣候】一般に大西洋の影響を受け温和  
 快適で、西部には雨が多く、南部の地中海岸  
 地方は特有の氣候を有し、霜を見ない。

耕地は全國の六割を  
 占め、且氣候温暖、地味肥  
 沃であるから、農業頗る盛んで小麥の産が夥しく、  
 國民常食の大部分をよく自給することが出来る。  
 玉蜀黍、馬鈴薯、甜菜の産もある。葡萄は北部を除く



Handwritten notes in Japanese, including '北アルプス山脈' and '南海に面し'.

鐵鑛産額比  
 較(上)  
 (二年平均)

國	噸万千一	噸万千二	噸万千三	噸万千四
合衆國	10	15	20	25
イギリス	8	12	16	20
フランス	6	10	14	18
ドイツ	4	6	8	10
日本	2	3	4	5
他	1	2	3	4

世界總産額一億四千七百七十噸

國	噸万百二	噸万百四
ドイツ	10	15
イギリス	8	12
フランス	6	10
他	2	3

五國輸出總計一千四百七十七噸

外、廣く栽培され、葡萄酒は産額品質共に世界第一である。又南部には  
 オリヴその他の果樹多く、ロース河谷には養蠶絹織物業が大いに  
 行はれ、北部には牧畜酪業等が盛んである。近海には水産業が甚だ盛  
 んで、鱈の産が多い。石炭は北東部及びオ  
 ーヴェルニユ高臺の周圍に多く、別にドイツ  
 から得たザール炭田がある。鐵鑛はローレ  
 ーン地方に頗る豊富で、アルプス地方に  
 は水力の利用も亦盛んである。随つて工  
 業も大いに興り、北東部には木綿羊毛麻  
 の工業、東部には製鐵、パリには美術工  
 藝が盛んである。輸出品は絹織物、綿織物  
 被服類、自動車、鐵類、眞珠、化粧品、装身具、ゴ  
 ム製品及び葡萄酒等を主とし、輸入品は

耕地土地の乏し

氣候、地味

盛

國民食料大部分自給

小麦、大麥、生糸、絹の一

葡萄酒、ホルド

産額、世界一

品類

南部地中地

フランス交通及び物産

果物

オリヴァー、橄欖

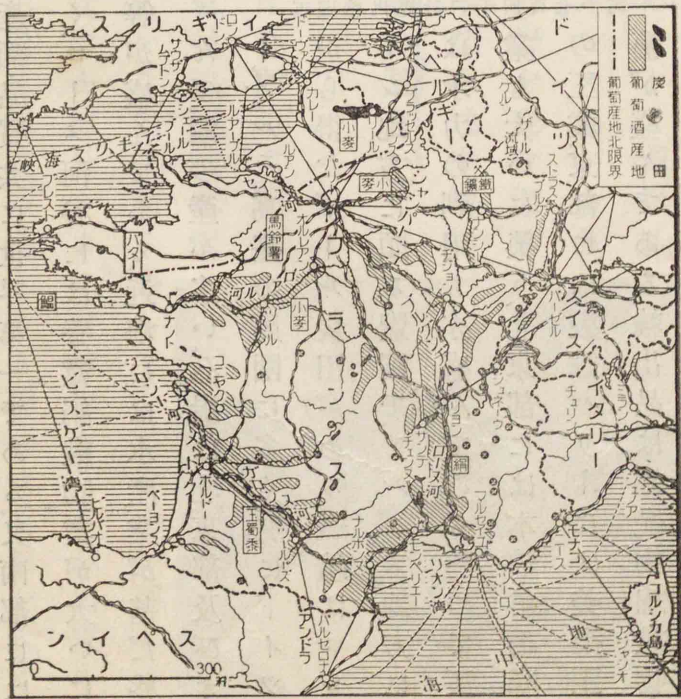
植物油の最上

香料、石炭

柑橘

棉花、羊毛、石炭、小麦、油種、生絲、コーヒー等である。輸出入總額は六十餘億圓に上り、世界第四位に位する。主な取引國は英、獨、米、白である。我が國は多く生絲、羽二重等を輸出し、毛絲、機械、化學製品等を輸入する。

【交通】位置の良好な上に地勢が平坦であるから、河川、運河の便が多く、且鐵道の延長は著しいので、國內の交通は非常に便利である。外國に對しても、イタリーに至るモンズニール大トンネルを始め、鐵道が諸



南部地中地

コー、又、阿、谷、地

中心、リ、ヨ、市

精、織、物

精、織、物

佛、世界、可

美術、園

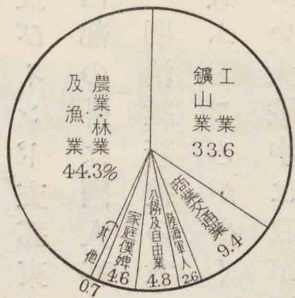
米、パ、タ、イ、ン、セ、界、一

旭、カ、レ、フ、エ、ル、ト

伊、ミ、ラ、ン

日、京、都

フランス世帯主職業別割合



方に通じ、海上は汽船の往復繁く、アフリカに至る航空路もある。

【住民】人口の密度は地味、氣候の良い割合に小さく、又人口の増加は極めて少く、最近の十年間には、世界大戰などもあつて、戦前の國境内に於ては二百餘萬人を減じた。國民の大部分はラテン族で、舊教を信じ、浮華の譏もあるけれども、愛國の熱情に富み、典雅にして社交に長じ、その言語は外交及び實際社會に用ひられる。又勤儉貯蓄の美風がある。教育もよく普及し、學藝美術に秀で、國民には航空機、自動車その他各種有益な産業、學術上の發明をしたものが多い。なほブルターニュ半島には先住のケルト族が残つてゐる。

【政治】建國頗る古く、國境は概ね天然の要害に據り、民族、言語、宗教が單一なので、政治上の統一堅く、嘗ては國力、文化共に世界に冠たり

政治

石炭

鐵、産

大、鉄、板

アル、カ、石、炭

大、産、地

東北部  
綿麻、毛織物工業

フランス  
リール  
パリの  
美術工業の中心

全歐一流行の源泉  
佛領、上流、流俗的

社交界の中心  
我が國との  
外交上の関係

しこともある。近世革命の爲に政體が屢變じ、佛獨戰役後、現時の共和政體を確立したのである。ドイツに敗れてから、國力が一時振はなかつたが、最近の大戦には、聯合國の首腦となつて大いに武勇を輝し、ドイツの大軍を喰止め、アルサス・ロレーンを恢復し、大いに國威を發揚した。航空軍の精銳は夙に世に知られてゐる。

海外の領地は本國の二十二倍で、アフリカ北西大部、マダガスカル及びインド支那東部、アメリカ大洋洲の一部等にあるが、アフリカ北西部の外は、國人移住を厭ひ、又不生産的の地多く、發展も著しくない。明治維新後の我が國の軍事法律學藝等の進歩は、この國の輔導に負ふところが少くない。今なほ美術學藝を研究する爲に行くものが多い。大戦中は我が國はこの國の與國となつて大いに盡し、大戦後は愈親密の度を加へた。

處誌

交通 北勢平且、大山地ナシ  
位置 西歐中央  
南北西通三關  
天然に交通便  
備ふ

人口密度小  
増加率甚少

文明國

國民性

快活、雄辯

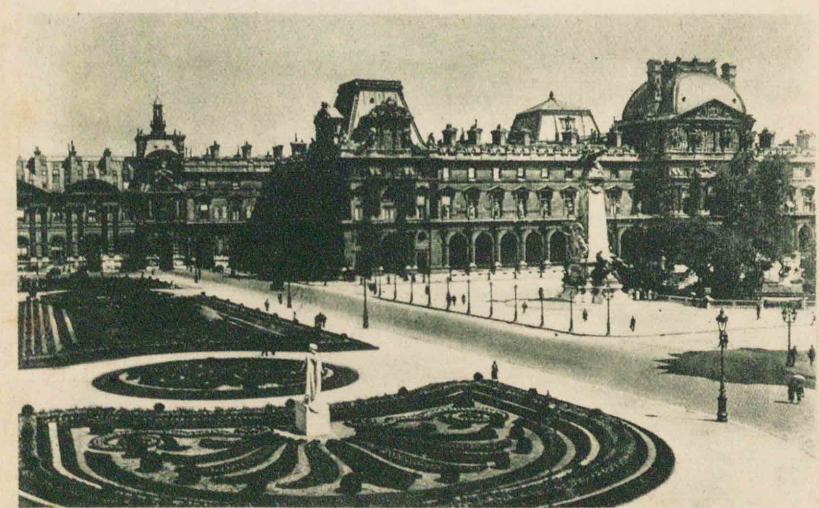
實際社交

三三三、三三三、三三三  
官廷法廷流俗外交  
美術文學

勤儉、明著  
世界最大最善の廣場であつて、正面のオペラスクはナポレオンがエジプトから持つて來たもの。



場廣ドルコンコのーリパ 版五十二第

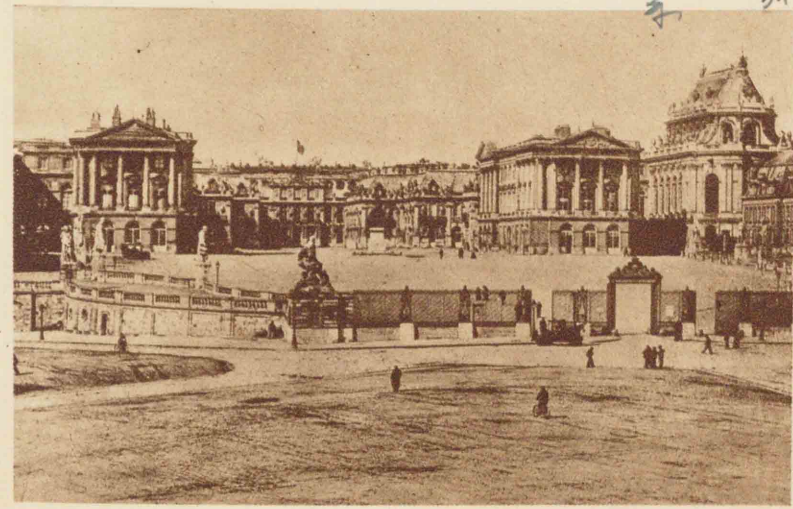


館物博ルヴァール 版六十二第

十六世紀から三百年を経て完成した宮殿で、世界の粹を集めた大美術館となつてゐる。右に見えるのはカンベッタの記念碑。

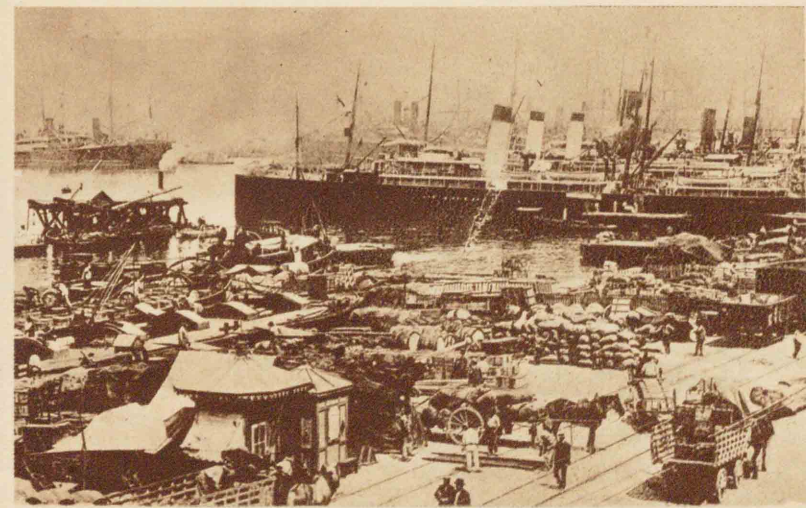
此点海軍軽便  
 感情主走  
 大華命  
 政変叛教等

ルイ十四世の居城であった所で、宮殿・林泉の美世界第一といはれる。その宮殿だけの建築費二億圓と  
 殿の内部は博覧會の維持費だけで年二十四萬圓かかる。宮  
 が陳列された。對獨講和條約はこの中の鏡の間  
 で結ばれた。



版七十二第 殿宮ユイサルエヴ

マルセイユは地中海岸第一の港で、港灣設備がよく  
 整つてゐる。又風景よく氣候も温暖で、好保養地を  
 なしてゐる。



版八十二第 港のユイセルマ

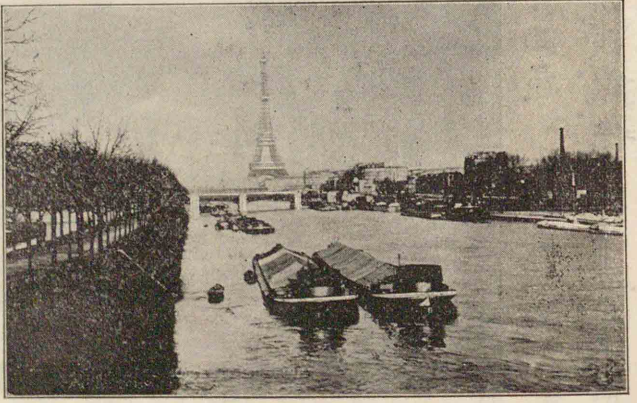
都會人口

パリ 二九〇萬  
 マルセイユ 一五〇萬  
 リヨン 一三〇萬  
 ボルドー 一三〇萬  
 ナント 一三〇萬  
 ストラスブ 一三〇萬  
 リール 一三〇萬  
 ツーロン 一三〇萬  
 サントエチエ 一三〇萬  
 アンヌミ 一三〇萬  
 ルアーヴル 一三〇萬  
 セイヌ川と  
 エッフェル塔  
 一八八九年  
 エッフェル塔  
 建てたもので  
 高さ三百メ  
 トル、展望が  
 甚だしく、電  
 報測及び無線  
 電信に用ひら  
 れる。  
 ルーヴル博  
 物館の名畫  
 ムリヨ筆マリ  
 ヤ。

パリ(巴)はセイヌ河に跨り、河口から上  
 流凡そ百キロメートルにある。建國以來の  
 首都で城壁に圍まれ、人口殆ど三百萬、歐洲  
 第三の大都會である。全國商業の大中心で、  
 市街は極めて壯麗である。ノートルダム寺  
 エッフェル塔凱旋門ルーヴル博物館等の宏大

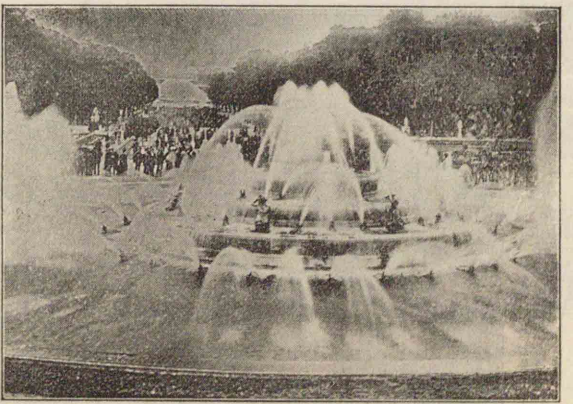


劇場、公園、築物、な建  
 等の遊覽所が多く、その他歴史  
 的の美術品及び古蹟に富んで  
 るので、外人觀光客の多いこ



ヴェルサイユ宮殿の林  
 ユ宮殿の林  
 泉  
 宮殿の裏庭に  
 噴水はあり  
 廣く池を刻み  
 ついでに夏刻  
 曜り、噴泉の  
 限りに、噴泉  
 壯麗なる噴泉  
 見せしむるに  
 いはせしむるに  
 噴水

と世界第一である。工藝裝飾品(パリイの美術工藝品は貴金屬寶石細工香水化粧用品手袋裝身具道具陶器等)はその特産で、世界流行の源泉といはれる(我が大使)。近く大戦後の講和會議もこの地に開かれ、その條約は近郊で締結された。市の西南方十數キロメートルにヴェルサイユ宮殿がある。ルイ十四世が巨費を投じて造營したもので、殿堂器具一として當時の榮華を語らないものはない。セーヌ下流のルアンは綿織物毛織物の産多く、河口のルアーヴルはパリーの門戶、英米との取引が盛んで、大西洋航路の重要な起點をなし、輸出貿易の多いので知られ、この國第二の貿易港である。カレドニイは英國へ渡る要地である。國の北東部は聯合軍が獨軍と奮戦した所で、ヴェルダン(Verdun)は殊に名高



Verdun

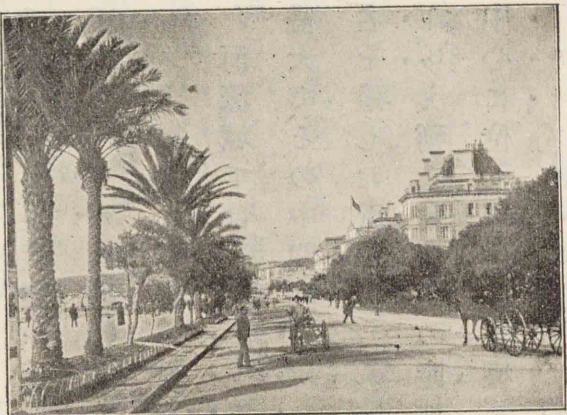
方ロザンヌの川  
 北流の管は北  
 方聯盟の方  
 際ての炭田  
 地方の完全  
 ことに於て  
 地方面の全  
 ことの方の  
 屬この地方  
 年にこの地方  
 らに属する四

い。ロレーン地方は世界有數の鐵鑛産地で、メツナンシーの要塞地がある。アルサスはロレーンの一部と共に、長くドイツに屬してゐた所で、地味肥え農産豊かに、その主邑ストラスブルグは産業交通の要地である。リールは織物業で著はれ、附近には炭田が多い。シェルブルブレストは共に軍港で、附近の海岸は崖多く、奇景に富んでゐる。ロアール河流域では下流ナントの精糖業、上流サンテチエヌの製鐵業共に盛大で、その中間のオルレアンは要害の地を占め、ジャンヌダークの勇名を遺した所(オルレアンはジャンヌダークが百戰を解いた古戰場)、ガロンヌ河の下流地方はメドックと稱し、葡萄酒の産地として古來名高く、河口のボルドーはその中心に位し貿易甚だ盛んで、葡萄酒の外、果實の輸出を以て著はれ、ツールーズはその上流に於ける交通及び商工業の要地をなしてゐる。マルセイユはローヌ河口に近く、この國第一の商港で、地中海東洋方面との貿易盛んに行はれ、食料品葡萄酒を輸出し、又植物油の世界

市場で、石鹼の製造が甚だ盛んである。我が郵船もここに寄航する。その南東にツ・ロンの軍港がある。これから東方臨海の地はイタリーの

Toulon

のレグホルンに至るまでリヴィエラと呼び、氣候温暖で避寒に適し、ニースは殊に名高い。リオンはローヌ河の中流にあつてこの地方内外交通の中心で、その中にはモンズニ大トンネルによつてアルプス山系を横断し、イタリーに出る幹線がある。絹織物の産出は世界第一であつて、その原料の生絲は我が國から多く輸入する。



ニースの景

### モナコ

Monaco

フランスの南東隅にある小侯國で地中海に臨み、面積は十六方キロメートル、人口二萬三千で、歐洲最小の獨立國である。

モナコ

### 問 設

○フランスの略圖を描き、河流とこれに沿ふ都邑とを記入せよ。  
○パリとロンドンとベルリンとを比較せよ。  
○フランス國民及び國家の特質を語れ。  
○フランスと我が國との關係如何。

○フランスの最も主要な産業とその産物とを挙げよ。  
○英佛の産業を比較概説せよ。  
○フランス國の貿易品と貿易國とを列舉せよ。  
○東京市よりシベリヤ鐵道によつてパリに行く通路を記せ。

## 第十三章 イベリヤ半島

Iberia

(スペイン〔西班牙〕、ポルトガル〔葡萄牙〕)  
Spain (Hispania) Portugal

### 地 文

【位置境域】歐洲の南西に突出した一大半島で、地中海と大西洋との間に挟まれ、ヒレニースの峻嶺でフランスと劃然とした境をつくり、ジブラルタル海峡を隔ててアフリカに面してゐる。スペインは半島の大部を占めてフランスより稍小さく、ポルトガルはその西にあつ

スペイン  
面積 五十萬方キロメートル  
(三萬二千方里)  
人口 二千二百萬  
ポルトガル  
面積 九萬二千方キロメートル  
(六千方里)  
人口 六百萬  
位置境域



地勢

て面積は我が北海道に等しい。

【地勢】ヒレニース山脈は北境に聳え、その西はカンタブリヤ山脈

に續き、共に峻嶮である。南方にシエラネヴダ山脈東西に走り、その間

に數多の山脈が東西に並び走つて一帯の高原をなしてゐる。地勢は

稍西に傾き、ドウロタグス、グワチアナ、グワダルキヴィルの諸河大西洋に注

いで下流に平野をつくり、獨りエプロ河は南東流して地中海に注い

である。これらは大抵高原中に深谷を穿つて交通を妨げ、水量少く、且急流で、グワダルキヴィルを除く外は舟運の便が少い。海岸は出入に乏しく断崖に富み、良好な港灣に乏しい。

【氣候】西岸は暖流の影響を受け高温多湿であるが、地中海岸は半熱帶性を帯び雨量少く、甘蔗棗椰子を産する所がある。高原地方は寒暑の差甚だしく、雨量少く、夏は乾燥烈しく、草原荒野をなす所が多い。

人文

産業

【産業】位置は良好で、地勢氣候も甚だしく不良でないが、産業は一

般に振はない。住民の多くは農牧に従事してゐるが、土地は十分利用されず、氣候が乾燥するので、人工灌漑の必要がある所も少くない。小麦、玉蜀黍(住民の常食)、甜菜糖(北部に産する)等はほとん

どの需要を充たし、南西の兩海岸に葡萄、オリヅ柑橘等を栽培し、葡萄酒、オリヅ油、果實は重要輸出品である。高原地方には牧畜が盛んで、羊、山羊を飼ひ、又騾、驢は駄獸として一般に飼養される。山林にはコルクCork Oak樹がある。又西方

の海からは鱈の産が多い。鑛物は頗る多く、北部には良質の鐵鑛を産し、銅、水銀、鉛は世界有數といはれ、石炭、銀、亞鉛も埋藏されてゐる。概して鑛物の埋藏量は多いが、交通不便で、採掘



スペイン西南に於ける葡萄收穫の祝祭

カサスの近傍には有名なシエラネヴダの諸河大西洋に注いで下流に平野をつくり、獨りエプロ河は南東流して地中海に注いである。これらは大抵高原中に深谷を穿つて交通を妨げ、水量少く、且急流で、グワダルキヴィルを除く外は舟運の便が少い。海岸は出入に乏しく断崖に富み、良好な港灣に乏しい。

コルク樹  
西部地中海沿岸特有の樹齡二十年以上の樹は毎年二、三センチメートルの厚さを得る。



になつた。

貿易  
スペイン南部の柑橘運搬  
柑橘はこの地方の重要な産物である。運搬の際に注意せよ。

産業が振はないので、商業も盛んでない。鑛物、葡萄酒、オリヴ油、果實、コルクを輸出し、綿綿製品、石炭、機械、木材を輸入する。河川や運河の航行に適するもの少く、鐵道の密度は歐洲中、ロシヤ



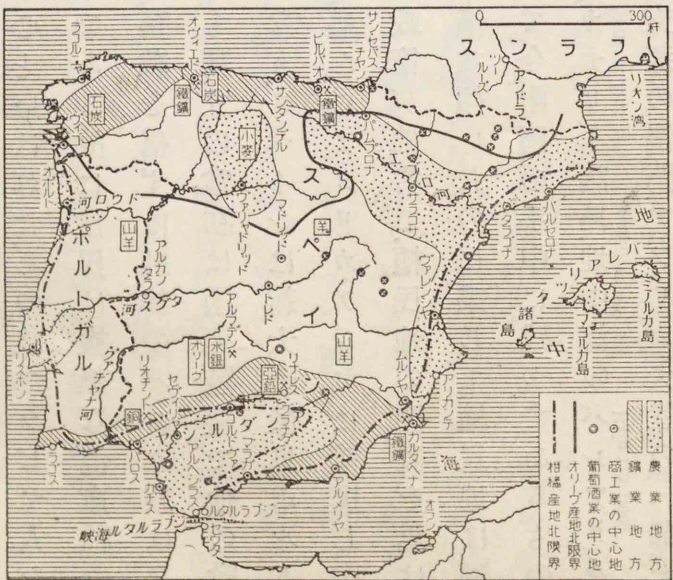
利用が進まず、且多くは外人の出資にかゝり、鑛石のまゝ輸出されるのが多い。近時東部では水力の利用が起り、又英國から石炭を輸入して、交通の便利な所には製鐵、紡績等の工

イベリヤの産業分布圖

住民

ノルウェー、バルカン地方に優るだけで、しかもその多くは外國人の經營するもので、輸送力は本大陸中最下位にあるといはれる。半島國であるが海港に乏しく、海運振はず、その貿易は主に英國人及び英國の汽船によつてゐる。

【住民】スペインは人口二千二百餘萬、ポルトガルは六百萬で、密度は甚だ小さく、僅にロシヤ、スカンデナヴィヤ、フィンランドに優り、その増加率も亦極めて小さい。地勢氣候の關係上産業の發達してゐるのは海岸だけであるから、人



沿革

スペイン語は  
今なほメキシ  
コ・中米・南米  
フィリッピン  
地方に行はれ  
る。  
南部の山中に  
はアラア種族  
の遺民が少く  
ない。

口も海岸に多く、内陸地方は甚だ稀薄である。半島の原住民はバスク族であるが、後、ローマの植民地となり、中世には久しくアラビヤ人の據る所となり、當時歐洲文化の中心といはれた。その後アラビヤ人を征服して現今の二國を建てたのである。故に住民は複雑な混血種であるが、言語文化はラテン系統で、舊教を信ずる。純粹のバスク族はなほピレニース山中にゐる。兩國とも獨立の當初は國運隆盛で、他の歐洲列國に先んじて海上の覇者となり、スペインは新大陸發見、ポルトガルは喜望峯廻航の名譽を擔ひ、盛んにアメリカアジアに植民し、廣大な領土を略取した。しかし、植民政策が拙劣で、植民地の開發を思はず、誅求を専らとしたので、國勢の漸次傾いたのに乘じて、植民地は獨立し、又は新進の蘭英佛に覆されて、今、兩國の手中に残つてゐるものは、僅にサハラ及びモロッコの一部、カナリヤ諸島、地中海のバレアリック諸島がスペインに、インドのゴア、支那の澳門、アフリカ大陸の一部、大

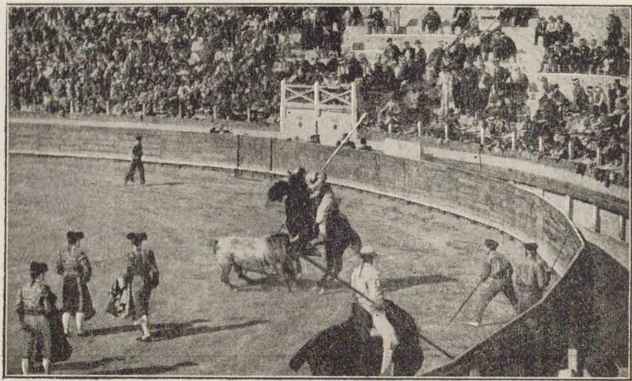
Canary Is.  
Balearic Isles  
Goa  
Macao

政治

闘牛(スペイン國技)

中世風の裝束を  
つけた騎士が  
槍で牛を傷  
つけ怒らせ、  
その角で馬に  
突きかゝら  
せ、最後に騎  
士が暴牛を屠  
るのである。

我が國との  
關係



西洋中のアゾーレス・マデイラ等のポルトガルに屬するだけである。

【政治】スペインは立憲王國で、ポルトガルは近年共和政體となつた。兩國共に屢、内政が動搖し、財政は窮乏し、國人は産業を怠り、教育を輕んじ、闘牛に耽つて、あへて國力の挽回を顧みない。又兩國は人種・宗教が同一で、隣國であるに拘らず、古から反目嫉視して互に他の發展を妨害したことが少くない。

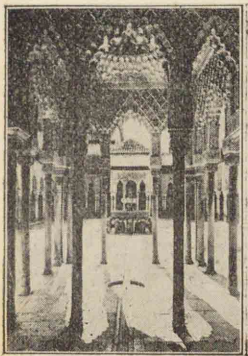
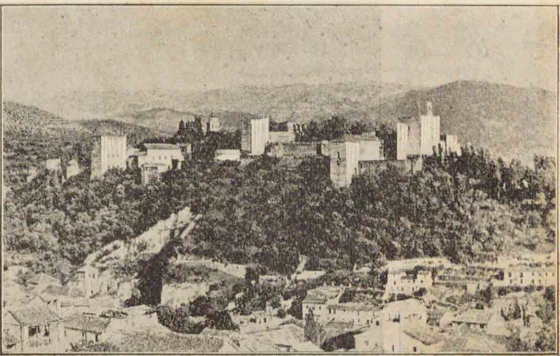
歐米諸國中最も早く我が國に來航し、鐵砲天主教など諸種の文物を輸入したものはこの國人で、我等の日用品にその國語の残つてゐるものが多い。はん(Pão)葡、金米糖(Conféios)葡、金巾(Canequin)葡、かすていら(Castella)西、合羽(Cupa)西、あさり(Calico)西等はそれである。

我が公使館がある。ポルトガル兼轄。都會人口

マドリッド 光  
バルセロナ 齒  
ヴァレンシヤ 云

アルハンブル宮殿と獅子宮

スペインに於けるアラビヤ人の最後の城塞は、今も六百餘年前に建てられたる丘に、城壁を繞らぬ宮殿・中庭・城塞・宮殿・獅子宮・天官・大宮・透理石の柱・模様の透し彫りなど、美しい追慕せしめらる。



處誌

スペイン 首府マドリッドは半島の中央六百五十メートルの高所にある。交通の中心で、

街路廣く、且美しい。バルセロナは地中海に面し、國內第一の貿易港で、又木綿工業が盛んである。ヴァレンシヤは絹織物果物の輸出港として名高い。コルドバは一千年前頃サラセン帝國の首都として繁榮を極めたが、今は大いに衰微してある。グラナダの近郊にはアラビヤ人の建てたアルハンブル宮殿がある。トラファルガーは百餘年前、英將ネルソンが佛國艦隊を破つた所で、カヂスはこの國最古の港で、附近は葡萄酒の名産地である。パロスはコロン

Valencia

Cordoba

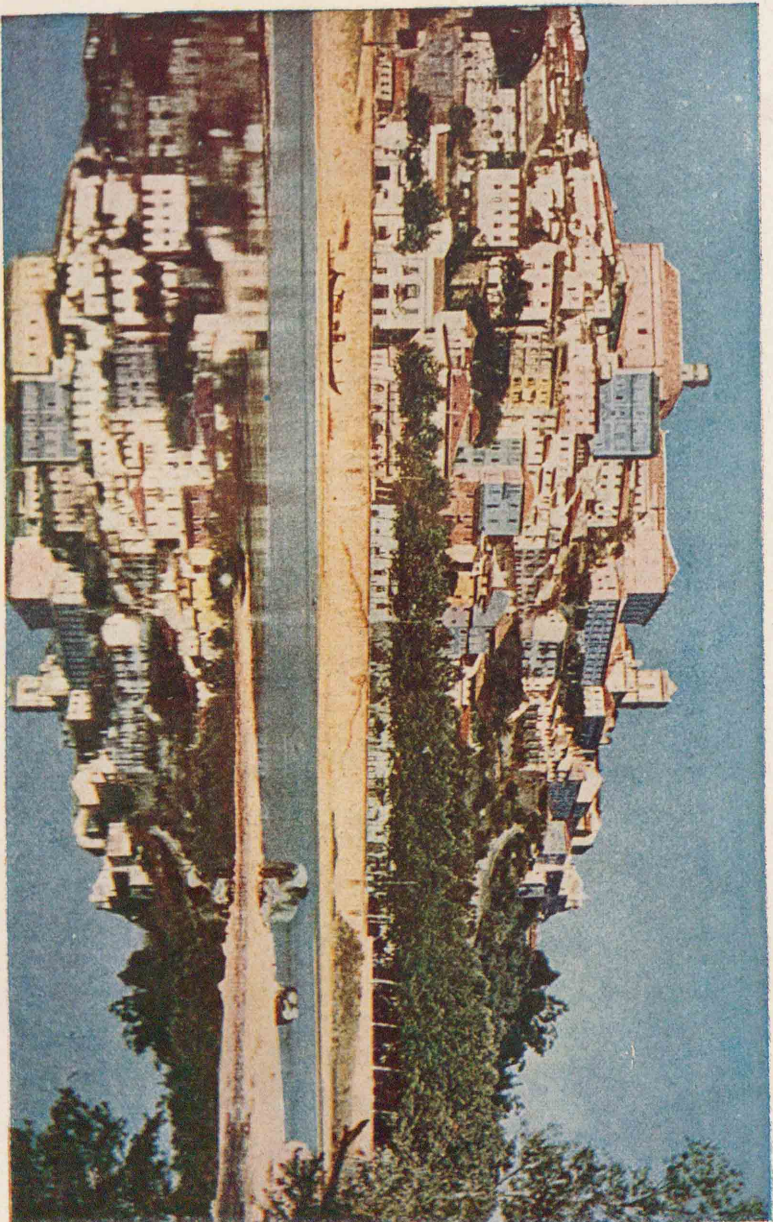
Granada

Alhambra

Trafalgar

Cadiz

Palos



(ラヌナイコ) 城古のルガトルボ

ロイムアラ市はオポルトの南方一百十キロメートルにある。ポルトガルのリスボンといはれ、この国宗教・學術の中心である。ラサのポトラ山に似た丘陵は、昔、アラブ人の據つた城塞の跡で、今はこの國唯一の大學がある、實に一九〇年の設立である。山下に大學を寫してゐるのはモンデゴ川である。市は又ポルトガル建國の初期首府であつた所、建築・風俗など中世の面影を傳へ、又寺院が多い。

ポルトガル  
都會人口  
リスボン  
オポルト  
三〇  
九  
萬

リスボン郊  
外の舊離宮  
王政時代に國  
城で常にみた  
城といひ、トラ  
麗な極めてあ  
る。



ビスが新大陸發見の出帆港として名高い。ビルバオは鐵鑛の輸出が夥しく、近年製鐵業が大いに盛んになった。

ポルトガル 首府リスボンはタガス河口に位し、港内廣く風波の憂のない天然の好錨地である。昔、世界貿易の中心であつた名残を留め、今も商港と軍港とを兼ね風景絶佳、果實・コルクの輸出が多い。オポルトはポルトワインの輸出を以て著はれ、又水産業の中心である。

ジブラルタル 地中海の西門を扼する一小半島であつて、險要無比といはれてゐる。良港を控へ商船の寄泊するもの多く、重要な炭水供給地として普く知られてゐる。イギリスは二百年前からこれを領有して、附近の海上權

ジブラルタル  
海抜四百メ  
トルばかり  
岩山で、北  
は低い砂濱  
本陸に砂濱  
ある。町は  
の麓にあり  
砂濱は中地  
で、西側地  
ある。西側  
ペイン方面  
から見ると

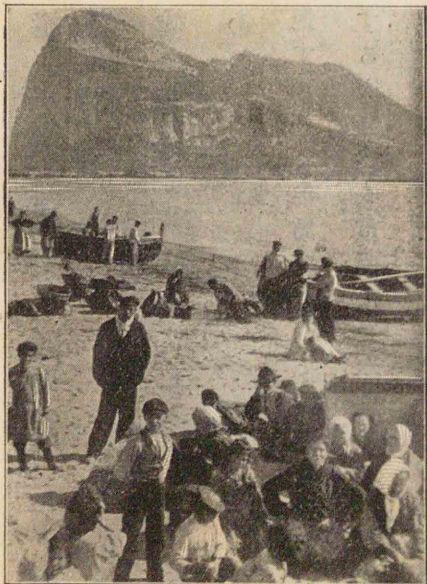
を握り、堅固な要塞を設け守備を  
嚴にし、大西洋艦隊の根據として  
ゐる。

**アンドラ** *Andorra* ビレニース山中の

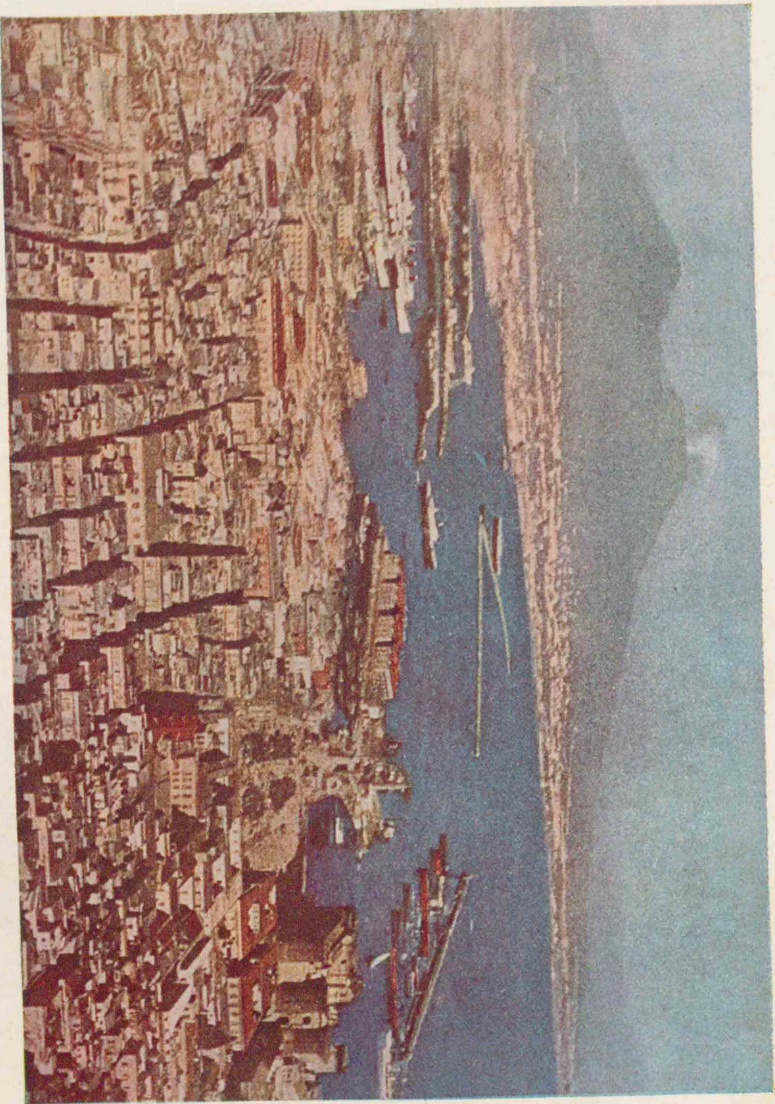
小獨立共和國であつて、面積四百  
方キロメートル、人口凡そ五千あ  
り、佛・西兩國の保護を受けてゐる。

**設 問**

- イベリヤ半島の地勢を説け。
- スペイン・ポルトガル兩國の植民地を問ふ。
- スペイン・ポルトガル兩國の過去と現在。
- イベリヤ半島民の風俗を問ふ。
- スペイン・ポルトガル兩國の産業が振はない理由は何か。



- スペイン國中アラブ人の遺蹟はどこにあるか。
- 我が國とスペイン・ポルトガル兩國との關係を述べよ略述。
- ビレニース山脈は人文上如何なる影響を及すか。



山火スヤイダスエダ見らか頭灣スルゾーネ

「ノーブルスを見てから死ぬ」といふ謠があ  
 るが、夕暮に灣頭のプロムナード(散步道)か  
 ら浪靜かな灣を隔てて紅煙塔に映ずるヴェス  
 ヌス山を望んだ時は、實際如何なる名畫もこ  
 れに加ふるどころはないと思はせる。煙を噴  
 いてゐるのが火口丘ヴェスヴィヤスで、左は外  
 輪山ソップ山である。山は中腹以上まで肥沃  
 な葡萄園で、葡萄の下にたら豆・えんどう豆  
 を植ゑてゐる。

#### 第十四章

イタリー(伊太利)・サンマリノ  
 Italy San Marino

及びマルタ  
 Malta

#### 地 文

面積 三十一萬方キ  
 ロメートル  
 (二萬方里)  
 人口 四千萬  
 位置・地勢

【位置地勢】 歐洲の南部、地中海に突出た長靴狀の半島が主なもの  
 で、シシリー島及びサルヂニヤ島、その他の小島嶼がこれに屬する。面  
 積はほゞイギリスに等しい。北境にはアルプス山系が彎曲して高く  
 聳え、アペニン山脈その西端から起り、半島のほゞ中央を走つてシシ  
 リー島に及んでゐる。北部にはロンバルデー平原があつて、ポー河が  
 流れ、灌漑舟楫の便を與へる。他の大部分は山嶽丘陵起伏し、大河は少  
 い。この國は我が國及びジャヴァ等と共に、世界に有名な火山地震國で、火  
 山帯は西岸に沿つて島嶼に及び、ヴェスヴィアス・ストロンボリ・エトナ等  
 の火山は最も名高く、半島の中部には數多の火口湖がある。

氣候 地中海沿岸氣候の特色は夏高温で乾燥し、冬温和で降雨が多いのである。

産業

シシリー島の柑橘採取  
シシリー島は有名で柑橘の産地である。アルプス以北、英、獨、佛等では食するのには皆シシリー島から来る。

【氣候】 氣候は温暖で、地中海沿岸氣候の特性を現し、天氣は晴朗であるが、南部は夏に雨が少く、島嶼はアフリカの影響を受け、半熱帯性で、沿岸の低地にはマラリヤが流行する。

人文

【産業】 國民の過半は農業に従事する。ロンバルデー平原は頗る肥沃で小麥米生絲を産する。中部以南は氣候が乾燥するが、シシリー島

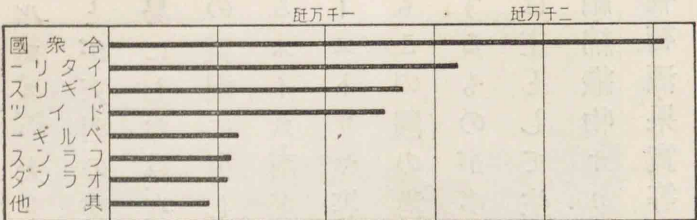


は地味肥え、オリーブ、葡萄、柑橘など甚だ多く、又各地に玉蜀黍を産し、小麥と共に國民の常食となる。アルプス山麓には山羊牛の牧畜盛んで、バター、チーズを産する。硫黄、水銀の産は世界に名高く、大理石も亦良質で、エルバ島から鐵鑛

シシリー島の硫黃積出  
シシリー島は世界第一の硫黃産地である。

人造絹絲産額比較  
(二年平均)

人造絹絲産額と天然絹絲との比較  
オリーブの實  
歐洲原産の常緑樹、高さ凡



世界總産額約九千九百九十萬噸



天然絹絲 35.7%  
人造絹絲 64.3%

を産する。石炭に乏しい爲に工業は振はなかつたが、勞力の豊富なのと、水力の利用甚だ盛んなのと、北部地方には絹木綿人造絹等の工業が非常に盛んになつた。美術工藝は國民の特に長ずる所で、硝子器、陶器、帽子、珊瑚、細工、彫刻品等の精巧なものを産する。



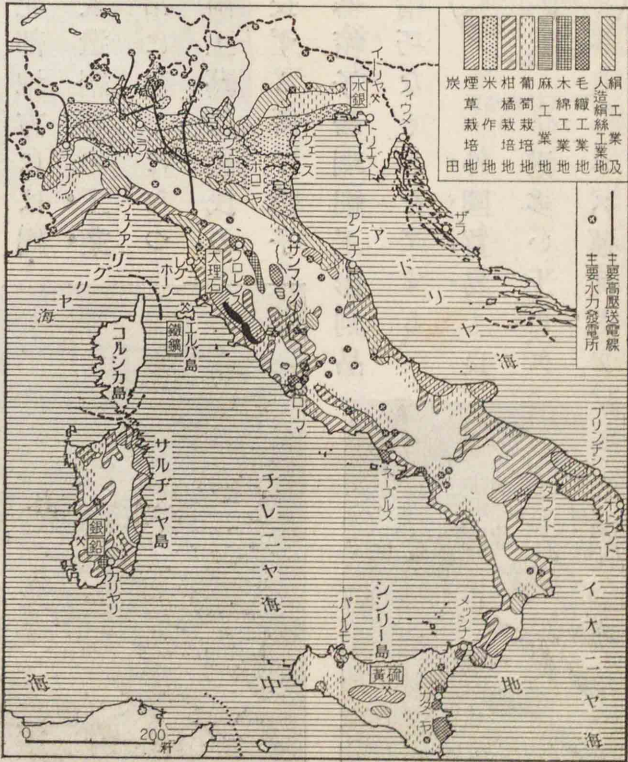


そ七メートル  
ぐらゐに  
なる。實は卵形  
又は球形の核  
果、長さ一寸  
餘、鮮綠色で  
ある。これをか  
ら油を搾取し  
て食用・薬用・  
工業用等とす

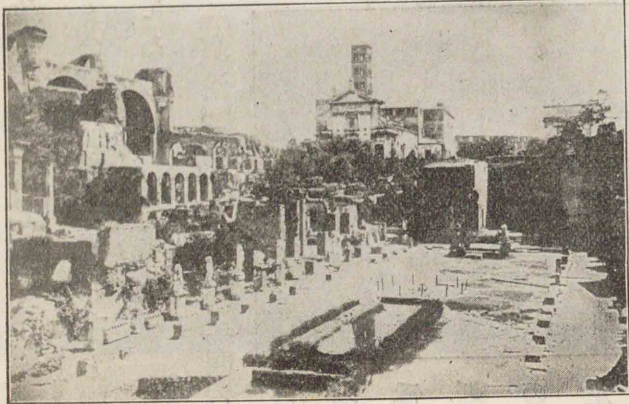
イタリーの  
産業分布圖

住民

ルプスの大トンネル  
とが東西の交通を容  
易にした爲次第に昔  
の盛況に復しつゝあ  
る。スイス南ドイツオ  
ーストリア等の貿易  
もこの國の港を經由  
するものが多い。貿易  
は主として生絲人造  
絹綿織物オリヴ油  
葡萄酒果實等を輸出し、食料品石炭羊毛棉花鐵類木材機械等を輸入  
する。米國英國ドイツスイス及びアルゼンチンを主な取引國とする。  
【住民】天然の資源に乏しく、商工業も亦十分發達しないのに、人口

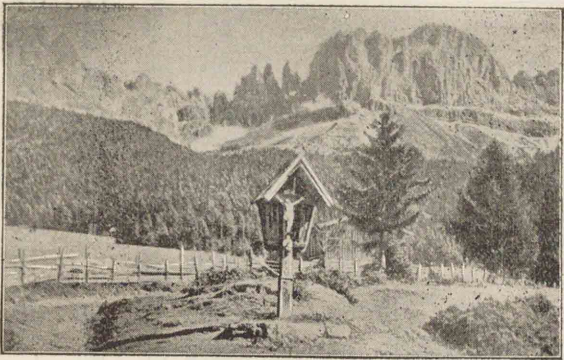


蹟  
ローマの古



の密度はほゞ我が國に等しく、且年々の増加四十萬に達するので、人  
口の過剰を來たし、外國に移住するものが夥しく、殊に合衆國及び南  
米へ行くものが多く、近隣諸國へ出稼するものも少くない。國民中外  
國にあるものは六百萬に達する。年々の移  
住者は大戰前は七十萬を數へたが、米國の  
移民制限などの爲に今は三十萬に減じた。  
これら移住の送金は貿易の輸入超過を償  
ふことが少くない。ラテン族の本據、キリス  
ト教の中心地で、國人は古來文學美術音樂  
に長じ、稀世の傑作が少くない。史上の遺蹟  
は各所に多く、且氣候温和、交通が便利な  
ので、世界各地から來る研究遊覽の客が多く、  
その費す金が又國民の重要所得となる。舊

教歴代の教主である法王は、もと政治上宗、教上に偉大な力があつたもので、今も各國君主と同一の待遇を受け、歐洲各國と使節を交換してゐる。



伊領チロー (Tyrol) の景

アルプス山南の舊領地、方背の山は白雲の絶壁に、雲岩の層が、見ゆる。十字架の像は、南の通行人は、ここで禮拜する。

【政治】 紀元前後三四百年間ローマ帝國の全盛時代には、その領土は地中海を内海として沿岸の三大陸に跨り、富強文化宇内に冠絶してゐたが、一朝蠻族の爲に蹂躪されて以來國勢長く沈衰し、小邦が割據して近世に及んだ。一八七〇年に現王國の基礎が出来、その後君民の努力によつて長足の進歩を遂げ、最近の大戦に参加して、トレンチノ、トリエストを得て、アドリヤ海の覇權を確保するやうになつた。なほ小アジアの海岸のローズ島及び附近の小島、アフリカ



版九十二第 (河運アンラグ) スニエヴ

今なほ電車も自動車もなく、水路を街道とする水の都である。前景の船はゴンドラと呼ぶ唯一の交通機關、背景はサン・マルコヤサルーテ寺(健康なマリヤ)、建築はアラビヤ風を帯びてゐる。



版十三第 寺一ターピ=トンセのマーロ

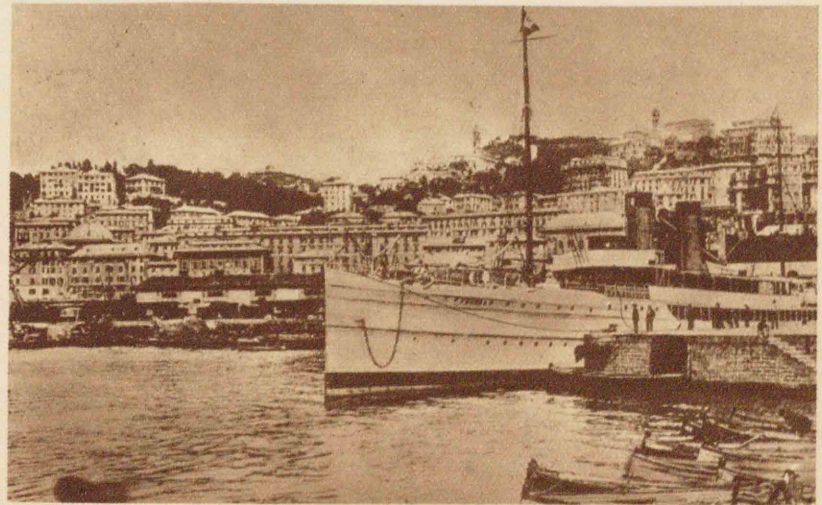
キリスト舊教の大本山、世界最大の寺院で高さ百三十一メートル、長さ百八十メートル、幅百四十メートルに達する。正面がその本堂である。法王の宮殿はこの右の方にある。

所はボンハイ市の中心であつた。近頃は火山の噴煙が見える。右の山は外輪山といふ。



蹟遺のイペンボ 版一十三第

背面直ちにアルプスが迫つてゐる。中世ヴェニスとその繁盛を羨む。近年再び盛んになつた港である。

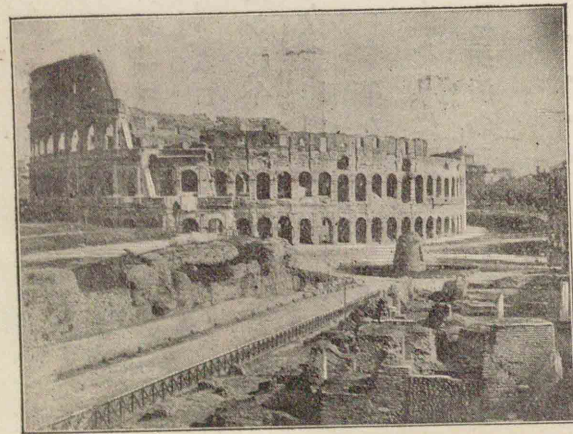


港アノエジ 版二十三第

のトリポリ並びに東岸の一部はその領土である。  
Tripoli

處誌

首府ローマ(馬)はタイバー河に跨り、往昔ローマ帝國の都として、數百年間歐洲の政治文化宗教の大中心であつた。由緒ある建築物美術品に富み、遊覽者が甚だ多い。法王のヴァチカン宮殿セントピーター寺、コロッシウム等は、その主なるものである。我が大使館もここに有る。ネーポリスは同名の灣に臨み、移民の出發港として名高い。ヴェスヴィウス火山がその東方に聳え、常に煙を吐き、さながら晝中の好景である。往昔この火山大爆裂の際、ポンペイ・ヘルクラネウムの二市は全くその噴出物の爲に埋められて、未曾有の慘狀を呈



都邑人口  
ミラン 八六  
ネーポリス 八五  
ローマ 七六  
チユーリン 五三  
パレルモ 四三  
ジェノア 三三  
フロレンス 二六  
トリエスト 二二  
ヴェニス 二〇  
コロッシウム

ローマ帝國の盛時に建てられた圓舞臺で、周圍五百餘メの觀客を入れた。このことが出来た。

したが、近時漸く發掘されて、弔古の客が絶えない。

ボンペイは凡そ紀元前五百年に建設されたものと傳へる。紀元七十九年八月二十四日、それまでは休火山であつたヴェスヴィアス山が突然噴火し、盛んに火山灰を降らし、翌日は家屋の屋根まで埋まり、人口三萬中、死するもの二千餘人に及んだ。六十年前からこの古蹟が發掘され、今、全市の大部分が窺はれ、幾多の殿堂劇場市場公會堂水道貴人の住宅壁畫彫刻等にローマ帝國盛

時の繁榮を追想すべく、その厨房裝身具化粧品等は悉く當時市民生活の狀況を知らしめるに足りる。

フロレンスは古來美術の中心でその遺品多く、ピサは斜塔を以て著はれ、又避暑地である。その南のレグホルン



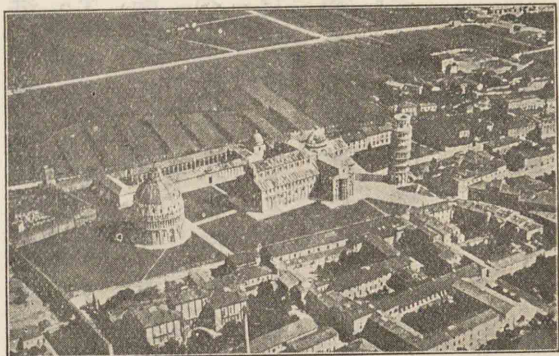
フロレンス 美術館の名畫

フロレンスの中世美術の中心で、その美術館には、その美術の傑作が、多量に保存されている。その名畫は、ラファエロの「マドンナ・デル・サントスピリト」である。

空中から見ると、斜塔

中景左の圓塔は、禮堂、高さ五八メートル、十二世紀の建築。中央は、これより二百年前に出来た本山。その右斜塔は、十二世紀から十四世紀に建てられた鐘樓で、高さ五四メートル。もととは垂直であつたが、今は頂點が起點から五メートル傾いてある。それでは、世界七不思議の二つに数えられる。以上は皆大理石でつくつてある。

ミランの大寺

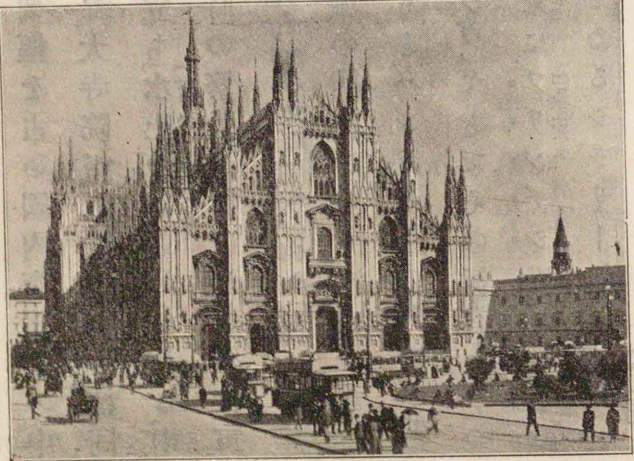


ミランとはこの平原の要地で、前者はモンスニートンネルを経て佛國に通ずる

要路に當り、人造絹絲毛織物等の工業盛んである。後者はシンプロン・サンゴター

はオリヴ油の集散地、北方のカララは大理石の名産地である。ジェノアは水陸交通の要路に當り、中部歐洲の南門をなし、この國第一の貿易港である。ロ

ンバルデー平原は全國人口の四割を入れ、戸口最も稠密に、都市が多い。チューリンと



ミラノの大石純白の寺  
大石純白の寺は成  
奥行大講堂は  
八トメ、間八メ  
で八トメ、後人  
十容れ、四萬ト  
裝飾の工年、後  
精巧の彫刻、三  
の色彩を極めた  
なきこと、比の  
百三十、屋上、  
塔の華やか、に  
世立の修補で、  
るの補で、あ

ルの大トンネルを以てスイスに通ずる要樞を占め、國內商工業の中  
心をなし、殊に絹織物の産が多い。又壯麗な大寺院がある。ヴェニスと同  
名の灣内の潟湖にある數多の小島上に立ち、「水上の都」といはれる。中  
古の盛大な貿易港で壯麗な建築多く、往時の繁榮が偲ばれる。今は軍  
港を兼ね、硝子の産が多い(約一百五十條の運河によつて、二百二十餘の小島に分れ、三  
らば長い堤防を通す。) トリエステはダニユーブ流域の門戸をなす港市で、その  
南方にはポラ軍港がある。フィウメ港はもとハンガリーの門戸であ  
つて、世界大戦後イタリーと、ユーゴスラヴィヤとでその領有を争つ  
たが、遂にイタリー領となつた。半島の南東にブリンジシ港がある。歐  
洲から東洋に向ふ最短郵便線路に當つてゐる。シシリー島のパレル  
モは果實の輸出が盛んである。

サンマリノ *San Marino* イタリー半島中部の山地にある小共和國であるが、歐洲最  
古の獨立國といはれる。

面積 六十一方キロ  
メートル  
人口 一萬一千

面積 三百二十三方  
キロメートル  
人口 二十二萬

マルタ *Malta* シシリー島の南方、地中海の中央にある小島で、軍事上極めて重  
要な位置にある。百餘年前から英國がこれを領有して、地中海艦隊の根據地  
としてゐる。ヴァレッタはその港市である。

設問

- イタリーと我が國との類似點を列  
舉せよ。
- イタリーの略圖を描いて山川都邑  
を記入せよ。
- イタリー國民の貿易外の収入は何  
か。
- 海陸の外國交通路に就いて語れ。
- イタリー人の特質如何。
- ローマ法王の古今を問ふ。

第十五章 バルカン半島及びブルーマニヤ *Balkan Romania*

地文

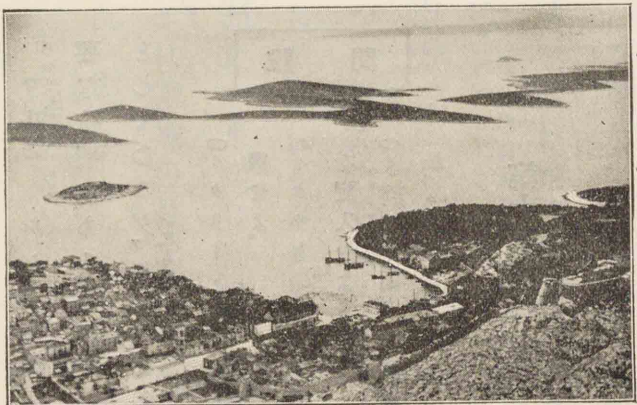
【位置區劃】 歐洲南部の大半島で、北はダニユーブ河及びその支流の  
セーヴ河によつて大陸と境し、他は海に面する。ブルガリヤ・セルブ・ク  
ロアト・スロヴェーン・アルバニア及びギリシヤに分れ、なほトルコの一  
*Sava Bulgaria Serb-Croat-Slovene Albania Greece*

位置區劃

山地系勢

ダルマチヤの海岸

ユーゴスラヴィヤの西岸(舊埃領ダルマチヤ)は、ナリツク、アルプス、が長い、入江、島が多い水系



部分及びダニューブ河北のルーマニヤもこれに屬せしめる。  
【地勢】極めて複雑であつて、北部にはカーパシヤ山脈の續であるトランシルヴァニアアルプスが屈曲して南下し、バルカン山脈となつて東走し、クリミヤ半島に向ひ、西部にはヂナリクアルプスが連り、ギリシヤに入つて Dinaric Alps  
ピンヅス山脈となり、クリート島を経て小 Pindus Crete  
アジヤに及ぶ。その支脈が縦横に入交つて、域内は殆ど全く山地で、河流の方向も一定しない。ダニューブ河はハンガリーから來て、鐵門の險を過ぎ、豐沃な平野を流れて、黒海 Iron Gate  
に入る。支流モラヴァ河は、エージアン海に注ぐ。マリツァ河及びヴァルダル河と共に、半島 Maritza Vardar  
の中部を對角線狀に流れ、その谷は古來中

氣候 産業

央ヨーロッパと、西部アジヤ及び東部地中海地方との要路に當り、今、鐵道がこれに沿つてゐる。黒海沿岸は出入に乏しいが、地中海沿岸は屈曲に富み、小アジヤとの間にマルモラ海とエージアン海とがある。エージアン海は地中海の一部で、數多の島嶼が散在してゐるので、多島海ともいはれる。就中クリート・ユーボエヤの二島が最も名高い。アドリヤ海岸は山脈近く横たはつて、内陸との交通が不便である。  
【氣候】北部及び内地は大陸性で、ハンガリー地方と大差がないが、南部の海岸は温暖で、夏日乾燥し、アドリヤ海沿岸は溫和で、冬に雨が

人文

【産業】一般に農牧を主とし、特に北東部は小麥、玉蜀黍を多く産し、ロシヤと共に歐洲穀倉の一部である。南部には煙草、葡萄、オリーブ、無花果、柑橘等の産多く、米、生絲の産もある。北西部には森林多く、又羊山

交通

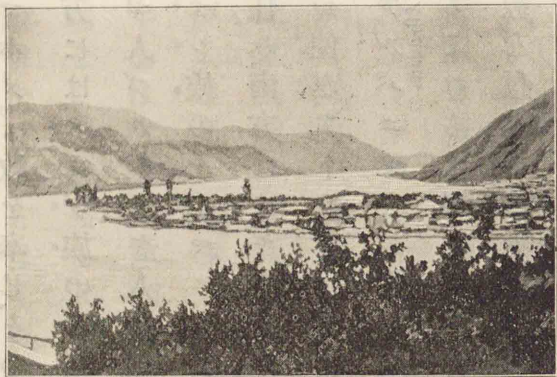
羊豚の牧畜も一般に行はれ、遊牧をなすものが少くない。鑛産も豊富で、北部に石油、金、岩鹽、北西の産地に鐵、銅を産し、南部及び多島海の島には鑛石(銀、鐵)、大理石を出す。

【交通】ダニユーブ河は歐洲の中心と、黒海とを連絡する重要な水路であるが、その他には航行に適する河川なく、鐵道は歐洲中密度が最も小さく、ダニユーブ流域からコンスタンチノール及ビエーリアン海岸、アゼンスに至る幹線の外は支線甚だ少く、内地と海岸とを連絡するものは僅に數線に過ぎない。

ダニユーブ河はドイツの黒森から發し、塊、チエッコ、匈、セルブ、羅、勃の七國を経て黒海に注ぐ。ドイツのウルム市以下は小汽船を通じ、下流は大汽船を通ずる。支流タイス、ドレーヴ、セーヴなど亦各、舟楫の便があり、ハンガリー、ルーマニア等の穀物輸出の爲、頗る重要な水路である。その谷は西歐、中歐からバルカン、近東方面に出る重要な交通路であり、今、鐵道がこれに沿つてゐる。コンスタンチノール、小アジアに行くには、本流の谷からモラヴァ、マリツァ、河谷

ダニユーブ河と中歐諸國住民

ダニユーブ河の鐵門



に沿ひ、エーリアン海に出るには、ヴァルダル河谷を下る。獨、塊兩國がトルコ、ブルガリヤと同盟し、セルヴィヤを壓迫したのは、この重要な水路及び河谷を扼して、中歐から黒海、ボスボラス、エーリアン海に至る交通を確保し、更に小アジア、メソポタミヤまでも勢力を延さんが爲であつた。世界大戰前は、ダニユーブ河の下流鐵門以下のみ國際河川であつたが、ヴェルサイユ條約はウルム市以下を國際河川とした。世界各國の艦艇、商船は今や黒海から入つて、塊、匈國の首都を過ぎ、南獨に入ることが出来る。鐵門はダニユーブ河がバルカン山脈を横斷する所で、水底岩礁多く、舟行危険であつたが、ハンガリー政府で別に運河を穿つてから、頗る便利となつた。

住民

【住民】歐洲の南隅にあつてアジヤと接近し、アフリカに遠くないから、古來民族の移轉、交通が盛んに行はれ、その上地勢が統一を缺い

バルカンの民族分布圖  
ザンザルス人といふのはルーマニヤ人の一種。

てゐるので割據の風が起り、一層住民雜駁の度を増した。今、その主なものを挙げると、一時半島に雄飛したトルコ族は、南東部に散在してマホメット教を奉じ、その北方にはスラヴ族のセルヴィヤ人、ブルガリヤ人及びラテン族のルーマニヤ人が住み、南方にはギリシヤ族が住み、アドリヤ海岸にはアルバニヤ人が住んでゐる。これらは多くギリシヤ教を信じ、その他ユダヤ人も少くない。半島は往昔歐洲文化の先導をなしたギリシヤ及び東ローマ帝國のあつた所であるが、長くトルコ人の虐政の下にあつて、近



政治

年騒亂が相次いだので、今は歐洲中文化最も劣り、産業振はず、交通も亦不便である。

【政治】トルコ人は小アジアから來て、十五世紀の半ばに東ローマ帝國を滅して強大な帝國を建て、一時領土は歐亞弗三大洲に跨り、歐洲でも半島の全部から更にハンガリー・南露までも領有してゐた。しかし、國力が衰微すると共に、從來異種族異教徒の壓迫に苦しんでゐた諸民族は各、獨立を企て、數多の弱小國を建てて互に相争ひ、諸強國がこの間に干涉して利權を擴張した。その爲に紛亂絶えることなく、半島は久しく歐洲禍亂の源泉であつた。最近の世界大戰も、實にその端をここに發したのである。現在の諸國はすべて建國日淺く、内には政争止むことなく、外には列強の干涉があつて争亂が絶えず、王公の尊貴も朝に夕の運命を圖り知ることが出來ないほどである。

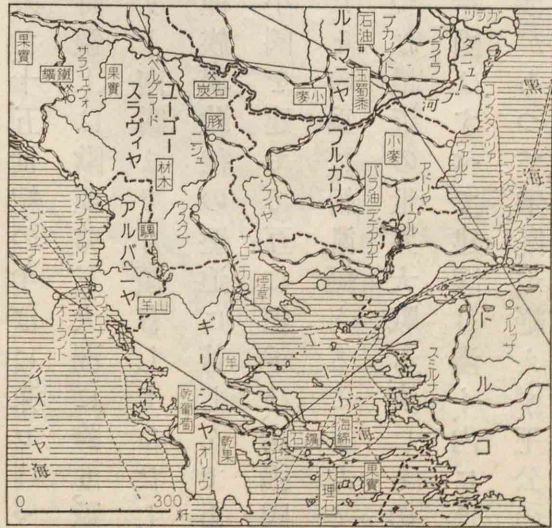
處誌



ギリシヤ  
面積  
十五萬方キロ  
メートル  
人口  
六百二十萬

地勢・産業  
バルカン主  
要部の交通  
及び物産圖

ギリシヤ　ギリシヤ人は歐洲文明の先覺者の子孫で、長くトルコ人の壓制の下にあつたが、凡そ百年ほど前に獨立し立憲王國を建てたが、内憂外患が絶えず、遂に最近共和國となつた。もとの領土はギリシヤ半島及び近海の小島のみであつたが、バルカン戦争及び世界大戰に参加し、エーリアン海岸地方並びに島嶼を取つた。この國は半島島嶼並びに沿海地域から成り、海岸の出入頗る多く、本土の南部は分れてモレヤ半島(一名ペロポネサス)となり、コリンス地峽によつて連る。今は同名の運河がこれを貫き、半島の東西兩岸の交通線が著しく短縮された。國內には山地多く、地味瘠せ、乾



版三十三第　アテナの古建築

有名なバルテノン殿堂の遺蹟で、アクロポリスにある。今から二千三百五十年ほど前に建てられた大理石の建築である。



版四十三第　コンスタンチノール

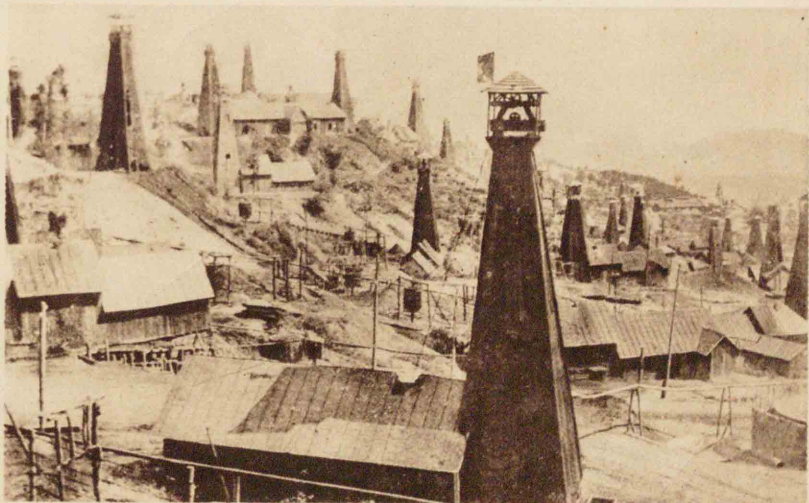
背景の水面はボスボラス海峡、陸地は小アジア(スカタリ)近景はコンスタンチノールである。塔の尖塔はミナレットといつて、マホメット教寺院の塔である。市街の光景が著しくアジア風なのを見よ。

圖はアルバニアの首府の光景であつて、集つてゐる人々は多くはマホメット教徒、遙にマホメット教のミナレット(尖塔)が見える。



日市のナラチ 版五十三第

ブカレストの北方のカンピナ附近で、有名な石油産地である。石油業は多く英・佛・白人の投資で經營され、コンスタンツァ港から輸出される。



田油のヤニマール 版六十三第

コリンス運河

一八九三年に開通したもので長さ六キロメートル。

都會人口

アゼンズ 二六萬  
サロニカ 二六萬  
ヒレウス 三

トルコ

イスタンブールといふのは、コンスタンチノールの主要な部で、トルコ名は「イスタンブール」である。古くからある名稱である。

葡萄、果實、煙草及び鑽石を産する。羊、山羊を牧するものも少くない。地勢の關係上、國民は海事に秀で、又商業に長じてゐる。

首府アゼンズ(雅典)は歐洲文

Athens

化の源泉地で古蹟が多い。そ

の外港はヒレウスである。サロニカはヴァルダル河流域の門戸を扼

Salonica

し、半島有數の貿易港である。附近煙草の産が多い。クリート島は東部地中海の大島で、島内山地が多いが、オリヴの産がある。

トルコ 重心はアジヤにあるが、ヨーロッパでも昔の廣大な領土の遺物として半島の南東隅を保つてゐる。コンスタンチノール(スタンブール)はボスポラス海峡に臨み、水陸交通の要衝に當るので、凡そ

Samboul

Bosphorus

面積  
約百三十萬方  
キロメートル  
(八萬三千方  
里)  
人口一千餘萬  
トルコ婦人  
の外出



都會人口  
コンスタン  
チノープル  
一〇二  
アドリヤ  
ノープル  
六

くアジャ風を帯び、市街華麗で名勝古蹟が多い。トルコは近年首府を小アジャに移したが、各國の使臣はなほここに駐在してゐる。日本大使館もここにある。マリツァ河に近いアドリヤノープルは東スレースの中心をなし要害の地を占め、附近に薔薇油の産地がある。マルモラ海及びダーダネルス・ボスポラス兩海峽は多年トルコ帝國の鎖鑰として外國軍艦の通過を禁じてゐたが、戦後各國の商船軍艦航空機の通過が自由となつた。

一千六百年前コンスタンチン大帝の  
Constantine the Great  
奠都以來、東ローマ・トルコの首都であつた。商業が頗る盛んで、地中海黒海各地の羊毛、果實、穀物、敷物、煙草等の集散地である。その北東部の金角港は無比の良港である。市は建築風俗など著し

面積  
約二十五萬方  
キロメートル  
(一萬六千方  
里)  
人口二千三百萬

トルコは世界大戰に獨塊に與した爲、ヨーロッパに於てコンスタンチノープル及びその郊外をサルタン(皇帝)の住所として與へられただけで、殆どヨーロッパの領土を失ひ、アジャでも、メソポタミヤ(英委任)シリヤ(佛委任)パレスティン(英委任)アラビヤ(英保護)アルメニヤ(自治)を失ひ、スミルナはギリシヤの管理に歸せんとしたが、愛國者がこれに奮起して別に政府をアングラに建て、アルメニヤを併せ、遂に小アジャからギリシヤ軍を驅逐し、勢に乗じてコンスタンチノープルの政府を倒し、民主政治を宣言した。今までトルコはサルタンが政治、宗教の首長で、専制政治であつたが、今回政治上の實權は、國民議會及びその選舉した大統領の手にあることにした。その領土は歐洲ではマリツァ河以東、アジャでは小アジャ、アルメニヤである。

セルブク・クロアトスロヴェーン(一名ユーゴスラヴィヤ)半島の北西部を占め、ダニューブ及びその支流ドレーヴ河がほゞその北界をなす。國內にはチナリクアルプスが連り荒れた山地が多い。國民は南スラヴ族、もとセルヴィヤ、モンテネグロ、塊、甸の諸國に分屬してゐたが、大戰

クロアチヤの農民

クロアチヤはもとのハンガリー領、今、ユーゴスラヴィヤに屬する。

都會人口  
ベルグラード 二萬

面積  
十萬方キロメートル  
人口  
五百五十萬  
都會人口  
ソフィヤ 三萬



役の結果セルヴィヤ人の多年唱へた大セルヴィヤ主義を實現し、廣く同族の地を併合し、セルヴィヤ王家を戴いて、現在の國家を組織した住民の多くは農牧を營み、玉蜀黍小麥、羊、山羊、豚、果實等の産があり、西部には鐵鑛、石炭の産もある。首府ベルグラードは險要の地を占め、バルカンの鍵といはれる。サラエヴォはボスニヤの主邑で、世界大戰の起源地で名高い。

**ブルガリヤ** Bulgaria  
の北境をなしてゐる。もとはエーリアン海沿岸に領土を有してゐたが、世界大戰に聯合國に抗して削られた。バルカン山脈が中央を横斷して、兩側の平地には小麥、薔薇油を産し、養蠶、牧畜も行はれる。首府ソ

ブルガリヤの薔薇花の採取

ブルガリヤは有名な薔薇油(香水)の産地である。圖はバルカン山脈のカザンリクといふその名産地の景。

面積  
三十一萬方キロメートル  
人口  
一千七百萬  
都會人口  
ブカレスト 三萬  
日本公使館がある。



フィヤは國の西境に近く、交通の要路を占めてゐる。

**ルーマニヤ** Roumania  
世界大戰に参加して、同族

の住む露、匈、奥の一部を加へ、面積、人口共に二倍以上に増加し、一躍して南東歐洲の大王国となつた。その領域はダニユーブドニエ、ストル、兩河の間を占めてゐる。北東部はガリシヤに續いた臺地、南西部はダニユーブ河、北の平原、西部はカーパシヤ山脈で他の兩部と隔てられたトランシルヴァニア盆地である。平野には小麥、玉蜀黍、油種子等の農産物頗る夥しく、山地には金、石油、岩鹽の産額が多い。國民の大部はルーマニヤ人であるが、ユダヤ人、マジール人、ドイツ人等も少くない。首府ブカレストは平原の中央

面積  
三萬七千方キ  
ロメートル  
人口 八十萬

に位し、市街華麗、バルカンのパリーといはれ、壯麗な建築に富んでゐる。ガラツツは穀物の輸出港である。  
Galatz  
アルバニヤ 近時バルカン戦争の結果、トルコから獨立した國で、近頃王國となつたが、イタリーの勢力下にある。城内山多く、産物に乏しく、住民は牧畜を業とし、ギリシヤ教舊教又はマホメット教を奉じてゐる。國內は多くの部落に分れ、各酋長がある。住民は文化まだ開けず、争闘を事とする。首府はチラナである。  
Tirana

問 設

- バルカン諸國の名位置を圖示せよ。
- ルーマニヤ・セルブク・ロアトス・ロヴェン兩國の領土は大戦前何國の領土であつたか。
- バルカン半島の交通に就いて語れ。
- バルカン半島に於ける諸族の分布を記せ。
- 世界大戦後トルコ帝國領土の處分を述べよ。
- 地理上より半島に戦亂の屢起る理由を説け。
- バルカン諸國國勢不振の理由如何。
- ダニュープ河を描き、これに接近した都邑を示せ。
- ダーダネルス・ボスポラス兩海峡附近の政治上の現状を問ふ。

地形・水系

東部アルプスの氷河

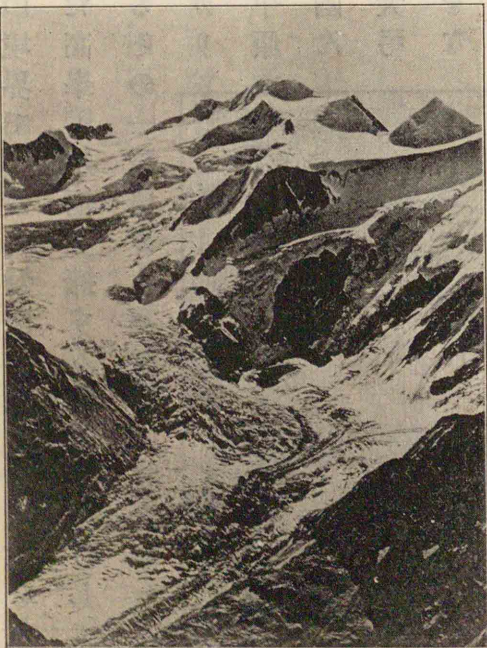
オーストリア東部のワイルドスピツツエといふ峯の氷河で、側堆石がよく分る。南部の山系

第十六章 總論

地 文

○バルカン諸邦の人口密度を算出せよ。

【地形水系】 峻しい大山脈に乏しく、アルプスの如きもその面積はヒマラヤの三分一で、最高峯もヒマラヤの最高峯の二分一に達しない。チベット・蒙古・イランの如き大高原・大沙漠は本大陸には全くない。南部にはアルプスを中心としてほぼ東西に連る高峻な山脈がある。アルプスは南歐と中歐



アルプスの  
高山観測所  
ドイツの南境  
にあるツィン  
スビッツにて  
二千九百餘メ  
ートルの頂上  
に観測所があ  
る。

歐洲の山系

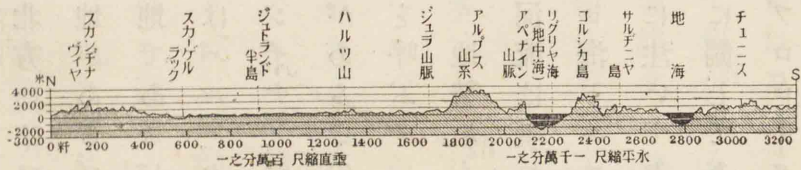


島の北部を東西に走り、クリミヤ半島を経て、コーカサス山脈に連る。又他の一派は、チナリクアルプ

との境界で弓状に彎曲し、幾多の白雪を戴いた高峯と、氷河を擁する深谷とを有してゐる。その一派はカーパシヤ山脈となり、ハンガリー平原を圍んで大弓状をなし、バルカン半島



ヨーロッパ  
洲の断面  
東部平原  
北部の山地



スといはれ、アドリヤ海の東岸を走り、ギリシヤ半島からエーリアン海中の島嶼を經、小アジアに至り、タウルス山脈となる。チナリクアルプスは荒涼たる山脈で、ダニューブ流域とアドリヤ海との交通を妨げる。この山脈から南方の地方はバルカン半島の中核であつて山地が多い。アルプスの南西に續きアペニン山脈がある。イタリアを縦走してアフリカの北岸に連り、再びイベリヤ半島の南部に續いてシエラネヴァタ山脈となる。イベリヤ半島の北には峻峻なピレニース山脈があつて、佛西の境を劃する。内地は概ね高原状で河は深谷をつくつて西流する。カーパシヤ山脈以東ウラル山脈までの廣大な地域はロシヤの大平原で、地形は極めて單調である。バルチック沿海のスウェデン、フィンランドも低い臺地である。アルプス・ピレニースの

北方にはフランスの中央高臺から南ドイツを經、ホヘミヤに亙る山地がある。ブルターニュ、ノルマンディー、二半島及びイギリスの西部も山地であるが、共に低い山であつて、斷片狀の小山地に過ぎない。その他はバルチック、北海沿岸からフランスの西部まで、概ね平坦である。スカンデナヴィヤの西岸には高原狀の山地がある。高緯度の爲、所々に氷河がある。この餘脈はイギリスの北部に及び、總稱してカレドニヤ山脈と呼ぶ。

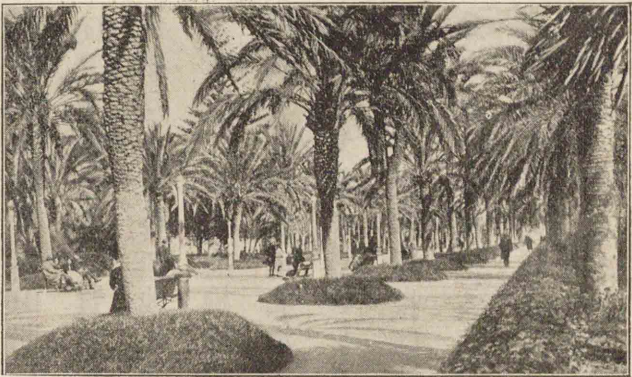
地勢かくの如くであるから、大陸の東半には著しい分水嶺がなく、河流は概ねヴァルダイ丘に源を發して平原中を流れ、ヴォルガ河はカスピ海、ドニエール河は黒海、チーナ河はバルチック海、ドヴィナ河は白海に注いでゐる。西半では主要水源地たるアルプスその他の山地が南に偏してゐるので、地中海に注ぐものには大河なく、舟運の便あるエプロ・ローヌ・ポー河等も概ね河口が浅い。これに反して、アルプス以北

## 水系

## 沿岸

にはロアール、セーヌ、ライン、エルベ、オーデル、ヴィスチュラ、ダニューブの諸大河がある。皆流が緩かた上流まで船を通じ、大陸の中心と海洋とを連絡せしめる。湖沼はバルチック沿岸とアルプスとに多く、共に昔氷河の作用で出來た、山間にあるものは風景良く、水力の利用に適する。ヨーロッパは地質時代の近代に地盤が下降した爲に、海岸の出入の多いことは遙に他の大陸に優り、幾多の内海、入江が到る所に良港をつくつてゐる。北極洋岸には白海が彎入し、コラ半島がその外を圍んでゐる。北西には北海、バルチック海がある。バルチック海は先端が分れてボスニヤ灣、フィンランド灣となり、その外を圍むスカンデナヴィヤ、ジクトランドの兩半島には峽灣が多い。イギリス諸島は北海と大西洋とを分ち、浅いイギリス海峡で僅に大陸と離れ、沿岸は出入が甚だ多い。北西にあるフェル諸島及びアイスランドは、北極洋と大西洋とを境する火山島である。イギリス海峡の南には、ノルマンディー、ブルターニュの二

カヂス海岸の公園  
南歐の熱帶植物(椰子)生育の有様。

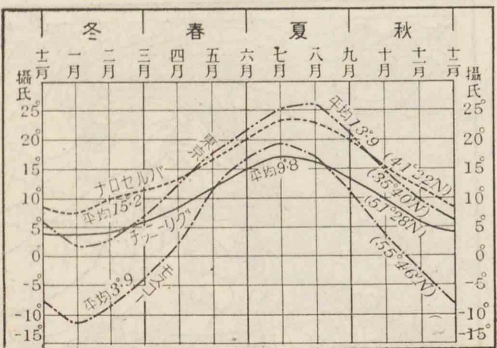


カン半島は地中海の東を劃し、南東は小アジアと近づいて、河湖のやうなダーダネルス海峡・マルモラ海・ボラス海峡をつくる。半島の南部は分れてギリシヤ半島となり、小アジアとの間にエーリアン海

を圍む。その海中の島嶼は半島をつくる山脈の餘勢が分裂したものである。黒海も一大内海で、北にクリミヤ半島が突出してアゾフ海を圍んでゐる。

氣候

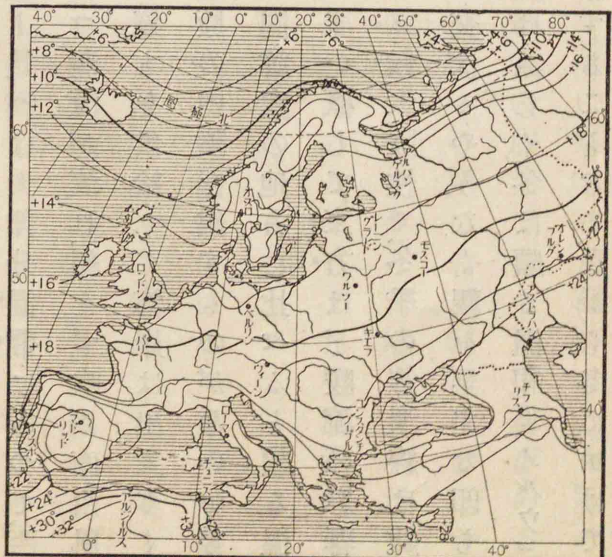
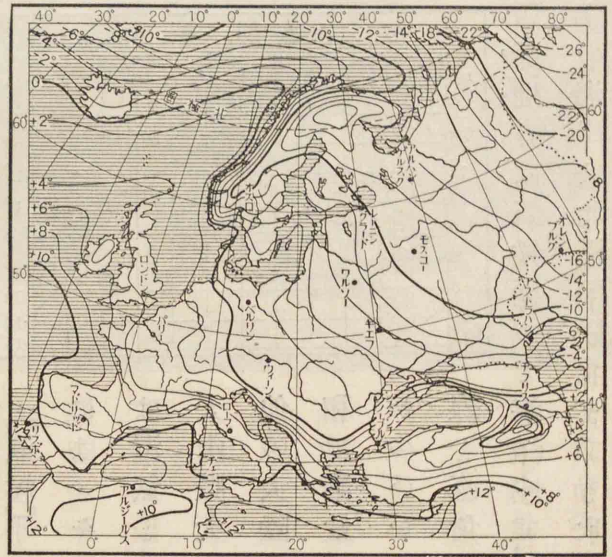
歐洲の氣温  
東部ほど氣温の較差が大なるに注意せよ。



西部地方は氣候極めて海洋性で、夏は涼しく、冬は頗る温和で、ノルウェーの海岸は北極圏以北までも氷結することなく、秋から冬にかけて



歐洲一月等温線(上)  
歐洲七月等温線(下)

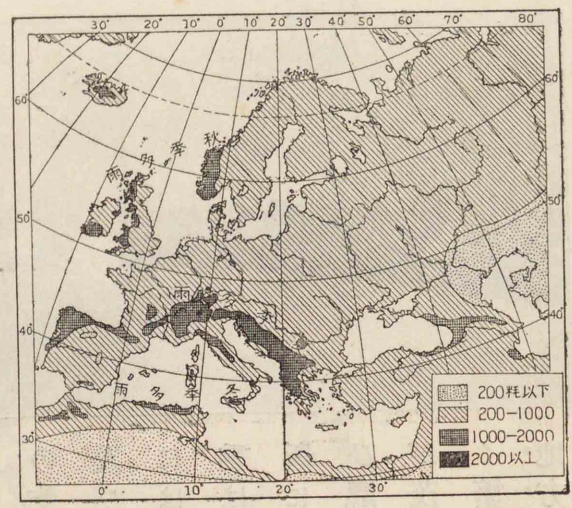


中部地方  
東部地方

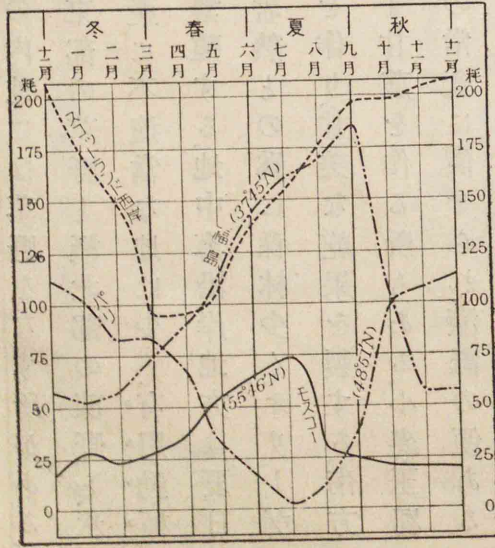
雨雪が多い。中部及びバルチック沿岸地方は夏は涼しいが、冬は稍寒く、河湖及び沿岸の一部は氷結する。東歐地方は最も大陸的で、夏は甚だ暑く、冬は極めて寒く、河湖及び白海・フィンランド灣等は勿論アゾフ海

南部地方  
歐洲雨量分布圖

歐洲の雨量分布



吹いて、暑氣強く雨量が少い。冬は南西風が吹き、頗る温暖で雨量が多い。一般に山地は雨量が甚だ多いが、南方に行くほど夏日の乾燥が甚だし

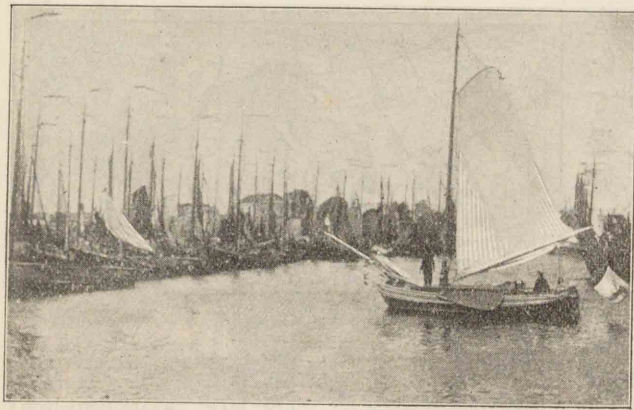


まで、陸岸近い所は氷結する。雨量は一般に少く、南東部は草野で一部は沙漠性である。北極洋沿岸には凍野をなす所もある。南歐地方は高い山脈で他の地方と隔てられ、特別の氣候を有する。

生物

く、稍半熱帶性を帯び、イペリヤ半島の内地には草野をなす所がある。  
【生物】 奇異な動植物は少ないが、南東部の草野と極北部の凍野と、氷雪に蔽はれた小地域とを除けば、生産に不適當な地は少く、有用動植物がよく繁殖する。地中海沿岸地方は夏日の乾燥と暑熱との爲に森林少く、オリヴ及び果樹を作り、甘美な乾果を製する。南方には棗椰子甘蔗を作る所もある。小麥玉蜀黍は住民の常食に供せられ、灌漑の便ある所には米を産する。牧草も多く、羊山羊を飼ひ、騾驢を馱獸とする。中部西部地方は森林が茂り、麥類甜菜馬鈴薯を作り、牧草も亦よく繁茂して牛馬羊豚の良種を産する。東部地方は地味肥え、穀物麻甜菜を産し、大陸の

北海の漁業  
オランダの北海沿岸に鯨魚船の群集した有様。



く、稍半熱帶性を帯び、イペリヤ半島の内地には草野をなす所がある。  
【生物】 奇異な動植物は少ないが、南東部の草野と極北部の凍野と、氷雪に蔽はれた小地域とを除けば、生産に不適當な地は少く、有用動植物がよく繁殖する。地中海沿岸地方は夏日の乾燥と暑熱との爲に森林少く、オリヴ及び果樹を作り、甘美な乾果を製する。南方には棗椰子甘蔗を作る所もある。小麥玉蜀黍は住民の常食に供せられ、灌漑の便ある所には米を産する。牧草も多く、羊山羊を飼ひ、騾驢を馱獸とする。中部西部地方は森林が茂り、麥類甜菜馬鈴薯を作り、牧草も亦よく繁茂して牛馬羊豚の良種を産する。東部地方は地味肥え、穀物麻甜菜を産し、大陸の

農業

北部は森林深く、北海及び大西洋には鯨・鱈・鱒が多い。

問 設

- 歐洲の位置地勢氣候は如何なる點に於て他の大陸に優るか。
- アルプス・ヒマラヤ兩山系を比較せよ。
- アルプスを中心とする南歐の大山系は地文上如何なる影響を與へるか。
- 歐洲の氣候の特色を語れ。

二 人文

【産業】 歐洲の大部は温帶に位し、天惠の豊富と、文化の發展とによつて産業が隆盛となつた。農業は東部平原に盛んで、この地方は世界の大穀倉といはれ、その巨額の穀物は中西歐に輸出される。

常食は西歐では小麥、中歐東歐ではライ麥、南歐では玉蜀黍、北歐では大麥を多く使用する。ライ麥は中東歐の特有穀物で、他の大陸には少い。馬鈴薯も

- 地中海岸の氣候生物は如何
- 歐洲の東半は西半に比べて國土の區劃甚だ單調なのは如何なる地文上の理由によるか。
- 歐洲の大都會大貿易港が多く、河川に沿へるは何故か、又主要河川とその沿岸の大都會大貿易港とを擧げよ。

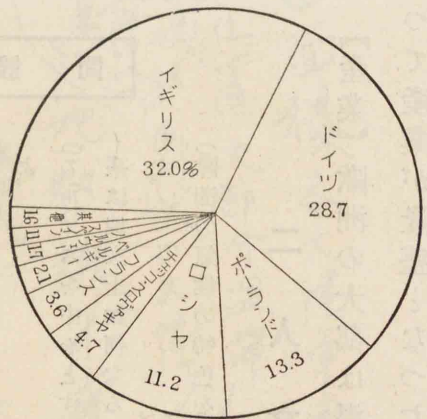
牧畜

林業

歐洲各國石炭埋藏比較

鑛産

工業



工業大いに興り、世界有数の大工業地を現出してゐる。アルプス・スカンデナヴィヤに於ける水力利用による工業の發達も注目すべきものがある。工業の進歩がこのやうであるから、商業の隆盛も世界無比で、

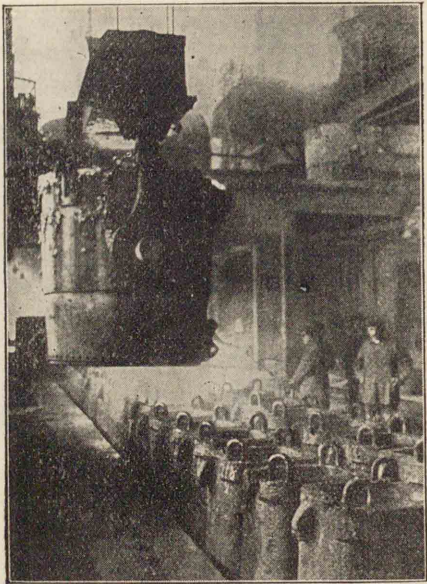
亦貧民の穀物といはれる。魚類は舊教ギリシヤ教國民の食膳に上り、肉類・バター・チーズは西歐・中歐で多く用ひる。牧畜も東歐に盛んで、バルチック・北海沿岸地方の酪業も注目すべきものである。その他中部から東部にかけて馬鈴薯・甜菜糖及び麻を多く産する。南部は葡萄酒・柑橘・オリヴ油・乾果を産し、養蠶も亦この地方に行はれる。林産は中部北部に多く、北西海上には水産業が盛んである。中部西部には鐵・石炭の産夥しく、人口も亦頗る稠密なので、製鐵・機械・化學工業・造船等の

歐洲主要工業地

ベルギーの鐵工場

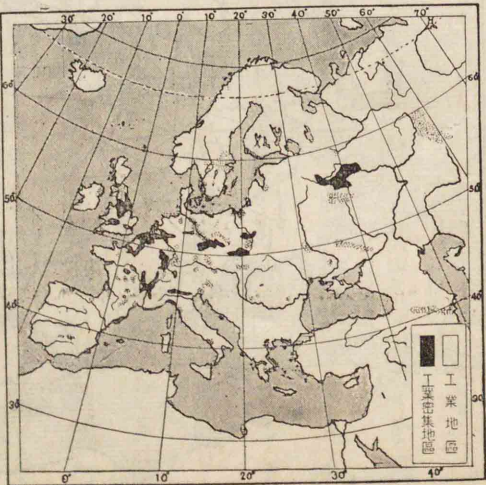
リエージュの鐵工場の内部を示す。

交通・貿易



新大陸・アジアその他各地の植民地から盛んに原料品・食料品を輸入して、工業製品を輸入する。

工業製品を輸入する。

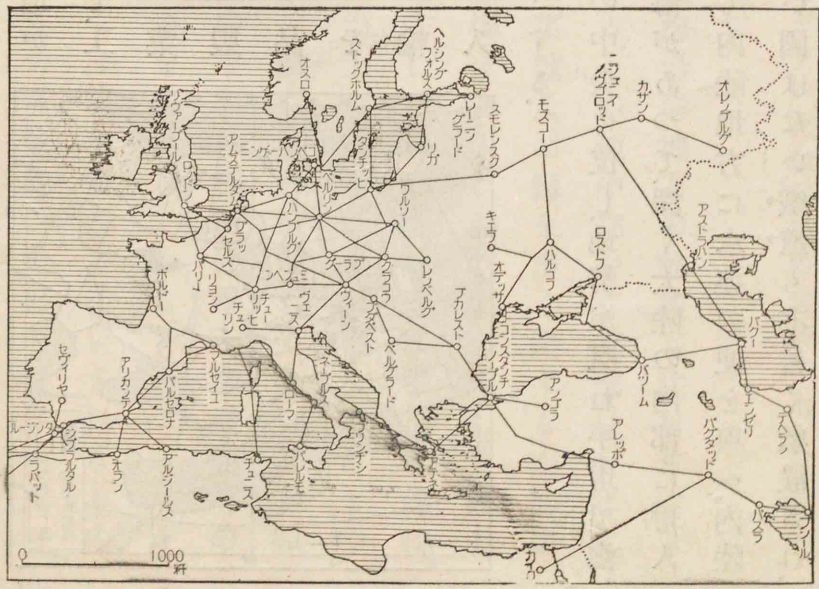


【交通貿易】ヨーロッパは陸半球の中央に位し、地勢が概ね平坦で海岸出入に富み、南北に各大きな内海があつて、深く大陸の内部に彎入し、幾多の支海・河川・運河と連絡して内陸地方に水運の便を與へ、内陸國と雖も船によつて達せられない國はない。鐵道も亦普く敷設され、

歐洲産業・交通の中心

大陸の東西南北各氣候及び産業を異にするから、交通の頻繁と貿易の盛んなことは、他に比較すべきものがないほどである。而してベルファスト・マルセイユ・ベルリン・ウィーンの四市を連ねた四角形の地域が人口及び産業の中心であつて、この中には幾多の工業市・大貿易港等があり、鐵道・水路・網の如くその間を連ね、自動車・航空機も盛んに用ひられ、繁忙な旅客郵便を運搬してゐる。歐洲及び世界交通の幹線も悉くこの地域から發

歐洲航空路圖



南方の海運幹線

南歐の葡萄酒積出  
スペインの卡斯港から名産の葡萄酒を積出すところ。  
北方の海運



する。

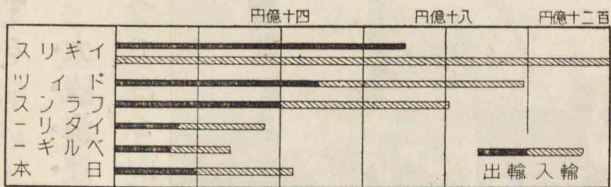
大陸海運の幹線はこれから南方及び北方に向つて、その沿岸を廻つてゐる。南方の幹線はイベリヤ半島を廻つて、遠く黒海に至るものであつて、ジブラルタルからコンスタンチノープルまでは著しい内陸水路と連絡しないが、黒海にはダニューブ・ドニエール等の内陸水路が續いてゐる。英獨の石炭・英白獨佛の鐵機械・綿製品等と、黒海沿岸及びダニューブ流域の穀物、地中海沿岸の葡萄・果實・バルカンの羊毛、シシリーの硫黄、イベリヤの礦物等は、この航路の貿易品である。北方に至る幹線はレーニン・グオー・ドル・レオに終つてゐるが、支線はノルウェー海岸を廻つ

主要諸國內陸水路延長  
ドイツの水路には國際河川(國際委員管理)が多い。

世界航路

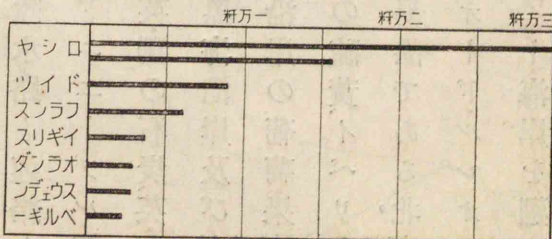
ヨーロッパ諸國の貿易額

ヨーロッパ輸出總額二百六十五億圓(三年平均)  
同輸入總額三百三十億圓(同)



世界輸出總額六百億圓 同輸入總額六百四十億圓

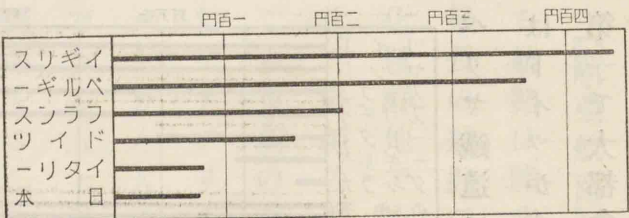
てアルハンゲルスタクに至るもので、ライン・エルベ・オーデル・ヴィスチュラ諸河の水路と連絡し、ドイツ・チェッコの砂糖、北方の木材、スウェーデン・ノルウェーの鐵礦、ノルウェーの魚類を積取り、石炭鐵及び工業製品穀物を配給する。別にロシアはヴォルガ河カスピ海により、アジアと水路連絡の便がある。



アジヤの南部及び東部、濠洲・アメリカ・アフリカに至る世界航路の大幹線も、實に歐洲の中西部の諸大港に發するもので、この地方に産する鐵機械織物その他の工業製品、石炭等を運び、各地の食料品穀物肉類嗜好品及び原料品(棉花・麻・羊毛・木材等)を持歸る。各大陸と通ずる通信もこ

通信

主要諸國一人當貿易額  
鐵道



の地域に集積し、海底電線はイングランド・アイルランドの南西端から出るものが多く、多數は英佛人の所有にかゝる。無線電信も殆ど各大陸との通信に遺憾なく、北米との間には無線電話も開通した。

鐵道は旅客郵便及び貴重商品の運搬機關である。ロンドンには鐵道幹線の起點で、北アメリカに行くにはサウザンプトン・リヴァプール・ヨークを経て大西洋の郵船による。パリ・ベルリン・ウィーン等の大陸の大都會はロンドンからサウザンプトン・ドーヴァー・ハリッチ等を経由して頻繁に交通がある。パリからは一線南西に走つて、マドリッド・リスボンに達し、南東に向ふものはリヨン・マルセイユに至り、又途中分れてモンスニートンネルを過ぎ、ローマ・ネーブルス・ブリンヂシに出られる。これに並行してロンドンからライン河谷に

歐洲列國鐵道延長比較

これらの幹線のうち、左の四幹線は殊に重要である。

- 半島急行線
- ロンドン
- ブリテン
- 東方急行線
- ロンドン
- コンスタンチ
- ノイブル
- 北方急行線
- ロンドン
- モスコ
- 南方急行線
- ロンドン
- リスボン

航空路



ルトメロキ千二萬八十三計總パッローヨ

沿ひ、サンゴタールトンネルを過ぎてブリテンに至るものは東洋行郵便線路に當る。ロンドン・パリとベルリン・ウィーンの間はストラスブルグ・フランクフルト・ハンノーフェル等を過ぎる幾多の幹線によつて連絡し、ウィーンから一線遠くコンスタンチノーブルに達し、その支線がニッシから分れてサロニカアゼンスに至る。ベルリンから東に向へば、レーニングラードと、ワルソー・モスコとに至る幹線がある。ロシアの鐵道はモスコを中心として、黒海岸コーカシヤ及び中央アジアに通じ、シベリヤ鐵道は太平洋岸に達する。スカンデナヴィヤ及びデンマークにはドイツから直通の鐵道がある。(海峽は鐵道、渡船による)航空路の發達は各大陸中第一で大都會を連ねる外、アジア・アフリカに至るものがある。

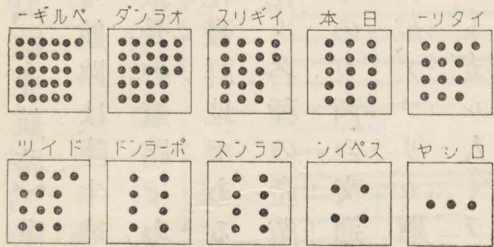
歐亞航路

【歐亞航路】歐洲の中西部から地中海・インド洋を経て東洋に達する航路は、陸半球の中央を横斷し、歐亞大陸の大部分を廻航する世界最長の航路である。沿線の地は世界人口の過半を含み、世界最初の文化發祥地である。この航路は東西兩洋とヒンヅー教・マホメット教の文化と各種の産業地とを連絡させるもので、世界交通の大幹線である。この東西の交通は、昔はすべて中部アジアを横斷する陸商路によつたが、アフリカ廻航航路が開けてから皆帆船により、足利時代以後ポルトガル人・オランダ人等が我が國に來たのもこの航路によつたのである。五十年前スエズ運河が開けてから、すべて地中海と紅海とを経由することとなり、汽船が帆船に代つたので、前にオランダからジャバに行くにさへ半歳かゝつたのが、今はイギリスから我が國に達するに五十餘日に過ぎなくなつた。西端はハンブルグ・ブレーメン・ロッテルダム・アムステルダム・アントワープ・ルアーヴル・ロンドン・リヴァープ

住民

主要諸國人口平均密度

人種



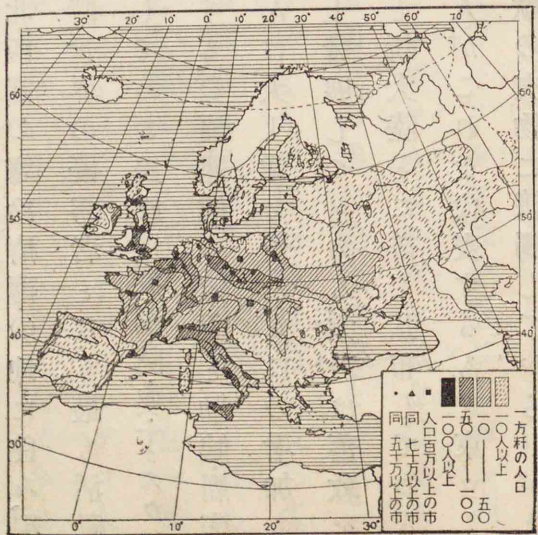
ール等で、東端は横濱である。日本郵船、大阪商船の汽船は、英獨佛蘭諸國の汽船と共にこの航路に従ひ、歐洲の鐵機械、綿製品等と、日本支那の絹、南東アジアのゴム、砂糖米、インドの黃麻、小麥等を交易する。シベリヤ鐵道はまだ商業上重要でない。

【住民】人口の總數は凡そ四億ある。密度は中部北西部の工業地を第一とし、白蘭英獨等は一方キロメートルの人口百人以上に達する。イタリーも人口の密度が大きい。が、これらの地方から遠ざかるに随つて少くなり、北部東部及びバルカン、イベリヤ高原等は密度が小さい。人口の増加は東半部に於て著しく、西部南部に緩慢である。最近世界の大戰には約四千萬人を失ひ、その後著しく減少した所がある。人口の九割はヨーロッパ人種で、アリアン族に屬し、これを

歐洲の人口密度圖

ラテン族

大別してラテン、チャットン、スラヴの三大族及びギリシヤ、ケルト、アルバニヤ等の諸族とする。これらの諸民族は概ね特殊の歴史、人情、風俗、宗教言語政治を有してゐる。ギリシヤ人はエーリアン海沿岸地方、特にギリシヤに多く住し、典雅で學藝に長じ、歐洲文明の開祖の子孫として有名である。ラテン族は大陸南西部に住居する大族で、伊佛白西葡人がこれに屬し、ギリシヤ人の文化を繼承して、更に大いに發展せしめ、ローマ帝國を始めとして、中世以降にも佛西の大國を起し、文化の大中心をなした。温暖好景な風土の影響を受けて、多く文學、美術に卓絶し、優美、快活の性質があるが、浮華にして熱



南歐人の信仰

アルプス・南歐地方の住民は一般に敬虔な舊教徒である。辻々に十字架又は聖像があつて通行人がこれを拜する。圖は南イタリーの小市で、農民の禮拜の狀である。



情に驅られ易い缺點がある。隨つて政變甚だしく、植民事業も發展せず、人口の増殖も遅い。多くは舊教を信じてゐる。チットン族は中部北西部の寒冷瘠薄の地に住み、現時世界の優勝者となり、最も活動してゐる民族で、英獨蘭墾丁スウェ

スラヴ族

デン・ノルウェー諸國人の大部を包括する。質實剛健の氣象と、勤勉周密な精神とを有し、學理を應用して盛んに大工業を營み、人口の増加も速かで植民貿易に成功し、なほ益向上發展しつゝある。宗教は舊教を改革し新教を樹て、今これらの地方と新大陸とに普く弘布してゐる。スラヴ族は大陸の東半に擴り、露人がこれを代表する。もと東ローマの文化を傳へ、東歐に僻在して西歐の文物に接觸してから、日がま

ユダヤ人

政治

東ヨーロッパの農村部。ポーランド東部の農村である。



だ淺いので、雄大の氣と忍耐力とに富むが、教化の點は前記二民族に著しく劣つてゐる。多くは質朴な農民でギリシヤ教を信じてゐる。同じ白人種中でもセミチック族に屬するユダヤ人はユダヤ教を信じ、キリスト教諸國民の爲に迫害輕侮を蒙ることが多いけれども、天性商業貨殖に長じて、各國の都市到る所に經濟上の勢力を有してゐる。蒙古人種は皆アジア又は歐亞の境から移住したもので、マジール人トルコ人フィン人ラップ人等に分れる。トルコ人は今はその郷國に驅逐されようとしてゐるが、フィン・マジールの兩族は白人間にあつて、獨立國を形成してゐる。

【政治】本大陸は地勢人種歴史等の關係



大戰の結果

から、三十餘國に分れてゐる。もとは更に多くの小國に分れてゐたが、民族主義が盛んになつてトルコの分裂、ドイツ・イタリーの統一等が行はれ、世界大戰前はそのうち、英露佛の三國協商と、獨逸伊の三國同盟と相對し、中小國がその間に挟まつて、<sup>Triple Entente</sup>「國力の平均」によつて國際平和を維持してゐた。大戰後は民族自決主義によつて國民の分合行はれ、獨逸露の諸國から解放された諸民族は各、小獨立國を建て、或はその同族と合して歐洲の地圖を一變せしめた。現今ロシヤはなほ東歐平原の大部分を保ち、ドイツは中歐の要地を占め、佛國は西歐に、イタリーは南歐に雄視し、イギリスは島國によつて全大陸を睥睨してゐる。以上の五大國の外、幾多の中小國があるが、國土人口の狭小又は建國の新しい爲、五大國と比肩することが出来ない。更にルクセンブルグ・モナコ・サンマリノ・アンドラ・リヒテンシュタイン等に至つては、自ら獨立國と號するが、歴史上の遺物或は山谷の避難所として存在す

政體

るに過ぎない。なほ英・佛・伊・蘭・白・葡の諸國は、他の大陸に廣大な植民地を有してゐる。

政體は立憲政治の元祖である英國を始めとして、すべて立憲政體でもとはスイスを除く外、皆帝王を戴いてゐたが、近年民主思想が盛んになつて屢、革命が起り、佛・葡・獨逸露希の諸國も新興の諸國と共に、共和國となつた。

これらの諸國中、我が條約國でないのはアルバニヤ・バルチック沿海の小國等で、已に二十餘國は我が國と通商條約を締結してゐる。

【我が國との關係】歐洲諸國と我が國との直接交通は、實に後奈良天皇の天文十一年(二年五<sup>四</sup>)ポルトガル人が始めて九州に來り、翌年同國人が種子ヶ島に渡つて鐵砲を傳へたのを以て初とする。蓋しポルトガル人はインドのゴア、スペイン人はルソンのマニラを根據地として、盛んに東洋に發展しようとした時で、間もなくスペイン人は天主

教を弘布した。その後この兩國人及び英蘭人が多く我が西邊に來航したが、鎖國の後にはたゞオランダ人だけが通商を許されて、西洋の文明を輸入した。百餘年前から英露の船舶は我が南北の邊海に出沒し、開國後、蘭英露は直ちに假條約を締結した。維新以後、彼我公私の來往は漸く繁劇を加へ、政治商業上の關係が日に密接の度を加へて來た。我が國に於ける國運の急速な發展は、固より多年蘊蓄した勢力と、國民の奮勵とに基づくのであるが、これら先進諸國の制度、文物に範を採つたことも少くない。

設 問

○歐洲中穀物、葡萄酒、生絲、水産、林産、鑛産、紡績、製鐵等の産出製造に著名な國名を列舉せよ。  
○歐洲の人口、産業、交通の中心はどこか。又その地方にある諸大港を列舉せよ。

○歐洲の産業中心地より出る航路鐵道の幹線を圖示せよ。又その終點はどこか。  
○歐洲三大民族の特質と住地、信教の概略とを述べよ。  
○蒙古人種の歐洲に住むものを記せ。

○歐洲に掌大の小國が存在するのは何故か。

○横濱からロンドンまでの航路に沿

つてゐる主なる港十個所を舉げよ。  
○歐亞航路に於ける主要貿易品は何か。

四訂 中等地理學 外國之部 中卷終

度量衡換算表

單位	換算	單位	換算
1 呎	0.3048 公尺	1 呎	0.3048 公尺
1 吋	2.54 公分	1 吋	2.54 公分
1 碼	0.9144 公尺	1 碼	0.9144 公尺
1 英里	1.6093 公里	1 英里	1.6093 公里
1 磅	0.4536 公斤	1 磅	0.4536 公斤
1 盎司	28.35 公克	1 盎司	28.35 公克
1 加侖	3.785 公升	1 加侖	3.785 公升
1 英畝	0.4047 公頃	1 英畝	0.4047 公頃
1 平方呎	0.0929 平方公尺	1 平方呎	0.0929 平方公尺
1 立方呎	0.0283 立方公尺	1 立方呎	0.0283 立方公尺
1 立方吋	16.39 立方公分	1 立方吋	16.39 立方公分
1 立方碼	0.7646 立方公尺	1 立方碼	0.7646 立方公尺
1 立方英里	4.168 立方公里	1 立方英里	4.168 立方公里

度

距離 I

里を尺に換算		尺を里に換算	
里		尺	
0.255	1	3.927	
0.509	2	7.854	
0.764	3	11.782	
1.018	4	15.709	
1.273	5	19.636	
1.528	6	23.564	
1.782	7	27.491	
2.037	8	31.418	
2.292	9	35.345	
2.546	10	39.273	

里と尺(基米, Kilometre)との換算

尺度 I

尺を尺に換算		尺を米に換算	
尺		米	
3.3	1	0.303	
6.6	2	0.606	
9.9	3	0.909	
13.2	4	1.212	
16.5	5	1.515	
19.8	6	1.818	
23.1	7	2.121	
26.4	8	2.424	
29.7	9	2.727	
33.0	10	3.030	

尺と米(米突, Metre)との換算

附  
録

距離 II

哩を里に換算		哩を尺に換算	
里		尺	
0.410	1	1.609	
0.820	2	3.219	
1.230	3	4.828	
1.639	4	6.437	
2.049	5	8.047	
2.459	6	9.656	
2.868	7	11.265	
3.278	8	12.874	
3.688	9	14.484	
4.098	10	16.093	

哩(Statute mile)の換算

尺度 II

尺を尺に換算		尺を米に換算	
尺		米	
1.006	1	0.305	
2.012	2	0.610	
3.017	3	0.914	
4.023	4	1.219	
5.029	5	1.524	
6.035	6	1.829	
7.041	7	2.134	
8.046	8	2.438	
9.052	9	2.743	
10.058	10	3.048	

尺(Foot)の換算

量

I メートル法 (Metric System)

- 1 升 = 1.8339 立
- 1 リットル (立 Litre, L) = 0.55435 升

II 英 法 (British System)

- 1 ガロン (Gallon) = 4.546 立 (液量 = 使フ)
- 1 ブッシュル (Bushel) = 8 ガロン = 36.368 立 (穀量 = 使フ)

附  
録

衡

I メートル法

- 1 匁 =  $\frac{15}{4}$  瓦
- 1 グラム (瓦, Gramm, G) =  $\frac{4}{15}$  匁
- 1 キログラム (疋, Kilogramm, Kg) = 1,000 瓦
- 1 貫 =  $\frac{15}{4}$  疋
- 1 斤 = 160 匁 = 0.6 疋
- 1 ピクル (擔, Picul) = 100 斤 = 60 疋
- 1 メートルトン (佛噸) Metric ton = 1,000 疋

II 英 法

- 1 ポンド (封度, Pound, Lb) = 0.4535 疋
- 1 トロイオンス (Troy Ounce, Oz) = 31.1035 瓦 (金銀ヲ量ルニ使フ)
- 1 トン 噸, Ton) = 2240 封度 = 1.01584 佛噸
- 1 カラット (Karat) =  $\frac{1}{5}$  瓦 (寶石ノ目方ニ使フ)

三

面積 I

方里を方里に換算		方里を方秆に換算
方里		方秆
0.0648	1	15.423
0.1297	2	30.847
0.1945	3	46.270
0.2593	4	61.694
0.3242	5	77.117
0.3890	6	92.541
0.4539	7	107.964
0.5187	8	123.388
0.5835	9	138.811
0.6484	10	154.225

方里と方秆(Square Kilometre)との換算

面積 II

方哩を方里に換算		方哩を方秆に換算
方里	方哩	方秆
0.168	1	2.59
0.336	2	5.18
0.504	3	7.77
0.672	4	10.36
0.840	5	12.95
1.008	6	15.54
1.175	7	18.13
1.343	8	20.72
1.511	9	23.31
1.678	10	25.90

方里(Square mile)の換算

距離 III

哩を里に換算		哩を秆に換算
里	哩	秆
0.471	1	1.852
0.943	2	3.704
1.414	3	5.556
1.885	4	7.408
2.356	5	9.260
2.828	6	11.112
3.299	7	12.964
3.770	8	14.816
4.242	9	16.668
4.713	10	18.520

哩(海里, Nautical mile)の換算

註 一哩は凡そ地球子午弧一度の六十分一即ち緯度一分間の距離に等しい。又一時間十哩の速度で通行する船は十節(Knot)の速力を有するといふ。

附  
録

二

訂 四  
學 理 地 等 中  
部 之 國 外

昭	昭	昭	昭	昭	大	大	大	大	大	大
和	和	和	和	和	正	正	正	正	正	正
四	四	三	三	二	十	十	十	十	十	十
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
三	三	十	十	一	一	一	一	一	一	一
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
九	六	二	九	一	七	七	二	一	二	九
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
訂	訂	訂	訂	訂	訂	訂	訂	訂	訂	訂
正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正
八	八	七	七	七	六	五	四	三	再	再
版	版	版	版	版	版	版	版	版	版	版
發	發	發	發	發	發	發	發	發	發	發
行	行	行	行	行	行	行	行	行	行	行

昭	和	昭
五	五	五
年	年	年
定	定	定
時	時	時
臨	臨	臨
價	價	價
下	中	上
卷	卷	卷
金	金	金
壹	壹	九
圓	圓	拾
貳	六	參
拾	錢	錢
七		
錢		

錢七拾五金 卷上 ) 定價  
錢五拾六金 卷中 )  
錢八拾七金 卷下 )

所 行 發

會合社資  
東京市神田區通神保町九  
電話九段一九二一・一九二二番  
富山房

印	代	發	著
刷	表	行	者
所	者	者	者
共	坂	會	小
同	本	社	川
印	嘉	資	琢
刷	治	富	房
株	馬	山	治
式		房	
會			
社			

地 積

表の使用法の例

I 町

$$1\text{町} = 3,000\text{步} = \frac{1}{1,555 \cdot 2}\text{方里}$$

$$= 0.9917\text{ Ha}$$

II ヘクタール (Hectare) (略字 Ha)

$$1\text{Ha} = 100\text{m}^2 = \frac{1}{100}\text{方料}$$

$$= 3025\text{步}$$

$$= 1.0083\text{町}$$

III エーカー (英町, Acre)

$$1\text{エーカー} = 0.4047\text{ Ha}$$

$$= 0.40804\text{町}$$

$$= \frac{1}{640}\text{方哩}$$

● 705哩 (東京・下關間) は何  
料か。(距離II表参照)

$$700 = 1,126.5\text{料}$$

$$5 = + 8.05$$

$$\text{答 } 1,134.6$$

附  
録

● 24,794 方里 (日本本土の  
面積) は何方料か。(面積 I  
表参照)

$$20,000 = \frac{\text{方里}}{\text{方料}} = 308,470.0$$

$$4,000 = 61,694.0$$

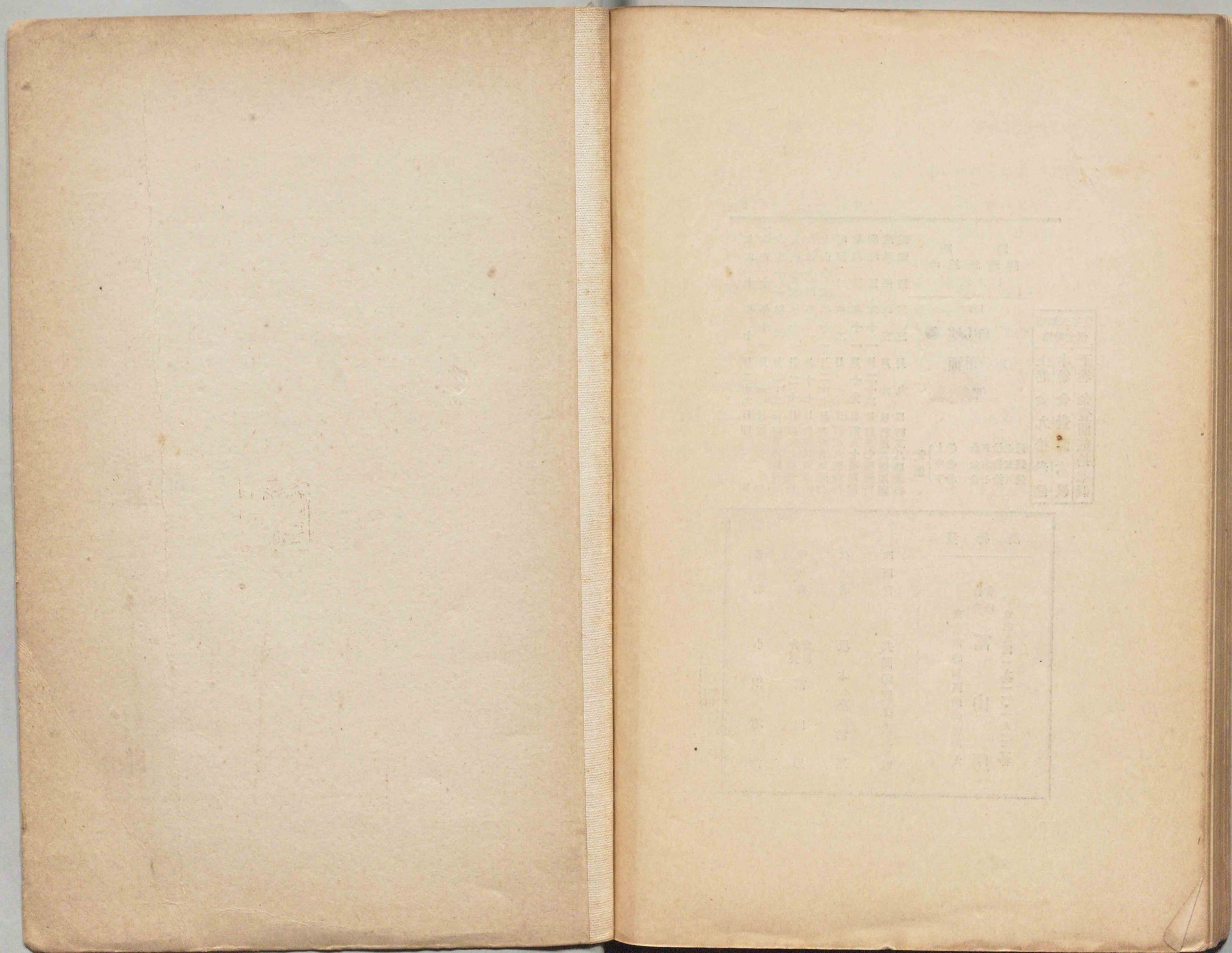
$$700 = 10,796.4$$

$$90 = 1,388.1$$

$$4 = + 61.7$$

$$\text{答 } 382,410.2$$

—附 録 終—



Faint, illegible text or markings on the upper right page, possibly bleed-through from the reverse side.

Faint, illegible text or markings on the lower right page, possibly bleed-through from the reverse side.



庫  
29  
70

広島大学図書  
2000026470  
